

2022年2月1日



月刊

もぐら通信

2025年2月1日 第152号 初版

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる

あなたへ：
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

電話

042-ABE-KOBO

FAX

042-KOBO-ABE



Alice in Wonderland

目次

- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（37）：〈鯨〉：北川冬衛.....page 3 5
- 4 安部公房の遺骨は川上霊園にはない：岩田英哉.....page 3 6
- 5 『都市への回路』論（7）：（5）『密会』の持つ神話性：岩田英哉.....page 3 9
- 6 『文章読本』論（11）：井上ひさし（2）：岩田英哉.....page 4 5
- 7 SFで思考するための本棚（1）：ドイツのSF文学：イリノイ州ウェスリアン大学教授ソーニャ・フリッチェ：翻訳 岩田英哉...page 5 6
- 8 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（5）日本国内篇：4.1.1 現行日本国憲法無効化論：岩田英哉.....page 7 9
- 9 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 10 ネット・モナド論（24）：グレートリセットとは何か（2）：ダボス会議の主宰者のシュバブとは如何なる人物か：岩田英哉...page 9 1
- 11 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（31）：5.2.5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？：5.2.6 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？：5.2.7 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか：岩田英哉...page 9 8
- 12 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 13 編集後記...page 1 2 2
- 14 編集方針.....page 1 2 3



The best tweets of the month



ほげめーる@h0geh0ge__Feb 16

安部公房の小説に出てくる登場人物だいたいみんな人生に疲れきってて良いわ～



wasa@mainichikotsu21Feb 16

自分もずると複製されてしまって紙束の中の一枚になってしまう.....安部公房の世界ですねQuote Tweetovi_2023🐻@ovi_555Feb 15ひたすらスキャンやコピーしていたら、ふと自分の人生このまま複製で終わっていくのかという思いにかられました

\$higehanapoyeeee@dubexpe999Feb 14

小説は読んだら必要ないから人にあげてるが安部公房のはとってある

ミロコ@moteemeteyyaFeb 14

ホントは安部公房 グイグイグイグイグイグイ(ゴリゴリ押す)

柚子ハッカ@yuzu_hakkaFeb 14

安部公房ってSF書いてたんだ...

知らなかった。まだまだ知らないことってあるんだな。

「砂の女」はSFじゃないよね...?

なんだかよく分からなくなってきたぞw

ぽんちゃん@s2s2ppFeb 18

安部公房を読み始めたら、100ページが一瞬で過ぎた。世界に引き込むのがうますぎる...帰れなくなるかも。

だいきの眩き@daIKI_K10Feb 12

正直、安部公房は『砂の女』一強だと思っていたが、いやいや全然そんなことはない。読み終わってしばらく経つがまだ動悸がする。

宇宙ゴリラ🐻@gorilla_noknadFeb 11誤字

安倍公房→安部公房



獅子の威を借る黒猫📖❤️🎧🎤 @kouzukagokko·13h

加齢とともに読書力が落ちていき、高校生時分からもうすでに物語を読む持久力がなくなってしまったので小説にはほとんど触れてないけど、安部公房はひととおり読んでおかなきゃいけないんじゃないかとは思ってる。常々考えてることのヒントが見つけれそうな気がする。

さかしま@sakashima_11·Feb 12

紙袋を被ったカレン(アムール)を見て、本棚から安部公房の『箱男』を引っ張り出し読み始める。

生き恥@oimawasu·Feb 16

労働で疲れきった肉体に安部公房をブチ込むとどうなるのかな🎵 死ぬのかな🎵

Yoshihiro Ishii@YoshihiroIshii1·Feb 16

痛みに効く本は安部公房の本もそうだね

しゅび・ばれら@syubibarera·23h

安部公房読み始めたけど、胃が逃げ出すならぬ名前が逃げ出す話が展開されててわるてる

S F 名文句・迷文句集ボット@sf_meimonku·Feb 11

所有者は所有に所有されることによってのみ所有を所有する。 / 安部公房「永久運動」 『世界SF全集27』に収録

<http://dabensya.sakura.ne.jp/meimonku/monku228.htm#22819>

生き恥@oimawasu·Feb 12

安部公房の書く理路整然と喋る論理的な気遣いを摂取したい

今月の頭木弘樹

頭木弘樹📖 UC 新刊『366日 文学の名言』『食べることと出すこと』5刷御礼キノベス！7位@kafka_kashiragi·Feb 15Replying to @kafka_kashiragi and @madanaizo書くと消えるものがあることに、気づくことが、書くことの始まりかなとも思いますが...

「言葉に対する不信と絶望を前提にしなければ、作品に自己の全存在を賭けるなどという無謀な決意も、生まれてくるわけがないのである」

安部公房

今月のカンガルー・ノート

たすこ@tusko_ku・Feb 11

「カンガルー・ノート」著：安部公房

-あらすじ-

「脛にかいわれ大根が生えてくるという奇病を患った男は、訪れた病院の医師によって自走ベッドに括り付けられ、療養のために硫黄温泉を目指す。”

PAPANDA@20年8月からリアルパパ@kaoboonio・Feb 12

#カンガルーノート

安部公房の最後の小説

脛からカイワレ大根生えてくるという突飛な話。

面白そうなのに、何が何やら。

わかる人には分かるのだろう。

ある意味現代美術のような小説。

興味ある人は読んでみるといいと思う。



★★★★★ 45

今月の文豪伝・安部公房

斉藤紳士@読書アカウント@saitousinsihon・Feb 16

【文豪伝・安部公房】

人気があるのかないのか文豪伝です。

チャンネル登録お願いします！

<https://youtu.be/KGDBYlBxRLE>

@YouTube

より

今月のリルケとマルクス

Bernhard@clvn2017・Feb 15

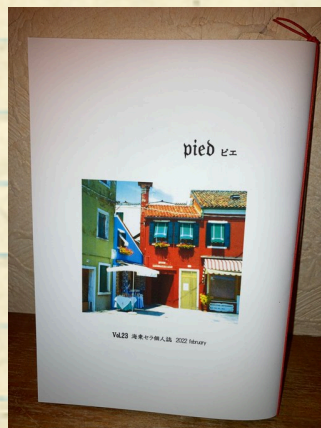
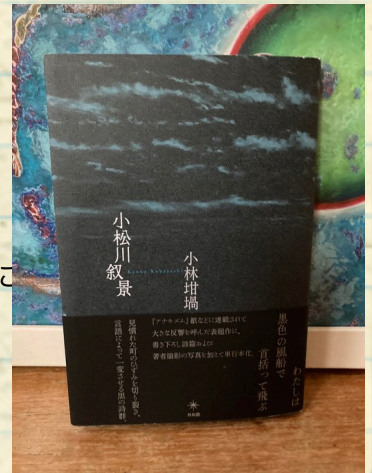
実際、これは偶然でもなんでもなくて、当時の安部公房の参照項にはマルクスとリルケがいる。

今月の柴田望

柴田望★フラジャイル13+青芽反射鏡終刊号②を発行しました！@NOGUCHIS7
都市の中にある辺境の文学...置き忘れられた時間が至るところに転がっているよ
うな都市そのものをえがいた安部公房の『燃えつきた地図』や『密会』に、闖入
者として迷い込んだときの体験が鮮明に蘇り、「夢を叩き割ることは出来ない」
（「NOWHERE」）...古いパースペクティブの中で...

柴田望★フラジャイル13+青芽反射鏡終刊号②を

発行しました！@NOGUCHIS7・Feb 12#ピエ#海東セラ
稲葉祥子氏の「儚夢譚 鏡」、「窓外の風景が映って
いる」磨かれた鏡、「人や車が思い出したように鏡の中に
現れ、また消える。」、目を合わせた瞬間に顔色が変わ
る、何度も見比べる鏡とキノコと短歌の不思議な迷宮に
迷い、安部公房の後期短編小説を想起しつつ...



花東@wasure_te_17h

自分のなかで間違いなく夏目漱石と村上春樹と安部公房が心を独占してる。
太宰治の人間失格は読書の楽しさを知るきっかけになったんだけど、他の作品を
ほとんど読んでないから太宰治の他にもそのうち読みたいなとも思う。
まだまだ知らない本の楽しさがあると思うとうずうずする。

WOWOWステージ@wowow_stage・Feb 17/

「友達」 鈴木浩介×有村架純×林遣都

作：安部公房 演出：加藤拓也



ひとり暮らしの男のもとに訪れた9人家族の目的は...!?

#鈴木浩介 #有村架純 #林遣都 #浅野和之 #キムラ緑子 #山崎一ら出演の話題作

4月放送・配信予定

詳細はこちら⇒<https://bit.ly/3uDtQ3r>



今月のデンドロカカリヤ

ももつい@tuihata・21h

FFさん達との小笠原の思い出からデンドロカカリヤを思い出し安部公房の『燃え尽きた地図』を読みたくなっただけで当然どこにあるか解りやせん。滅多に来ない読書欲が来たのに。もうたぶん読まない

今月の星新一

生き恥@oimawasu・Feb 12

星新一の月の光と、安部公房の作品読みたい

今月のボルヘス

Yoshihiro Ishii@Yoshihirolshii1・Feb 16

安部公房もボルヘスも共通しているのは理知的だということかな

今月のLSD

黒い鯖酢@Quak_Guai・Feb 12

著者は安部公房です。

今月の勅使河原宏

小島秀夫@Kojima_Hideo・Feb 12

日本映画の名作でいうと、勅使河原宏監督のBDも国内では出てない。

安部公房原作の「砂の女(1964)」

「他人の顔(1966)」 「燃え尽きた地図(1968)」 くらいは欲しい。

◇ LSD——この人工發狂劑——人工的、一時的に、内部と外部を斷絶させる——は、使方によつては、いろいろと面白いことをやつてくれそうである。たとえはそのゴムの弾力性を倍加して、いままでたどりつかなかつたような内部に、探検をさせてくれるかもしれない。知らず持っていた寶の山を、發見する手助けをしてくれるかもしれない。精神に人工的な力を加えるのは、どうも不自然で、不道德的な氣がするなどと、案ずる必要はないのである。人工地震による鑛脈探査は、なんら自然に對する冒瀆ではないし、最近では顔に加工することさえ流行つてゐる。精神だけは、そつとしておきたいというほうが、よほど野ばんなのかもしれないのだ。(近々私も、ためしてみる豫定でゐる。)



ふみ子@読書・趣味アカウント@umi_dokuyaku・Feb 17

届いた。安部公房は読破が見えている。荻原朔太郎とショーペンハウアーは初読みなんだけど、パラパラ読んでみたらかなり好みで良さそう。散文詩的文章も好きなのだ自分は、と確認した



今月の江戸川乱歩

豆@mame42424242・Feb 12

人間椅子 江戸川乱歩 #読了

筋は承知していましたが、実際に読むとぞくぞくして笑っちゃいました。安部公房著『箱男』にも感じましたが、自らは知覚されず一方的に観察するという状況は、男性特有の性癖かもしれない。盗撮も然り。尚、人間椅子は創作ではない説を私は推します。その方が面白いから。



今月の安部公房展

古本屋 百年@100hyakunen・Feb 13

『没後10年 安部公房展』世田谷文学館



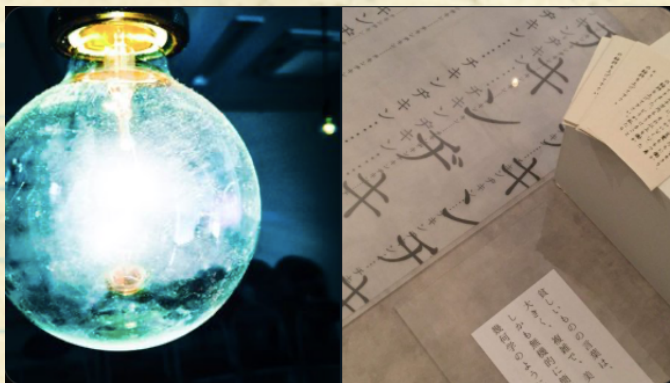
今月のチキンチキン

北川原梓★3/26江戸川乱歩『押絵と旅する男』

@AK_Kodachi-Feb 16

寒いし眠いし痛いし酸素薄い(気がする)し。何年生きてても冬は相容れない。子供の頃からずっと思ってたけど、私は、一年九ヶ月、三ヶ月冬眠。が、身体にも心にも適性なのだと思う。チキンチキン...

#安部公房



今月の飢餓同盟

トマス@yaso_thomas-Feb 14

安部公房『飢餓同盟』#再読

既得権益で固まった小さな街で無政府的な革命を密かに掲げる飢餓同盟。ルールを覆すための「毒をもって毒を制す」戦略が、いつしか毒そのものに蝕まれていく。大義の中に我欲の見える花井も褒められたものではないが、現実がそれを呑み込む大きな力となるのも穏やかでない。

今月の砂の女

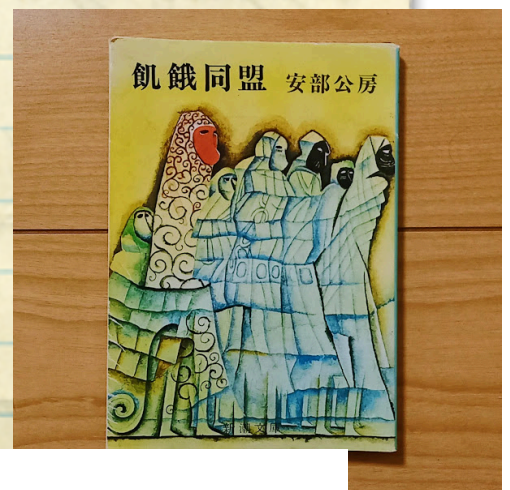
✔ dune...(海浜などの低い)砂丘

✔ The Economist FEBRUARY 5TH-11TH 2022に登場

安部公房の「砂の女」

英訳すると"The Woman in the Dunes"で"sand"では

ないんですよね 😊



サンダルダンス@sandarudance・Feb 18

久々に安部公房氏の砂の女を再読中
天才を感じていますw

だいきの眩き@daIKI_K10・Feb 13

安部公房作品、『砂の女』は少なくとも五回は読んでいるのに、他にあまり手を広げなかったのは、その次に読んだ『壁』がいまいちピンと来なかったからだった。で、次の『密会』も、面白くなくはないが一回読めばいいかなという感じで、結局『砂の女』の作家なのだろうと早合点していたのだった。

Anonymous@a84549706・Feb 11

【砂の女】砂丘の村落に軟禁される男。不条理な状況で湧き上がる承認欲求。安部公房が描くシュルレアリスム文学の至宝【小説レビュー】 <https://youtu.be/UzIV2ys74qo>

@YouTube
より

今月の安部公房全集

長島書店・日本特価書籍 / 神保町の古書店@nagashimashoten・Feb 16#芥川賞を受賞した『壁』は#埴谷雄高の目に留まり#安部公房は一躍文壇での地位を築きました🥹

#三島由紀夫と肩を並べ、#大江健三郎には世界最大の作家とまで言われています!! 幻想文学にとどまらず前衛であり続けた彼のすべてがここに詰まっています🌟 <https://shop-nagashima.com/products/detail/1687?admin=1>



じゃのめ@janomeumbr·Feb 13

母親が蔵書の整理してて、いらぬ本を持って行って良いというからごそごそあさったら東洋文庫の『捜神記』が！思ってもなかった掘り出しものです。

あと、父親が中勘助全集と安部公房全集を所有しててこれも密かに狙ってるのですが、大事に本棚にしまってあるのでもらえなさそうですね...

Lane@lane_dfl·17h

17. 『砂の女』 安部公房

男が砂丘にある村の穴の中に女と閉じ込められる話。

閉鎖環境が男の思考を徐々に蝕んでいく様子が砂という具体を用いて表現されている。不気味。

あと、湿り気を感じる文体に男と女が一人ずつという状況が加わってめちゃくちゃ官能的。

今月のSFマガジン1961年7月号

わとそん@doctoruwatson·Feb 14

Replying to

@Acky_phoenix

『SFマガジン』'61年7月号の座談会。『安部公房全集』第15巻に掲載されました。(巻末初出表示は8月号と誤記)

ガガーリンの人工衛星の話題から今後のSF小説の受け止められ方はどうなるかについて話されています。

SFの本質はドリームであり楽観的な手塚先生。有言実行してますね。(抜粋は半分程)

今月の卒論者

ホッタタカシ@t_hotta·Feb 11

この質問主は安部公房よりも、もっと早逝した作家を卒論テーマにした方がよいかも

2022/2/1 22:34

卒論で安部公房を取り扱おうと思ひ、全作品を読もうとしています。Amazonで調べてみると30までナンバリングされた全集がでてきます。これら全集一冊一冊は内容が全く異なるものなののでしょうか？全集を買って読もうと思っていたのですが、量が多く値段も高いため躊躇しています。。

今月の死に急ぐ鯨たち

ころ@corosukeo-11h

安部公房『死に急ぐ鯨たち』（新潮社）は、
今こそ読むべき本と思います。

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961

・Feb 14

『ファシズムとはすなわち選別の思想なんだ』（安部公房『死に急ぐ鯨たち』錨なき方舟の時代）

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961

・Feb 15

『手品は安全無害で万人のたのしみに供されるけど、超能力は危険で有害で、これは信者の存在を前提とする。観客と手品師の関係は、公演の終了と同時に終わるけど、信者と超能力の関係は、ずっといつまでも持続しつづける。』（安部公房『死に急ぐ鯨たち』破壊と再生1）

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961・Feb 15

...この循環するイメージの中で、奇妙なのは、何処かに誰かかならず主人公らしき人物がいて、そいつだけが無事生き延びることなんだな。』（安部公房『死に急ぐ鯨たち』破壊と再生2）

うへいどん@uhei_from_hell・Feb 13

安部公房「死に急ぐ鯨たち」や「石の眼」は古本価格が上がってきましたね...

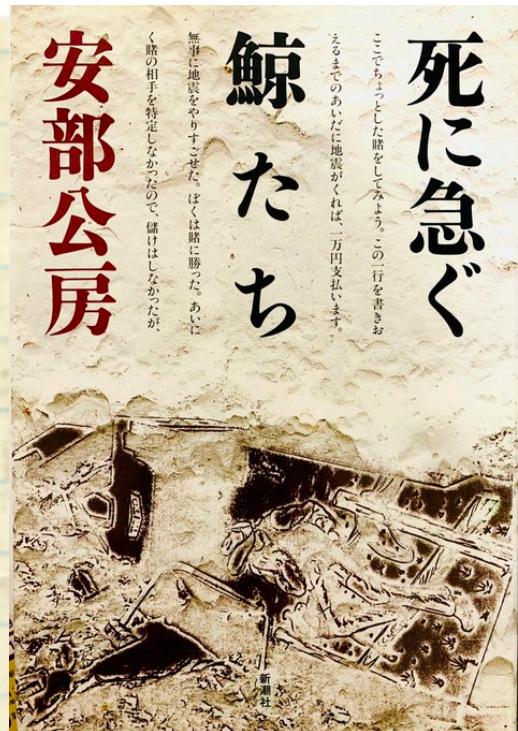
tamastent☆@tamastent・Feb 16

される,側,転じて/する,側,議論とは,や

「芋洗いを覚えた「変わり者」の仔猿などよりは、泥ごと齧ってもこたえない強靱な胃袋の猿の方が頼りになるに決まっている。」

-安部公房,死に急ぐ鯨たち,より

(一部,引用



今月の武満徹

stan@stan6011・Feb 12

シネマヴェーラの武満徹特集、柳町光男の「火まつり」やるのか！配信もなくDVDも高騰していて、なかなか見れる機会がないので行こうかな。勅使河原宏×安部公房作品も複数やるし、これは良い企画。

Quote Tweet

シネマヴェーラ渋谷@cinemavera・Jan 31

[今後の上映予定]

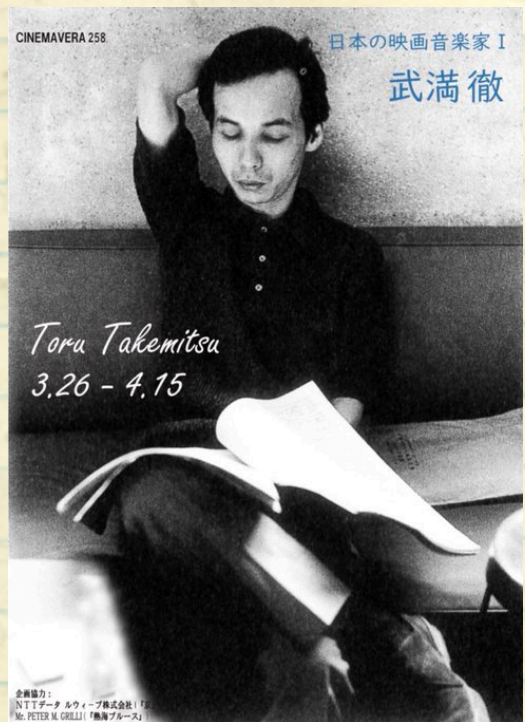
2022/3/26 ~ 2022/4/15

「日本の映画音楽家I 武満徹」

ほとんど独学で音楽を学び、のちに若手芸術家集団「実験工房」に所属し、映画やテレビなどで幅広く前衛的な音楽活動を展開。日本を代表する現代音楽家、武満徹の特集です。

▼上映作品はこちら

<http://cinemavera.com/preview.php?no=274>



今月の大江健三郎

有川オレガ@orega2061・Feb 13

.....再軍備に対して賛成の人間が娼婦を書いた場合と、反対の人間が娼婦を書いた場合は違う、だんじてちがうということから出発するほかないと思います。」

『安部公房全集29巻』

「文学者と政治的状況

[出席者] 平野謙・大江健三郎・石原慎太郎・松本清張・安部公房・椎名麟三」より大江健三郎の発言



この棒は、棒であった。



今月の棒

ぐーい@Gy_gray_・Feb 17
安部公房

高羽柊奈 たかは氏@Syu_Takaha・Feb 11 ちゃおちゃお☺

お家のものを減らしたい願望が燃え上がったのでなんとなく捨てられずにいたお絵かき達をデータ化してバイバイすることにしました。

左は安部公房の『棒』に出てくる学生らしいです。右はなんちゃって白樺らしいです。高校生のたかは氏は国語の授業でめっちゃくちゃ遊んでたみたいです()



今月の鞆

じじ(ﾟ)@Whomin_zizi・Feb 13
また見つけた安部公房の鞆www

helpline@helpline・5h

安部公房「鞆」は、鞆が指し示す方向通りに歩き続ける男の話で、自分の意志を放棄して生きる、主体性が欠落した現代人のありようをテーマとしている。意志を持って生きていくのはたいへん。意志なんて捨てた方が楽になる。自分の意志で自由に生きなきゃいけないんだ、という束縛からの解放。



今月の友達

32期 盛組『AMIGOS FOREVER~友達~』 @morigumi32-Feb 14先ほど、

『AMIGOS FOREVER~友達~』 «Bキャストver»が公開されました👏

Aキャストと合わせて、お楽しみください😊✨AMIGOS FOREVER ~安部公房『友達』より~ (Bキャスト) 【近畿大学文芸学部舞台芸術専攻 32期盛組】 <https://www.youtube.com/watch?v=mxtGzoPSsa8&t=12s>

今月のハイデッカー

景山 洋平 『「問い」から始まる哲学入門』 (光文社新書)

@yoh_heidegger-Feb 14

私も寄稿した論集Heidegger in the

literary worldがアメリカから到着。

出版は昨年だったので、ようやく。

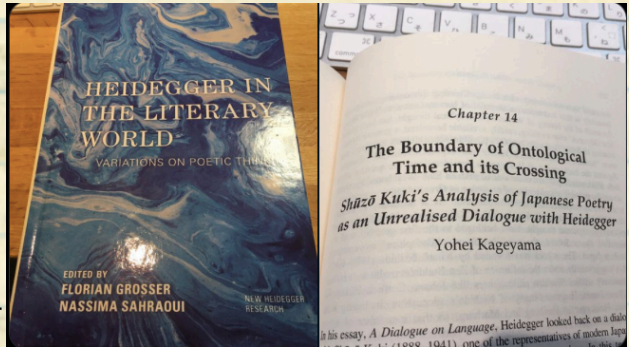
九鬼を回想する後期ハイデガーの対

話篇と九鬼晩年の詩論を手がかりに

して、九鬼が後期ハイデガーに対して

なにを言えるかを考えました。あと勢い余って安部公房と三島由紀夫にも触

れています。



今月のどれい狩り

一般社団法人 名古屋

演劇鑑賞会@meienweb

Feb 14

仲代達矢さん、これまで

に出演した名演例会その

1 1955年8月1日、俳優座

『どれい狩り』作/安部公

房 演出/千田是也 「秘書」役

出演/小沢栄、松本克平、岸輝子、

永井智雄、ほか



今月のポール・オースター

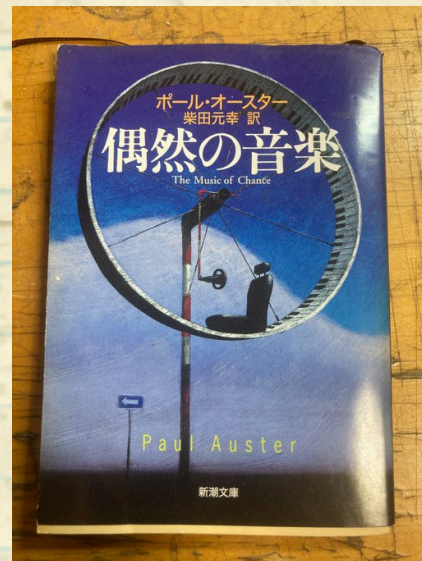
ヒトシ@black_beauty_71・Feb 15

ポール・オースターは大好きな作家で、ほぼ全作読んだと思います。で、この作品はかなり異質な存在で、安部公房の『砂の女』が好きな方であれば、どっぷりとストーリーに浸かれると思います。あと、音楽の在り方について、色々と考えさせる作品でもあるので、音楽好きの方にもお勧めしたいです。

今月の無名詩集

千葉@u5ee9lCmWeLuYO0・Feb 16

月に吠えるとかが欲しいとは言わないので代わりに蒲原有明の独絃哀歌のカバー付と尾形亀之助の色ガラスの街と死刑宣告と改装本じゃない道程と村野の罨と体操詩集と安部公房の無名詩集と赤土の家と第百階級と邪宗門の函付と後最後に十二の石塚と蓬萊曲と楚囚之詩が欲しい。



今月の若い頃の安部公房

昭和平成ガイド@showa_g・20h

昭和を振り返る画像。

『安部公房の若い頃（30歳ごろ。『毎日グラフ』1954年9月1日号より）』

プロフィールは

→<https://showa-g.org/men/view/68>

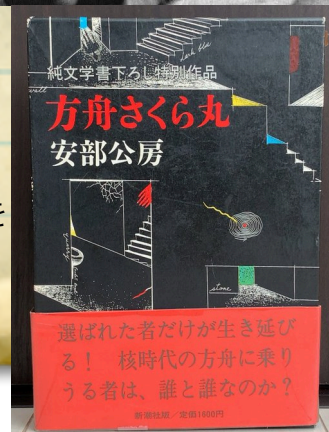


今月の方舟さくら丸

読書三餘@sanyo_dokusyo・1h

「僕」の舟へ乗船することとなった三人の男女。彼らの奔放な議論は、滑稽に、また地下壕の響きを以て莊嚴に、「乗る」という行為に二重の意味が付される。人間のいま現存する生は豊かさをともなう生なのか。そんな問い掛けが地平を漂う。1985年1月10日初版発行、#安部公房

『#方舟さくら丸』新潮社。



読書三餘@sanyo_dokusyo·1h

『方舟さくら丸』 #安部公房 1984

シュールかつ現実的である登場人物を、適当に、また案外に、無理なく配置する著者の空想はここでも抜け目がない。核戦争、緊迫の時事をアイデアに練られた闘争のなか、パンデミックに貶めよう"偽客（サクラ）"の意義が、昭和の終わりを象徴しているように思われる。

今月の読書会

本屋B&B@book_and_beer·Feb 17

【来店・リアルタイム配信イベント】 01/16 ,02/20,03/20 Sun 10:30-

フィクショネス 文学の教室

安部公房『砂の女』を3ヶ月かけてじっくりと読む

<https://bb220220-0320a.peatix.com>

ドキュメンタルな手法、サスペンスあふれる展開のうちに、人間存在の極限の姿を追求した『砂の女』に迫る3ヶ月になります！



フィクショネス 文学の教室
安部公房『砂の女』
を3ヶ月かけてじっくりと読む

B&B

今月のけものたちは故郷をめざす

だいきの眩き@dalki_K10·Feb 12

まずは『けものたちは故郷をめざす』から。これは初読。表紙のかわいい写真は安部公房自らの手によるものらしい



西東京@twiiiiiiiiisted·Feb 16

安部公房『けものたちは故郷をめざす』

現実から少しの間でも逃避するには、本の中の主人公はこの小説ぐらいヘヴィーな環境に置かれなくてはいけない。人間はしぶとい！元気出た！

このこねこ@年間500冊の乱読家@konekoneko5·Feb 16

【このこねこの1日1冊本紹介】

今回は安部公房の代表作にして満州引き揚げ文学の傑作を紹介しております。

<https://www.youtube.com/watch?v=2t0amN1UxN4>

今月のR62号の発明

第46回茨木ビブリオバトルは3月下旬対面開催予定

@ibarakibiblio・Feb 16

安部公房は天才だと心の底から震えた

「R62号の発明」 #冒頭痺れる文学発表会

コンバットドール研究所@Combatdoll_lab・Feb 16

人間の脳をそのまま残しているから「サイボーグ」ではあるんだけど、外部から制御できるようにしたので「ロボット」と呼称する用例、既に安部公房先生の『R62号の発明』にあるのね。1956年発表作品（既に作品の中に女性のロボット化が出てきて「女はロボットにかぎる」なんてセリフまである）

Sheltie@sp4s7ec9・Feb 14

R62号の発明 鉛の卵やと読めた

短編だからサクッと読めると思ってたら大間違いだった、一つ一つに安部公房の思想があり天才的な比喻表現に打ちひしがれる。

今月の失踪三部作

燃@QykPd・Feb 13

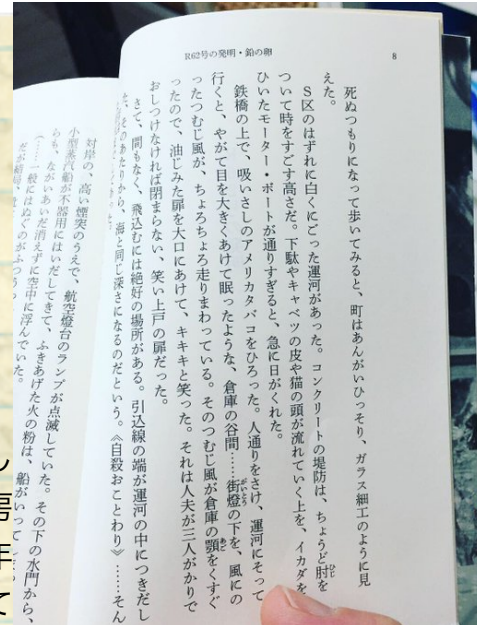
安部公房読んでる最中に安部公房届いた。

今月の密会

岸波 龍@kishinami8・Feb 12

谷保の本屋さん、書肆 海と夕焼小鳥書房に行ってきた～。

このところ読みたいと思ってた安部公房『密会』と田中さとみの第2詩集『ノートリアス グリン ピース』買った。3/5からの展示の話もできてよかった。イメージもわいてきた。



今月の壁

音隅 管譜@otonezumi・19h

見渡す限りの曠野です。その中でぼくは静かに果てしなく成長していく壁なのです。 — 安部公房『壁』

してき断片bot その市@fragments_bot・Feb 15

おれは水蒸気の中で殺されて丸くなった。しかし饅頭ではない、なぜなら中味が空っぽだからだ。(安部公房『壁』)

soranogoo@soranogoo・Feb 16

デヴィッドボウイが好き。

ベルリンの壁ではないなあ。

ベルリンはドイツにあってな、壁がなあったんや。

安部公房の壁。どんな内容やったかな。

うーん思い出さん。

箱男は？

うーん読んでないかも。

デンドロカカリヤは？

読んだけどR62号ゆうのあったかな？

わからん。

みんなどこへ行ったんやろ。



玄海 理未人@limit_genkai・Feb 17

壁 安部公房

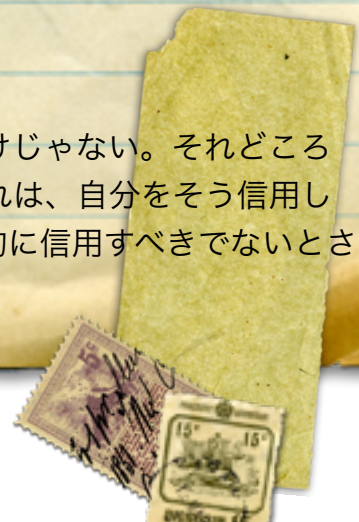
とりあえずS・カルマ氏の犯罪まで #読了

うーん、ちょっと苦手な作品。何を言ってるのかは分からないが、何を言いたいのかはなんとなく分かる。第二部三部まで読めば感想は変わる...のかな

今月の水中都市

バイオタコスbot@biotacos_bot・Feb 16

断わっておくが、おれは自分で自分がそう好きなわけじゃない。それどころか、いやでいやでたまらないくらいなんだ。第一おれは、自分をそう信用してもいない。ショウチュウを飲む人間なんて、原則的に信用すべきでないと思ってる。(水中都市,1973安部公房)



今月の燃えつきた地図

悠汰@y_xta_Feb 16

朝のひととき

最近安部公房しか読んでない

タピオカ (編集者)👁️👁️

@teijikitakubu_Feb 11安部公房

『燃えつきた地図』の一文、カッコよすぎるだろう...

都会 —— 閉ざされた無限。けっして迷うことのない迷路。すべての区画に、そっくり同じ番地がふられた、君だけの地図。だから君は、道を見失っても、迷うことは出来ないのだ。

垂水 隆幸 | コーチング.com株式会社 代表取締役 | 哲学による行動変容の探求

・5m

学生時代から数十回は読んでいる安部公房の「燃え尽きた地図」。所蔵品がボロボロに朽ちてしまったので買い直したのですが、表紙のデザインが変わっていました。とても雰囲気が出ていますね。長編小説ですが、一文一文が詩のように感じられる珠玉の作品です。

倅村成一 (kimura)@xlsvx_Feb 12

#bookmeter

@yonda4

9784106006111

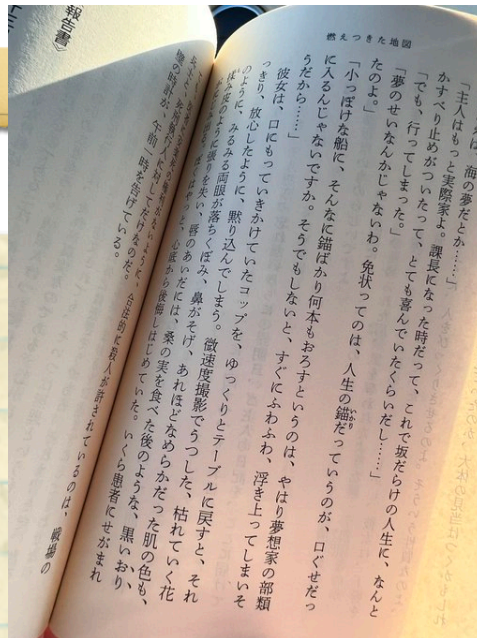
読了32冊め。図書館本。ISBN無し。本文約600枚。探偵小説だが、主人公の行動も文体もキビキビしていない。

安部公房, [燃えつきた地図] 新潮社, 1967年9月30日

今月の片道切符

好きなフレーズ@phrase_fav_21h

片道切符とは、昨日と今日が、今日と明日が、つながりをなくして、ばらばらになってしまった生活だ。そんな、傷だらけの片道切符を鼻歌まじりにしたりできるのは、いずれがっすり、往復切符を手にした人間だけに決まっている。(砂の女/安部公房)



今月の人肉食用反対陳情団と三人の紳士たち

海@kaigaradotcom・13h

安部公房の短編の1つだけど、タイトルから癖強すぎて笑ってしまう。狂気とユーモアが最高。

今月のおとし穴

ホッタタカシ@t_hotta・Feb 13

配信にも回らない。

『おとし穴』（1962）も安部公房原作です。

小島秀夫@Kojima_Hideo・Feb 12

日本映画の名作でいうと、勅使河原宏監督のBDも国内では出てない。せめて安部公房原作の「砂の女(1964)」「他人の顔(1966)」「燃えつきた地図(1968)」くらいは欲しい。

(三枚の映画ショット再掲)

今月のピンク・フロイド

スマセン@umaoouma・Feb

安部公房氏の壁、新装版を購入。壁と言えは氏も好きだったピンクフロイドのザ・ウォールを聴きたくくなります。

Pink Floyd - The Wall (Full Album) 1979

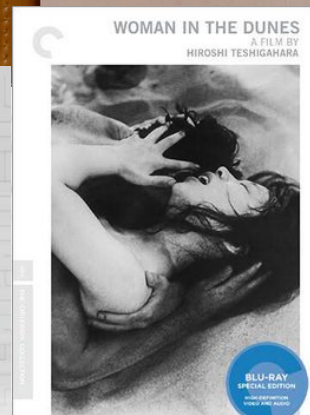
<https://youtu.be/r48BLz42Nul>

@YouTube
より

はらう@halaw・Feb 16

ピンクフロイドのエコーズといえば安部公房のカンガルー・ノートが浮かぶ他にも安部公房はピンクフロイドちまちま出るんだよな

人肉食用反対陳情団と三人の紳士たち



今月のテヘランの靴

ホッタタカシ@t_hotta・Feb 17

>安部公房氏の短編小説「靴」を戯曲化したもので、とあるので、『笑う月』収録の「靴」が原作のようだ。戯曲『棒になった男』の第一幕「靴」ではなくて。

【駐イラン日本大使が、テヘランで安部公房氏の「靴」を題材とした演劇を鑑賞】 <https://parstoday.com/ja/news/iran-i93406>



「相川駐イラン大使が、首都テヘランにある劇場で、日本の小説家安部 公房（あべ こうぼう）氏の短編小説を題材とした演劇を鑑賞しました。

この演劇は安部公房氏の短編小説「靴」を戯曲化したもので、イランのアリユ・ラゲブキャーニー氏が演出し、テヘランにあるアフラーイー劇場で上演されています。

イルナー通信によりますと、相川大使は日本大使館文化部の松下氏と共に、演劇「靴」を観劇しました。

同大使はこの演劇を観たあと、「演劇の演出はすばらしかった。出演者も見事に、安部公房さんの作品を演じた」としました。

また、「この演劇は、靴の外の世界とコミュニケーションがとれることを我々に示している」と語りました。

さらに、イランと日本の文化について、「この作品をはじめ、そのほかの演劇は、両国の間の架け橋となりうる、日本は漫画家だけでなく、安部公房氏など才能あふれる劇作家も多数存在する」としました。」

今月の上演

若旦那家康@wacadanna・Feb 11

若だんさんと御いんきょさん『すなの』

これまでは京都の演出家を3人の演出家が安部公房の短編3部作を上演してきましたが、今回はもっと若く、広くコトリ山本の短編で同じ仕組みでやります。

3月5、6日にTHEATRE E9 KYOTOで。

<https://stage.corich.jp/stage/122228>

今月の赤い繭

音隅 管譜@otonezumi・Feb 16

おれは家と家との間の狭い割れ目をゆっくりと歩きつづける。街中こんなに沢山の家が並んでいるのに、おれの家が一軒もないのは何故だろう？.....

と、何万遍かの疑問を、また繰り返しながら。 —安部公房『赤い繭』

みどりねこ♥@fancysweets・Feb 12妹から勧められて読んでみたけど、意味がわからない...安部公房は全体的に世にも奇妙な物語感があると思ってる...

今月のリンゴ

madeleine@storyfor・Feb 11

さながら星の運命の様に
君のリンゴも名前を忘れただらう
完結したものは名前を持たない
再び現実に復帰した
夢想の上を行く蒼い透明だ

——安部公房「リンゴの実」より

今月の終りの道の標べに

madeleine@storyfor・Feb 15

それでも私は言いつづけた。

《とにかく僕には分らないんだ。

なぜ僕が、予定表に書き込まれた

とおりの僕でいつづけなけりゃならないのか、どうしても分らない.....》

——安部公房「終わりし道の標べに」



書き出しbot@meikakidashi・10m

「終わった所から始める旅に、終わりはない。墓の中の誕生のことを語らねばならぬ」

安部公房『終りし道の標べに』

「幻の処女作。ここに新しいリアリティーがあった。異民族の中で培った確固とした他者。埴谷雄高は何かの予感を禁じ得ず雑誌「個性」に持ち込んだ。青年公房の生身の思索は17年後書き換えられ、もはや読むことはできなくなった処女作。読者の期待に応え甦った処女長篇小説真善美出版。」

今月の希望と絶望

うたうたいbot@hirari_ktnh・Feb 11

.....人間にとって、いちばんの毒は、希望と絶望の化合物なんだ。希望に近づけば絶望が深まり、絶望から逃れようとすれば、希望も消え去る。並の毒と違って、死ぬことも出来ないんだ。

『愛の眼鏡は色ガラス/安部公房』

今月のサイバーパンク

プリヴィア❖Atomos@previa_slothrop・Feb 17

Cloudpunkがサイバーパンク版安部公房みたいになってきた。テキストすごいなこれ。

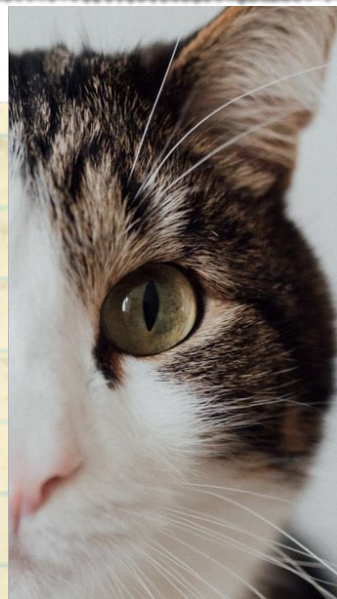


今月の他人の顔

シエスタ299・好きな言葉と好きな歌@siesta2999・Feb 16

安部公房、「他人の顔」より。

僕は表情を出さずにいるのが格好いいと思ってた時期もありましたが笑、思い過ごしですね。表情が豊かな人は魅力的。そうあるように努力せねば。



顔というのは、つまり表情のことなんですよ。表情というのは他人との関係をあらわす方程式のようなものでしょう。自分と他人を結ぶ通路ですね。その通路ががけ崩れか何かで塞がれてしまったら、せつかく通りかかった人も無人の廃屋かと思って通り過ぎてしまいかもしれない。

カノ@qanopus・Feb 12

他人との関係性をテーマに短いプロットを書いたので、タイトルをつけようと思って、他人の顔って打った後に、あれ、これ何処かで見た事あるな？ってなって、よく考えたら、安部公房の作品だった。超劣化版のパクリを無意識に作り出していた。

今月のスイッチ

アニ@grotaku・Feb 14

安部公房を読んでたら「ラジオにスイッチを入れる」という表現が出てきて、その二格自分じゃ使わないなと思った。「壁に画鋏を刺す」みたいなのは言う。違いはなんだろう

今月の箱男

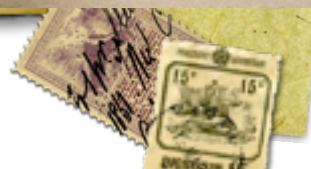
燃@QykPd・Feb 13

箱男/安部公房

#読了

途中までは普通に読めて、途中から混乱し、その構造に気がつくと混乱が快感に変わり...

読みやすいが難解
難解だが読みやすい



とろの本箱📖@kon_ton2・Feb 18

箱男

読書って体験なんだなあと教えてくれた初めての一冊。漫画や映像にはできない「でも確かにそこにある何か」を文章から「感じる」。

安部公房に出会って初めて小説の醍醐味を知った気がする。

段ボール📦を被って生きて行く事にしたある男の手記。軽くて気味悪いのがぞくぞくする。

Ninh@2notugi3・Feb 12

安部公房 小説を生む発想 「箱男」について 2

<https://www.youtube.com/watch?v=QN68K4CZIOE>

今月の山口果林

昭和平成ガイド@showa_g・Feb 15

昭和を振り返る画像。

『山口果林の若い頃（安部公房と20年以上愛人関係だった）』

プロフィールは

→<https://showa-g.org/men/view/68>



らんぶる@tamuramble・Feb 14

高校生の時ぶりに安部工房作品を読んでいて、カフカを読んでいる時の心地よい窒息感を感じたのだが、どうやら安部工房≒和製カフカというのは通説で、かつ本人はそう評されることを嫌がっていたみたいね。

「安部公房とわたし」の真実

女優・山口果林に聞く大作家の実像

<https://toyokeizai.net/articles/-/18226>

安部 公房（あべ こうぼう、1924年〈大正13年〉3月7日 - 1993年〈平成5年〉1月22日）

は、日本
安部 公房
島郡（現



今月の餃子

かえで@T_F_i_A・Feb 18

餃子を作る安部公房の図、なんとも味わい深いものがある



今月の勅使河原宏

中井寛一@ichikawakon・Feb 11

その前の監督賞候補は『砂の女』の勅使河原宏なのだが、これは演劇的古典の素養が関連するのだろうか？『砂の女』は安部公房原作だが。。安部公房も戯曲を色々書いておりますが。

Quote Tweet

ぼのぼの@masato009・Feb 10

濱口竜介の前にアカデミー賞監督賞候補となっている黒澤明も、対象作品は『乱』、すなわちシェイクスピア『リア王』の翻案劇だった。「日本語というハンディを埋めたのは、チェーホフ、シェイクスピアという、演劇的古典の素養だった」...この点を決して見逃すべきではない。

今月の第四間氷期

だいきの眩き@dalki_K10・Feb 13

安部公房リレー企画、次は『第四間氷期』を読んでいる。昔、銭湯に置いてあったのを半分くらいまで読んだことがある。これも『けもの〜』とはだいぶ作風が変わるがけっこう面白い。

本紹介pt2 第四間氷期

<https://www.youtube.com/watch?v=JprMFTJDA48>

今月の芥川賞受賞作家

竹永知弘@tatatakenaga・Feb 12

砂川さんが影響を受けた作家に、安部公房と村上龍の名前挙げるの、納得感ありすぎますね

メルキド出版@ngz55・Feb 16

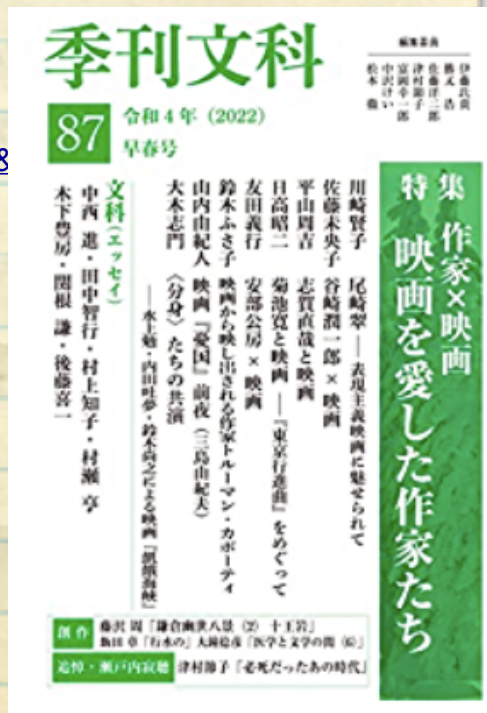
砂川文次が安部公房好きと知って驚いた。

今月の映画を愛した作家たち

ジャクジャク：関連@jakjakh24・Feb 16

明日 (2/17) 発売：<https://www.amazon.co.jp/>

季刊文科87号-特集・作家x映画-映画を愛した作家たち-勝又-浩/dp/4862659500/ref=sr_1_211?__mk_ja_JP=カタカナ&keywords=映画&qid=1644988231&s=books&sr=1-211



『季刊文科87号 特集・作家×映画 映画を愛した作家たち』

谷崎潤一郎、尾崎翠、菊池寛、三島由紀夫、水上勉、志賀直哉、**安部公房**、カポーティらの映画との深い関係や、映画化された作品などについて

「今号は「映画×作家 映画を愛した作家たち」を特集。谷崎潤一郎、尾崎翠、菊池寛、三島由紀夫、水上勉、志賀直哉、安部公房、カポーティらの映画との深い関係や、映画化された作品などについて、佐藤未央子、川崎賢子、日高昭二、山内由紀人、大木志門、平山周吉、友田義行、鈴木ふさ子が描く。

そのほか文科(エッセイ)では、中西進、津村節子、後藤喜一、村瀬亨、木下豊房、田中智行、関根謙、村上知子、創作(小説)では藤沢周、飯田章、大鐘稔彦、松本徹らの作品を収録する。」

今月の満洲

naomin_小林直美@movingtoomuch・Feb 16

安部公房の60歳のときのインタビュー。いい。

「満州で育つということは“都市的人間、として育つということ” 「他者との通路を回復しない限り、人間の関係は本当のものはできない」

NHK あの人に会いたい 安部公房 : <https://www.youtube.com/watch?v=6SjT3UemcKg>

[v=6SjT3UemcKg](https://www.youtube.com/watch?v=6SjT3UemcKg)



今月の発明

ふりかけ@えーがとぎたーとまんがあかうんと@0B6Azfejp18CDyD・Feb 11

タイヤチェーンを付けやすくする構造を発明したのは安部公房。

今月のフェティズム

壊れた音量ボタンを許さない会🍎@jihi_doggo・13h

アサルトリリィとかスタアライトとか観てて気づいんだけど、自分は太ももから足首にかけてのフェチズムを備えているらしい。安部公房に影響されたのかもしれない。



今月の反文化大革命声明

古書ニザワ@oohira_3_85・Feb 14

『三島由紀夫と戦後』（中央公論社）に載ってる石川淳・川端康成・安部公房・三島由紀夫の座談会「われわれはなぜ声明を出したか 芸術は政治の道具か?」、川端の名前が後半全くないんですが途中で帰った？

今月の魔法のチョーク

Chalk Warfare 4.0

SoKrispyMedia

チャンネル登録者数 217万人 登録済み

Drawing weapons with chalk? Chalk Warfare.. 4.0?!

Click to tweet! <https://ctt.ac/bcsbd> Making of: <https://www.youtube.com/watch?v=4UP5L...>

Directed by Sam Wickert

今月のプーチン

ひであき@ありがとう by 陽気な反骨老人@Elder_Hideaki・Feb 16

Replying to

@rihujinnaneko

「プーチン懐妊」とは、なかなか奥深いですね

安部公房の作品（タイトルは忘れた）の文中に

「男が妊娠すると、死が生まれる」

というのがあり、衝撃を受けたのを覚えてます

女は人（赤子）を産み

男は死（戦争）を産む

ある意味プーチン、現在懐妊中なのかも

ぜひ流産してほしいところです

今月の笑う月

「変な本大賞」決定会議@higashimadt・16h

YouTubeで発表「月の本」ベスト3!

3位：世界的日本人作家

2位：超マニアックなミステリー

1位：ベストマンガ2021

↓気になる人は短縮版から

「月」にまつわる不思議な本ランキング！ <https://youtu.be/PwqqnC8mKG8>
@YouTube
より

今月のS・カルマ氏

部公房『壁—S・カルマ氏の犯罪』あらすじ考察 不条理な「不思議の国のアリス」 <https://ks-novel.com/kabe/-/21881/.html...>

目覚めたら名前が無くなっていた主人公。現実での存在権を失った彼は、不合理な嫌疑をかけられる。カフカの『変身』を想起させる、不条理小説です。芥川賞史上最も前衛的。

第166回芥川賞発表

「ブラックボックス」砂川文次 受賞者インタビュー「うるせえ、ゴン！」
で解決：<https://bungeishunju.com/n/n127f11c4b770>



〈略歴〉

1990年生まれ。2016年「市街戦」で第121回文学界新人賞を受賞してデビュー。元自衛官で、現在は地方公務員。

「——入隊のとき、なにか本を持っていきましたか。高校生のころは司馬遼太郎、大学時代には安部公房にのみりこんで、そこからカント、フッサール、ベルクソンなどの思想書を読んでいと聞きました。

砂川 死ぬほど持っていきました。司馬遼太郎は読みつくしていたので、**安部公房**の本を何冊も。入隊後も、たまの連休には久留米から博多へ行って、大型書店で本を補充していました。」



今月の石川淳

「今週のおひつじ座の運勢

倫理的無法

今週のおひつじ座は、どこまでも子どもっぽいエロティシズムを貫いていこうとするような星回り。

石川淳の『六道遊行』という小説は、千年の時空を超えて現代と奈良時代とを往復するというSF仕立ての物語で、そこには玉丸というスーパー・ベイビーが出てくるのですが、彼の後見人である成り上がりの事業家がおもしろいことを言うのです。

「ばか教師がなにを知ってをるか。こはれたものをあとから継ぐといふ思想がわたしには気に入らん。茶碗は割れば消える。ものは消えるといふことを知ればそれでよいではないか。あとの始末は掃除番にまかせておけ。窓ガラスに黄金のボールを投げつけてあそぶのが貴族のあそびだ。窓もボールもどこかに吹つ飛んで、空虚の中に当人がゐる。空虚こそ貴族の立つところぢやよ。」

この小説はいわば男性原理と女性原理の確執を、戯画化された政治史として描いているのですが、作者の「陽根の運動は必ず倫理的に無法でなくてはならない」という子どもっぽい恋愛テーゼは、玉丸の「おれはひとりで行く。おもふままに振舞ふ。たれの世話にもならない。じやまなやつはどけ」というセリフとして結晶化していくのです。あなたもまた、下手に世慣れた振る舞いでお茶を濁すのでなく、むしろ本来の自分らしいやり方に切り替えていきたいところ。」

https://www.excite.co.jp/news/article/Iphone_girl_612104/

第141号&第144号 (第三版) 改訂版案内

1。第141号 (第三版)

第141号 (第二版) を訂正しました。

ダウンロードは：<https://docdro.id/KTCE4o0>

P14：「4。第三章：文語体と「分からせること」」の章

訂正前：この章の段落の最後の行が欠けてゐた

訂正後：この和文調と漢文調といふ分け方も、谷崎と同じです。和文調が減び、漢文調

2。第144号 (第三版)

2. 第144号 (第三版)

訂正は次の通り。ダウンロードは：<https://docdro.id/C6HTHvF>

P18：[註1]

訂正前：三島 [註B] 当然のことでしたし、

訂正後：三島由紀夫が、その連想の豊かな文体を持った戯曲『友達』を賞賛して惜しまなかつたことは [註B] 当然のことでしたし、

3. 第145号 (第三版)

訂正は次の通り。ダウンロードは：<https://docdro.id/I4SJMov>

P34

改訂前：前いは

改訂後：前者は

4. 第148号 (第三版)

号数の訂正をしました。

訂正前：第147号

訂正後：第148号

ダウンロードは：<https://docdro.id/ODAfjrt>

5. 第151号 (第二版)

訂正箇所は次の通り。ダウンロードは：<https://docdro.id/2F46XVK>

1. P86：第一行

訂正前：1930年代以降

訂正後：1913年以降

もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢へて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*) コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6。応募名：

- (1) 本名を名乗ってはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗ってはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7。選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8。作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9。評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の読者としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10。評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11。賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12。将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(37)

〈鯨〉

北川冬彦

〈鯨〉

巨大な鯨を浮かべると、海峡は一瞬ののち壊滅されてしまった。

無辜の海峡。

いな。いな。正された方向の方向。

悪は、すでに巨大な鯨を浮かべたところにあるのだ。

海峡への思ひ出、これも立派な悪の所業也。

巨大であること、それは凡て悪である。悪にほかならん！

安部公房の遺骨は川上霊園にはない

岩田英哉

令和4年・2022年1月23日、14:00にJR八王子駅改札口に集合といふことで、直前でありましたが読者の方々に声をかけましたあるところ、誰も来ず、私一人だけ川上霊園に行きましたのは、これは結果としては良いことでした。以下、私が同園の管理事務所の職員に確認して知ったことを一問一答の形式で箇条書きにして記録に残します。一人で行つて、よかつたのです。何故なら：

1。安部公房の遺骨は川上霊園にはない

私：安部公房のお墓を尋ねたいのですが、区画の住所を教へて下さい。

職員の女性：その方のお墓はありません。

私：ない？（私は驚く）それでは、安部家のお墓の場所を教へて下さい。

女性：ご遺族の方に教へるなどいはれてゐます。

私：安部家のお墓はあるのですか？

女性：あるともないとも言へません。お墓の有無を教へないで欲しいといはれてゐるものですから。

〔解説〕

安部ねりさん生前に、あるときねりさんから電話がかかつてきて、次の会話を私と交はしたことがあります。

ねりさん：あなた、コーボーのお墓のことを書いてゐるでせう。

私：はい、書いてゐます。

ねりさん：あのお墓にコーボーの遺骨は入つてゐないのよ。

私：ええ？（驚く）それではどこにあるのですか？

ねりさん：私が握つてゐるのよ。

これはほぼ忠実な会話の再現です。「握つてゐる」といふものの言ひ方は、後日知るねりさんのコーボーを如何に大切に思つてゐたかを知るにつれ、この思ひの強すぎたことが父親と縁のあつた大切な人たちを遠ざけ排除してしまつて孤独になるといふ過ちを犯してしまひましたが、その思ひの出た動詞の選択であつたことが、今はよく解ります。

私は、ねりさんが京都でなくなつてから、当然遺族の方はねりさんの遺骨もコーボの遺骨も共に八王子の川上霊園に納められたと思つてみました。何故ならそこには安部公房の母安部よりみと妻真知さんが納骨されてゐることを、私は他の時のねりさんとの架電での会話で知つてゐたからです。安部公房の母よりみさんの既に眠つてゐる安部家のお墓に真知夫人の遺骨を納めるときに、文字通り一天俄にかき曇り、大きな雷鳴がとどろいたのよとねりさんは語つたのですが、それは、それほど二人の仲が大変仲が悪かつたからだといふ理由の説明でした。余談でした。

といふことは、安部公房の遺骨は長男の賢治さんといふ方（これは安部公房の好きだつた宮澤賢治の名前からつけられたものと察します。何故ならねりさんのネリも『グスコブドリの伝記』の名前から取られたものだからですが、その賢治さん）の手元にあるか、または此の方のお住まひの（香川県と以前仄聞したことがあります）近傍にあるお寺にあるものか、といふこれら二つの可能性があるといふ以外にものいひやうがありません。いづれにせよ、安部公房の遺骨は、安部公房らしく、永遠の恋人山口果林の居宅から救急車でサイレンの音高く運ばれたあと、時を隔てて遂に失踪して、私たち読者の視界から消えてしまひました。

私が懸念してゐることは、ねりさんの没後近藤一弥さんが窓口の役割を担つてゐるといふことで何度かご長男である著作権承継者に写真の転載の使用許諾をもらふやりとりをしたものの、去年以来、それ以後は近藤さんからも一切の返信なく、著作権継承者に連絡が取れないことです。もともとねりさんが酒井著作権事務所を使つてゐた時にも、ねりさんからの応答が遅いので酒井さんに督促をすると、ねりさんはいつも回答が本当に遅くて困つてゐるといふ回答の来たことが一度ありますので、何か同様の問題が起きてゐるのかも知れませんが、私の懸念は安部公房の戯曲を上演する劇団とも同じ意思疎通の問題が生じてゐれば、上演する演劇の品質が落ちるだらうといふ懸念です。

さう、思つてみると、実際に去年上演された『友達』の中の一つの演出は、最後に父親の読み上げる上演当日配達された実際の新聞紙である「明日の新聞」の場面を削つてしまつたものがあつて、私は大変驚きました。これは演出家が戯曲を全く理解できてゐなかつたといふことを意味するもので、傑作『第四間氷期』の予言機械の今日の予言が「明日の新聞」だといふ理解に演出家が至らないのであれば、役者が可哀想です。稽古の努力が皆無駄になります。同じことが、これからも起きるでせう。ねりさんがゐれば、決して許すことのなかつた、これは改竄です。また、その他の劇団の役者の演技も、安部公房の否定し

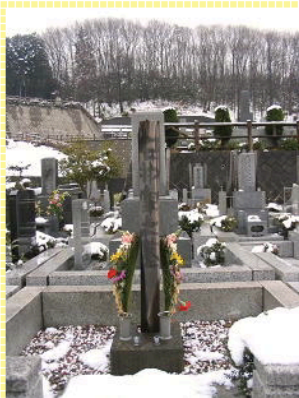
た新劇風の情緒的で心理的な発声と大袈裟な身振りの劇団が多く、ニュートラルの精神を発揮した肉体と生理に忠実な演技を観ることはありません。これは誠に残念なことですが、全集で『周辺飛行』の連載を読んでも、哲学的な基礎の上に安部公房スタジオの若い役者たちを鍛へに鍛へた安部公房級の、沈黙と余白を理解した演出家は、恐らくもう出ることはないのでありませう。能楽者に演出を頼むと逆に良い舞台となるのではないかと思つてみます。

私は観劇にいつて舞台が開いて、それが上述の理由で余りに酷いと目を閉ぢることにしてあります。さうして、役者たちの科白だけに注意を集中して耳傾けると、役者一人ひとりがどれだけ其の科白を理解して体の中に納めてあるか、その科白を発声するのに演出家がどんな台本の解釈をしてどんな指導をしたのかが、目を瞑つた闇の中でよく理解できるからです。それが、安部公房の戯曲上演のほとんど唯一の、期待外れの場合の、私の楽しみとなつてあります。若い役者たちが戯曲『友達』のあの修辞に富んだ安部公房らしい科白をなす日本語の文章が難しいと感じるのであれば（私にはさう聞こえる）、以上の理由もあつて、戯曲上演の質の劣化は避けられないといふ懸念を覚えるのです。どの劇団の演出と演技にあつても、今年は、少しでもこの懸念の払拭あることを祈ります。

最後に、さて、冒頭に話を戻しますと、川上霊園の管理事務所にいつても安部家の墓所を教へてもらふことはできませんので、当時私の書いた此のブログ記事を案内人またはガイドブックにして、安部公房らしい無名碑の墓石を尋ねるのがよろしいでせう。門の傍にある管理人に尋ねると永遠に入門の後の目的地に、その組織に拒絶されて永遠に到達できないといふのは、安部公房の「水先案内人」であつたカフカの主人公になつた気分です。カフカの主人公になりたくない方のために「安部公房の墓2」のリンクです：https://abekobosplace.blogspot.com/2012/10/blog-post_6042.html

この記事の前に書いた、無名碑ではない木札の時代の「安部公房の墓1」のリンクは：<http://kajipon.sakura.ne.jp/haka/h-n-sakka.htm#abe>

★安部 公房/Koubo Abe 1924.3.7-1993.1.22 (東京都、八王子市、上川霊園 68歳) 2005&10



『都市への回路』論

(7)

岩田英哉

(6) 『密会』の持つ神話性

試験管ベビーとして生まれた女秘書の話の後に続けて、インタヴューアーは次のやうに発言します：

「——同時に『密会』は神話的な感じも与えますね。たとえば、冒頭のシーンに、夜明け前の午前四時頃、旧陸軍射撃場跡を走る「馬」が登場し、「ぼく」が食事を運んで会話を交わすくだりがありますが、のっけからきわめて神話的な予感に富んでいると思います。」

このインタヴューが続けていふ『密会』の小説論として持つ性格は次の二つであり、神話性を備へた小説を最初の性格として、他の二つを入れてまとめると、

- ①神話性を備へた小説（神話的小説）
- ②「全体が「失踪」のドラマである」小説（推理小説的小説）
- ③「この小説は一種のSFでもあって、きわめて複雑な要素が入り組んでいるといふ感じ」の小説（SF小説）

安部公房が中学生の時にエドガー・アラン・ポーに熱中したといふ話を思ひ出せば〔註1〕、②の性格は説明は不要でせう。また、安部公房の文学観は「仮説設定の文学」ですから〔註2〕、③についても説明は不要でせう。それでは①については、作家はどのやうな説明をしてゐるかといふことが、次の問と答によく示されてゐます。

〔註1〕

「錨なき方舟の時代」（全集第27巻170ページ。60歳）という対談で、小説を書くとき意識せず書いた「終りし道の標べに」の後、小説を意識して書くようになった小説は「けものたちは故郷をめざす」ではないかと問われて、安部公房は次のように言っています。

「ぼくにも小説への志向はあったんだよ、ずうっと子供の頃から……。実存主義にひかれるようになる以前、中学生の頃からだな。ポーが好きで、ああいう面白いでたらめを創ってみたいとかねがね思っていたことは事実なんだよ。それが地下水みたいに、いまもどこかを流れて

いるような気がする。」

[註2]

1962年(38歳)に安部公房は「SFの流行について」(全集第16巻、376ページ)と題したエッセイ(評論)を書いています。その二つ目の章は「仮説の素材としての科学」と題されていて、ポーが仮説の文学の典型として論ぜられています。そうして、その章の最後に次のように言っています。

「日常性とは、言い換えれば、仮説を持たない認識だともいえるだろう。いや、仮説はあるのだが、現象的な事実と癒着してしまって、すでにその機能を失ってしまっているのだ。そこに、あらたな仮説をもちこめば、日常性はたちまち安定を失って、異様な形相をとりはじめる。日常は活性化され、対象化されて、あなたの意識を強くゆさぶらずにはおかないはずである。

ポーの気球も、大渦も、しゃべる心臓も、けつきよくはその仮説にほかならなかったのだ。科学は目的ではなく、仮説を形象化するための、素材にすぎなかったわけである。

「なにも、ポーにかぎらず、一般にSFを、仮説の文学だと考えても差つかえないのではあるまいか？」

更に、このエッセイの最後の章「SF的発想の再認識を」の最後で次のように、ポーについて語って、エッセイを締めくくっています。

「さて、こうしてふりかえってみると、仮説の設定を、方法として自覚的にとりあげたという点で、近代SFの始祖は、探偵小説の場合と同じく、やはり、ポーにつきるように思われるのだ。ポーの方法を、形式の点でも一純化、もしくは俗化の、程度の差はあれ一かなり忠実に受けついで、ガーネット、コリア、サキ、ダール、ブラッドベリ、シェクレイなど、だれかが「奇妙な味」と名づけた、あの一群の短編作家たちならずとも、直接、間接に、ポーの影響をうけなかった現代作家は、まずいないといっても、いいすぎではないのではあるまいか。

そろそろ、芸術至上主義者などという固定観念にはとらわれずに、ポーの再評価をこころもみてもいい時期にさしかかっているように思われるのだが……。

SFの流行も、これを仮説精神の回復とみるならば、単なる現象をこえた、文学の本質にかかわる問題であるはずだ。」

この①について作家の回答するところが、近代ヨーロッパ哲学用語でいふ超越論といふ哲学の論理なのです。それは、時間の中で私たちが常に選択を迫られる二項対立ではない、因果律を離れた論理の世界です。このインタヴューアの埴さんといふ方は此のことをよく知った上で次のやうに質問します。

「——日常的な因果律の環が崩れるということですね。

安部 日常的な因果律というのは、単位が非常に小さいところだけで成り立っている。たとえばユークリッド空間は、微視的には、われわれの日常生活の中で確実に機能するし、役に立つ。しかし、巨視的な立場に立つと、ユークリッド空間では具合悪くなる。飛行機でアメリカへ行くだけでももう非ユークリッド空間だからね。神話では因果律を運命としてあつかうわけだ。原因と結果が等価的に自分の周辺にあるのではなく、原因を次元の異なった手の届かないところに置くのが神話なんだよ。この小説はいままでの仕事の中で、一番ニヒリスティックかもしれないね、その意味では。」（傍線引用者）

上記傍線部を整理して定義にすると、安部公房による神話の定義は、次の通りになります。

神話の定義

神話とは、

- (1) 原因と結果が等価的に自分の周辺にある話であつて（価値等価論）、
- (2) 原因を次元の異なった手の届かないところに置いた話であり（複数次元存在論）、
- (3) 日常経験的には真理であるユークリッド空間を、非ユークリッド空間に移しまたは写した話である（トポロジー理論）。

といふことになります。といふことは、安部公房の仮説設定の文学とは、この定義のうちの(3)にある後者の空間、即ち非ユークリッド空間のなかに設定したものが仮説であつて、この仮説に依つて前者即ちユークリッド空間を変形させた文学、これが安部公房の文学空間（と、作家自身の用語を用ひて、さう呼んで良いでせう）だといふことになります。ここで得る仮説設定の数学的定義は次のものになります。

仮説設定の文学の定義

仮説設定の文学とは、非ユークリッド空間のなかに設定した仮説に依つて日常経験的な真実 (truth) または事実 (fact) であるユークリッド空間を上位の次元に移しまたは写して変形させた文学空間である。

[補足説明]

「ユークリッド空間を上位の次元に移しまたは写して変形させ」とは、上位空間から下位空間であるユークリッド空間を眺めれば、後者は前者の一部です

ので、後者にとっては前者は後者の外部を提示してゐることになり、この二者の間には差異が生まれて（これを異化効果と呼んでも良い）、後者の空間が歪むことになります。この歪みを、安部公房は副院長の馬といふ化け物、怪物またはモンスターの姿で描いて、読者に衝撃を与えるわけです。しかも、安部公房は生理的な感覚を読者の中に生み出して衝撃を与える。これを強者と弱者の問題として提示して、実は後者即ち弱者が多数を占めると強者になるといふ

「逆進化」の法則（同時にこれは近代民主主義の政治制度の逆説であり、逆進化でもある）を、「良い医者が良い患者」といふ馬の口にする標語として書いてゐるわけです。この逆進化の「哲学」の持ち主である副院長」の馬についての安部公房の言葉を引きます：

「「動物の歴史が進化だったとすれば、人間の歴史は逆進化の歴史なんだよ。怪物万歳さ。怪物というのは偉大な弱者の化身なんだ」。

ここで、私たち日本人の逆進化から産まれた怪物、ゴジラを想起することは、日米関係を含めて国際政治に関する洞察をもたらす契機になるかも知れません。ゴジラ万歳。ゴジラこそ、私たちが日本の国家の外部に出て、日本の国について外部から日本人として考察するための、媒体としては最高のモンスターであつたといふことが判ります。ゴジラの出現と共に、日本の国は国家として少なくとも次元上の存在としてある国家になつた。弱者である日本の国民の多数が逆進化して生まれたゴジラ国家Japanです。国際政治の舞台で大暴れしてほしいものです。アメリカのやうにではなく。さて、文学に戻ります。

（7）SF的な医学用語

インタビューが次の質医学用語①について質問してゐます。答へる安部公房が言及する用語も②から④として列挙します。

- ①軟骨外科
- ②人間関係中枢
- ③人間関係神経症
- ④閉所恐怖症

これらの用語についての安部公房の説明の根拠は次のやうなものです。

（1）「人間関係というものは、根源的に人間の生理にまでも結びついているものだ」。

- (2) 人間には閉所恐怖症が起き、監獄は苦痛である。
- (3) 人間は自由を追ひ求めるものだ。

上記(1)から(3)を説明できる仮説として、安部公房の設定する函数が「人間関係中枢」といふ機能です。このやうなものの考へ方と自由な機能的な命名が、安部公房の十八番です。読者としては、かういふところが楽しい。これらのことをまとめて考へて、安部公房の人間観をまとめると次のやうになります。

- (1) 人間といふ存在は函数である。
- (2) そのやうである生きた人間(現存在)にとつて、人間関係とは非常に生理的なものである。
- (3) 「小説の場合には、それをさらにあり得る実体として書かなければいけない」。従ひ、
- (4) 生理的な描写を可能とする病名を仮説として案出することになる。
- (5) その仮説的病名が「人間関係中枢」といふ社会関係を生み出す機能の名前である。「軟骨外科」も同じだけど、騙されてもらえばそれでいい。妙な外科だくらいに思ってもらえばそれでいいんだ。」

このやうに述べた後に続けて、上記(1)から(5)を一層まとめて、実に安部公房らしい、といふことは、何かかう「人間は糞袋だ」といつて来た禅坊主のやうな科白を吐くのです。

「人間というものは、要するに皮の袋に詰め込まれた有機物だろ。」

「要するに皮の袋に詰め込まれた有機物」人間とは、これは柔軟性がある形象のあることを感じて下さい。さうして見れば、この要約の次に続く次の言葉に、あなたは読者として『デンドロカカリヤ』の変形を思ひ出し、相前後して『赤い繭』を思ひ出し、『魔法のチョーク』を思ひ出すのではないでせうか。安部公房の発想の生まれる瞬間をあなたは目の当たりにする筈です。もしあなたが魚釣りが好きならば、餌をつけて糸を水の中に垂らして凝(ぢ)つと釣れるのを待つてみると(この「と」がとても大切なことなのです、記憶して置いて欲しい、後日言語の観点から文法的に解説します)、ふ「と」(超越論)安部公房の発想を観ることが出来ます。その発想点、魚のかかつたポイントを知ることが出来ます。その魚の名前の一つが「軟骨外科」といふわけです。と、ここまで来ると、溶骨症の少女といふものの生まれる順序もよく判ります。軟骨といふものを極端に変形させたら溶骨になるといふことです。

—硬骨—軟骨—溶骨—

といふ概念連鎖です。

「そして人間は、あらゆる生物の中で、一番機能が分化しているわけだから、袋の中の有機物の各部分も分節しなければいけない。そのためには骨みたいなもので中に梁を入れて、いろんな部屋に分けなきゃいけない。しかし骨が動かなければ突っ張ってしまって〔引用者：ここで私はコモン君の変形の場面を連想しました〕、植物みたいなものだ。各パートに分節した機能を動かすというのは、当然、骨の中の軟骨の部分になる。という意味で、ある意味で人間の形態上の本質を軟骨であると……まあ、これは冗談として受け取ってもらってもかまわないんだ。」

この仮説的生理感覚変形論は、このまま安部公房スタジオの演技指導理論の中核概念であるニュートラルといふ、人間心理にではなく人間生理を大切にしたい此の用語に直結してありますので、後でまた「演劇について」で言及することになるでせう。引き続き、小説との関係で、人間の生理の話が続き、私たち読者にとっては、安部公房作品の秘密の箱を開ける鍵を受け渡されるやうな話が続きます。安部ねりさんの言葉を借りれば、「安部公房といふ缶詰の缶切り」を手に入れることとなります。

(8) 人間の生理

(続く)

『文章読本』論

(11)

井上ひさし (2)

岩田英哉

10.1 何故「滑稽な冒険」なのか

前章で、「この文章読本論の初版が、1987・昭和62年ですから、これは当時の出版業界の悪弊、読者の読書に関する怠惰、言語の本質への軽視、書籍といふ文化に対する軽薄な態度の横行、時間と歴史の連続を大切にする伝統の欠如、従ひ文化の衰退への警鐘、これらのことへの憂ひが、作家に此の本を書かせた。」と書きましたが、それが読本中にはもつと詳細に述べられてゐて、しかし其の出版業界の売ればよいといふ事業姿勢、読者の怠惰、即ち繰り返し読むに堪える作品と本に対する愛情の衰退、時間即ち歴史の連続性に対する尊敬の念の欠如、従ひ未来への志向の欠落、従ひ今さへよければ良いといふ享樂的な生き方、このやうなことを井上ひさしは次のやうに述べてゐます。要するに、

「大量生産→大量宣伝→大量購買→大量破棄」といふ枠組みの中で人は生きてゐる（同書新潮文庫版14ページ）。

この文章読本で井上ひさしの書きたい事はみな最初の「滑稽な冒険へ旅立つ前に」といふ序論で、安部公房好みの慣用句を使へば「劇場の幕の上がる前に」芝居が終はつてゐるといふべき序論です。ここに作者が述べてゐる事は、これまでの文章読本とは全く異なる視点からの文章論と文章読本論が書かれてゐて、それは何かといへば、驚くなかれ、哲学的または形而上学的視点からの文章読本の意義論であり価値論なのです。井上ひさしは次の概念連鎖について論じてゐる。この連鎖の中で、それ以降の章が、これらの抽象概念が登場しようがしまいが、論じられてゐるのです。上記の軽佻浮薄なる、時代の枠組み（とへるかも怪しい）風潮にあつて、次の概念連鎖がすっかり忘れられて、等閑（なほざ）りにされてゐる。と、さう心中は怒つてゐる。

一言語一言葉一時間一空間一存在一伝統一永続性一文化の前提一古典一

これに対して今と呼ぶ当時の風潮は、出版業界も含めて、これらと全く正反対である事は既述の通りですが、再度反対語を並べてみれば、

—使ひ捨ての言葉—刹那—瞬の時間—TVなどのマス・メディア（空間・場所）—
—一回性の重視—繰り返しの否定—時代を超えた価値の否定—

要するに、

「大量生産→大量宣伝→大量購買→大量破棄」といふ枠組みの中で人は生きて
ゐる（同書新潮文庫版14ページ）。

といふことなのです。果たして、二十一世紀の私たちの意識は、この枠組みに
対して如何ならむ。これ以上この序論について述べると、文章自体の本質から
外れて行くので、あと一つの引用に留めます。笑つてはいけない。この事情は
今も世紀を跨いで変はつてゐないのではないか。

「言葉も同様の扱ひを受けており、その由緒をたどり吟味するどころではな
く、一回こっきりの使い捨てだ。なにしろ婦人雑誌が「冬のお股のお手入
れ……」などと書くくらいである。「お肌のお手入れ」を誤記したのである。
親しくしている中学教師は、この二学期の漢字書取りの試験に、「処女公開」
（航海）、「粗国」（祖国）、「巢まい」（住まい）と書いた生徒がいたと教
えてくれた。「お前は洒落でこんなことを書いてるのか」と問うとその生徒は
「とんでもない」と答えたそうだ。洒落でなかったとしたら、わたしたちはす
でに漢字の伝統とも切れかかっているのかもしれない。こういった事情をもつ
とも雄弁に物語っているのは、近ごろのパロディ・ブームとか称するものだろ
う。パロディが成立するには必ず原作＝伝統がなければならぬ。ところが今の
パロディの原作は殆どが、標語とコマーシャルである。すなわち時間をさかの
ぼることはせずに、同時代のものをなぞり、もじっているだけなのだ。ここ
でも過去と切れている。したがって未来などあるはずがない。一回性を超えるた
めに発明された人類の全遺産が、一回性がいいのだとする刹那的な場当たり主
義によって危機に瀕しているのである。」（同書14ページから15ページ）

従ひ、この序論の最後は次の一行で終はつてゐる。これが「滑稽な冒険」と井
上ひさしのいふ意味です。

「この時代では、過去と未来とを結びつけようという試みのひとつである『文
章読本』を編むなどは、どうしたって滑稽な冒険にならざるを得ないのであ
る。」（同書15ページ）

文章読本の書き手が、それも文章の専門家としての実作者が、ここまで時代の風潮にまで考察をして、最初に詳細に述べて批判をしなければならないほどに何か時代が煩瑣なものに溢れ返へるといふ事は、丸谷才一以前には谷崎以来なかつたことである。井上ひさし「以前」は、文章家は歴代の文章と文体の問題と、その文体と生活感覚即ち時代意識との差異が大き過ぎる状態になつたがために、新しい文体の様式と文章は如何なるものであり、如何にそれを書くべきかといふ議論に終始して問題がなかつたのに、井上ひさしの場合には、この作家の現実の中での出来事に目端の効く人間だといふ作家の個性がある事はさうだとしても（なにしろ該博な引用による、私はここで一々挙げることができなほどに実例が豊富にあらゆる視点から書かれてゐます）、どうしても時代の風潮をまづ書き、これを批判してからでないと、蝸螂の斧たる文章読本を書くことに至らなかつたといふ違ひは大きい。それまでの作家が虚構小説の中でしたことを、この作者は事実としての現実を文章読本の中に導入せざるを得なかつた。以下に「文章読本からみた近代日本史(v6)」を改訂してみると、確かに、井上ひさしの批判した時代の軽佻浮薄の風潮は、バブル経済の真つ盛りで、これに負けてはならじと作家としての矜持を以つて此の文章読本を著したことがよく解ります。次の文章読本を編んだ吉行淳之介のものは、自分の文章論はなく、諸家のもののアンソロジーですので、実質的に井上ひさしのものが谷崎以来の日本語文章批判論といふべき歴代の文章読本の最後のものです。

平成の三十年間には同じ題名の日本語文章批判論である文章読本が作家によつて書かれなかつたといふ事は、次の原因があるでせう。

(1) 時代の風潮にある日本人の日本語が軽薄といふ事は、無意味に過ぎて批評するに値せず、従ひ文章読本が作家によつて書かれなかつた。

(2) 歴代に一貫してゐる精神によつて、その目的と動機を説いた文章読本を書いても、理解できる読者が、それを志した作家以外に、職業的作家も含めての読者が一人もゐなかつた。ゐても、出版社の利益にならず、刊行されなかつた。

ここで、以前にまとめた「何故日本文学は衰退したのか3」を打ち開きますと、何故こんな惨憺たる結果に日本文学はなつてゐるのかといふ事実がよくわかりますので、この年表を「文章読本からみた近代日本史(v6)」の後に掲げます。

この二つの年表を突合して眺めれば、何故昭和の時代と共に文章読本が読まれ

なくなつたか、またベルリンの壁の崩壊によつて第二次世界大戦後の時代が大きく本質的に変化したために翻弄された私たちの生活意識の急激な変化と、政治・経済の変化との一致点または一致線を描きまたは引くことが作家にはできず、また読者もそのやうな真剣な企図を書き手に期待しなかつた。さうして最も重要な事は出版業界の編集者にこの問題を理解する能力がなく、従ひ作家もまた文章読本を執筆できる水準の作家がゐず、育たなかつたといふ事です。

昭和44年・西暦1969年、自ら死を選んだ前年の芥川賞選評に三島由紀夫は次の言葉を残してゐる。これが1960年代の終はりの言葉です。

「(5) 小説を金儲けと考へてゐる若者たち

三島由紀夫が作家入門のようなエッセイのなかで、小説家になりたい若い人の動機が、「金を稼ぎたいから」というのを聞いて、冷笑していたのを思い出しました。

『決定版 三島由紀夫全集』を引っ張り出してみたところ、こんな「芥川賞選評」の文章がありました。

「今度の予選作品を通読してみて、その文学精神の低さにおどろいた。大学も荒廃してゐるが、文学も荒廃してゐる、という感を禁じえなかつた。いかに短篇であつても、ひらめくものはひらめき、かがやくものはかがやくのが文学である。その精神は、現実を転覆させようといふ意欲において、言葉の力に何ものかを賭けてゐなければならない。こんな時代だからこそ、ますますそれが求められる。こんなことではバス一台はおろか、三輪車を転覆させることも覚束ない。」(三島由紀夫「文学精神の低さ：芥川賞選評」、文藝春秋・昭和44年3月／『決定版 三島由紀夫全集35』418頁)

ちなみに、この回の芥川賞は「受賞作なし」であつた。」
(『何故日本文学は衰退したのか』もぐら通信第79号)

これが1970年代に、三島の死後、中村真一郎と丸谷才一が文章読本を執筆した背景にある専門家と、さうならうといふ潜在的作家群の文章の水準です。さうして、1980年代の半ばで井上ひさしが最後の文章読本を執筆した。これも先人の文章読本を熟読した上で書かれた優れた文章読本です。1980年代の作家の文章の質について、作家高村薫が次の講演をしてゐますので、『何故日本の文学は衰退したのか(3)：高村薫「小説の現在地とこれから」を讀

む（月刊文藝誌新潮2018年6月号）』（もぐら通信第82号）より引用しますので、お読み下さい。これは井上ひさしの序論に書いた時代批判に凶らずも一致した発言です。少し長い引用ですが、日本の文学の現状を二十一世紀の今になつても尚考察するために大切な言葉ですのでお読み下さい。

「今月号の月刊新潮に高村薫さんといふ作家の講演録が掲載されてゐます。これは、同氏が「3月17日、横浜市開港記念館でおこなわれた大佛次郎賞受賞記念講演会の講演原稿」とのこと、聴衆に話しかける形で書かれてゐる文章ですから、その分平易でわかりやすい文章で「小説の現在地とこれから」の小説のあり方について語られてゐる。

結論から言へば、同氏の観察によれば、現代の日本文学は、かつてのやうに純文学と通俗文学または娯楽小説との境目について「一昔前まで一般に了解されていた純文学とエンターテインメントの境界が、いよいよ溶け出してしまった」といふこと、「溶け出している」ではなく「溶け出してしまった」という、まさに完了形の話で」とあるといふこと、これが此の作家の現状認識、即ち2018年時点での「小説の現在地」なのです。さうして、この「小説の現在地」にあつての境界の溶解は、純文学が娯楽小説の方に「吸収されつつある、というのが真相です。」

「1985年前後の此の出版業界での事実を、高村さんは読者の立場であつた当時の実感として次のやうに述べてゐます。

「1990年ごろ、世はエンターテインメントの全盛を迎えておりました。正確にはこれも一方には純文学の後退があつたのですが、会社の帰りに書店を覗いて、中上健次や古井由吉や日野啓三、大庭みな子などの新刊が出ると買っていた私が、「読みたい小説がだんだん少なくなってきた」と感じたのが80年代半ばのことでした。村上春樹の愛読者であればそんなことはなかったかもしれませんが、好きな小説がわりに限られている私のような偏屈な読者でも、60年代、70年代に「読みたい小説が少ない」と感じたことはありませんでした。80年代以降の純文学の交代は、一読者の実感だつたということでございます。」

しかし、同氏は此の変化の背景にある書き手・読み手の意識の変化に原因を求め、「書き手や読み手が小説に求めるものが変わった、すなわち小説の姿が変わつたということ」だとしてをりますが、その原因に次のものを挙げてゐます。

(1) 「人間の価値観を大きく変え」た「時代の変化を加速させる技術革新」。その最たるものである「WINDOWS95に始まった情報通信の革命」。何故なら「子どもから大人まで誰でも発信者になれる時代を誕生させ、それによってものを書く行為のハードルが一気に下が」つたから。具体的には、「インターネットという場と、パソコンやスマートフォンというツールを得た」 私たちであるといふこと。これによつて、

(2) 要求されるものは、「面白い」「楽しい」「刺激的」「感動する」「ためになる」こと。そして要求されるのは「すぐに分かる」「すぐに得られる」「すぐに解決する」などの「即時性」であり、「リアルタイム」であり、「共有」であること。従つて「ここにはもはや、従来のしかめっ面をした思弁的な小説が入る余地は」なく、「さまざまな技法を駆使して新しい表現に挑戦する実験的な小説も、もちろん入る余地は」ないといふこと。

(3) 「こうして一篇の小説に一人で向き合う静粛な時間は消え」た。

最後に「さて、それでは、先ほどから繰り返し申し上げている純文学の書かれ方・読まれ方とは、そもそもどういうものかについて話を進め」て、同氏は次のことを言つてゐます。

(1) 日本語は和漢混淆文であること。

(2) この「漢字と平仮名を連ねてゆくなかで立ち上がってくるのは」次の3つの要素であること。

①意味

②音

③形態

形態とは、文字の与へる余白と視覚的濃度の関係の模様の創造を形態と言つてゐて、ここは何か書道と同様の視覚的な感性の有り方を唱へてゐます。さうして、この三要素が日本語の文体をつくり、このことに於いては、「明治・大正期の書き手たちも同じだったはず」だと、この文体は近代日本文学を通じてゐるものだと述べた後で、それぞれの作家が、「それぞれ流儀は異なつても、日本語を紡いで」一つの「文章空間」または「小説空間」を「編み上げる」のだと述べてゐる。空間といふ言葉の選択は、安部公房に通じてゐて、時代に流されたり時代に棹さしてうまくやつてゆくなどといふことではなく、時代に抗して独特の文体の創造をするのだといふこと、これが作家の営為であるといふの

です。これが言語藝術家の姿勢であることに、私は全く異論がありません。

上述した文体と身体性の問題を次のやうに具体的に述べてみます。

「文体とは日本語の意味と音と形態の響き合いであり、つまるところ日本語の単語の並べ方ではあるけれども、その並べ方がつくりだす文体の差は、たとえば語尾一つ、句読点一つの差から生まれてくるような微妙、かつ絶対的なものです。そして、その語尾一つ、句読点一つを選び取るのは、個々の書き手のまさに身体性というものなのです。身体性であるがゆに個別的であり、絶対的であり、けっして方法論に落とし込むことができない、そういう身体性の賜物として、日本語の文体はある。」高村さんは身体が文体をつくる例として野間宏、大岡昇平、武田泰淳の小説群を挙げてをります。

この方は、上記文体3要素のうちの、特に二つめの音に着眼して、「古来からの語りの伝統を取り入れた文学作品」として、石牟礼道子の『苦海浄土』と『古事記』の国生み神話のイザナギ・イザナミの神が天浮橋から「天沼矛を天から下ろしてかき混ぜ」て立てる「コヲロコヲロに掻き鳴し」た音と「神武天皇が八咫鳥（やたがらす）に導かれて吉野川上流の宇陀に入る段では、「エエしやごしや、アアしやごしや」という印象的な掛け声が出て」来ることをこれも例として、挙げてみます。

この方の小説は、このやうな世界へと転換するのでは、これから、ないでせうか。

以上が日本文学のゐる「2018年の小説の現在地」です。これに対して、講演の、さうして最後の最後に「旧来の純文学に、はたして未来はあるのでしょうか」と問いを立てます。

以下この作家の4つの回答を引用して、この方の意志を、安部公房の読者のあなたに伝えて、日本文学のこれからを考へてもらひたい。

(1) 「インターネットが先進国の人間にもたらした変化の一つは、身体性の希薄化というものでしたが、身体性が失われた地平に、身体性としての文体はもはや生まれてくることはありません。文体への固執が消え、文体が消えたところで純文学は基本的に成立しようがないのです。2018年のいまはまだ過渡期にありますけれども、純文学の後退とエンターテインメントの拡大は、人

類史的な規模で人間の身体性の希薄化が進んでいることとつながっている、というのが私の見方でございます。」

(2) 「日本の近代文学の歴史が育んだ文体という意匠は交代しても、古代から続く語りの伝統は消えないでしょうし、映像やゲームのなかで生き残る可能性はあります。人間の物語も、純文学が描いてきたような複雑な内面が消えてゆくのは、生き残る必要がないから消えてゆくのだと考えることができますし、ドラマや映画で描かれるような分かりやすい人間観が標準となっていくても、それはそれで私たち人類がそういう方向を選んだのだと思えばいいこととございましょう。」

(3) 「一つの時代が終わらなければあたらしい時代は始まらないという意味では、今日私たちが目の当たりにしている純文学の後退は、新しくやって来る何物かの予感とともにあるのだと言っても良い。(略)また、エンターテインメントの隆盛も、純文学の後退とセットになっている以上、それほど長続きするはずもないと私は考えております。要は、刻々と様変わりしてゆく世界で、人間が小説に求めるものが変わってゆくのであり、紙媒体でも電子書籍でもない、まったく新しい言語体験というのが起こるかもしれない。現役の小説家の私が、真面目にそんな想像をする今日この頃でございます。」

(4) 「そして、そんな雲をつかむような夢を見ながら、私自身はどうするのかと申しますと、やはりこの古い身体に最後までしがみつकिながら、この身体に響く言葉をあさり、むしり取り、執拗に並べ続けて、日本語の愉楽に溺れるような小説を書きたいと思うのでございます。」

安部公房の考へ方は、かうでした。

写真が出てきて絵画が廃れたか。さうではなく、絵画の固有の領域といふものが明らかになつて、その本来の面目に戻つて画家は仕事をすればいいではないか、そして実際にさうなる。映画が出てきて芝居が廃れたか。さうではなく、映画といふ藝術の固有の領域といふものが明らかになつて、その本来の面目に戻つて演劇人は仕事をすればいいではないか。エンターテインメントに属するマルチメディアの作品が出てきて小説が廃れたか。廃れるものは廃れたらいい。しかし、小説に固有の領分がある筈だ。そこで勝負をすればいいではないか。

このことを、高村薫さんといふ小説家は、文体と身体性の問題として述べたといふ理解で、私は間違つてゐないと思ふ。

ここまで考へて来ると、小説とは、政治でも経済でもなく、文化の領域に属してゐて、それも言語藝術のうちの散文といふ藝術であり、詩文ではないこと、そして小説が言語藝術である以上、『終りし道の標べに』を思つて見れば、言語と書き手が「今此処にかうしてゐること」（現存在：ダーザイン）と本来物事のあるべき・ある筈の姿（存在：ザイン）との関係を言語自体によつて再帰的に書き表す、しかし散文である以上読者に理解されることを前提にして書き表す高度な、言葉と概念と文字を使つた意思疎通の技術、即ち藝術である。といふことになるでせうか。但し、安部公房の場合のやうに（三島由紀夫も安部公房の発見者埴谷雄高もさうですが）、その世界観、宇宙観が日常生活の次元に比して高度であるために、読者を惹きつけはするものの（つまり読者は無意識裡にでも其の文学世界を理解してゐる）、即座には（意識の上で）理解されて其れが読者の日常になることがないといふことを、作者読者ともに、前提にした上で。

文学（学問としての文学ではなく literature、リテラチャー、文藝）とは何かを、徒然なるままに、お考へ下さい。」

（もぐら通信第82号）

最後に駄目押しに、日本文学が顕著に劣化した三つの時機を「何故日本文学は衰退したのか3」から引用します。最初に読者の劣化が起き、次に作家の劣化が起き、最後に編集者の劣化が起きたのです。さて、この三者は今も劣化し続けてゐるのか、それとも大底を打つて上昇機運に乗つたのか。

（1）読者の劣化1：昭和50年・1975年
ヴェトナム戦争の終結

（2）作家の劣化1：昭和55年・1980年
任天堂が初の携帯型ゲーム機「ゲーム&ウオッチ」を発売

（3）作家の劣化2/編集者の劣化1：昭和60年・1985年
日航ジャンボ機墜落事故：桜島南岳大噴火（噴煙の高さ4000mを越える年間噴火回数474回）

以上の利害関係者劣化の歴史を「文章読本からみた近代日本史(v6)」に入れて
みませう。ダウンロードは：<https://docdro.id/mUwvHgY>

2021/09/12, 09/20, 09/27, 09/30, 10/04, 2022/02/02 eiya iwata						
文章読本からみた近代日本史(v6)						
元号	元号の年数	西暦	事変	作家名	作品名	備考
明治	元年	1868	明治維新			
	18	1885		坪内逍遙	小説神髓	1886年まで連載
	30	1897		同上	当世書生気質	
大正				尾崎紅葉	金色夜叉	
	12	1923	関東大震災	谷崎潤一郎		関西へ移住
昭和	9	1934		谷崎潤一郎	文章読本	
	12	1937		小林秀雄	菊池寛論	
				菊池寛	文章読本	
	20	1945	ポツダム宣言受諾			
	21	1946	日本国憲法公布			
	25	1950		川端康成	文章読本	
	26	1951	サンフランシスコ講和条約			
	28	1953	テレビ放送開始			
	29	1954		伊藤整	文章読本	
	31	1956	国際連合加盟			
	34	1959		三島由紀夫	文章読本 鏡子の家	
	35	1960	東京タワー完成 日米安保条約調印			
	39	1964	東京オリンピック			
	45	1970	大阪万国博覧会	三島由紀夫	市ヶ谷自衛隊駐屯地総監室にて切腹	
	48	1973	第一次石油ショック			
	50	1975	ベトナム戦争の終結	中村真一郎	文章読本	読者の劣化 1
	51	1976	ロッキード事件			
	52	1977		丸谷才一	文章読本	
	53	1978	日中平和友好条約 成田空港開港			
	54	1979	第2次石油ショック			
	55	1980	任天堂が初の携帯型ゲーム機「ゲーム&ウオッチ」を発売			作家の劣化 1
	59	1984		井上ひさし	自家製 文章読本	井上ひさしの文章読本が実質昭和最後の文章読本である。日本の1980年代のバブル経済（泡沫経済）の10年間の真ん中で書かれた文章読本。序論に批判されてある時代の風潮が此の一書を作家に書かせた動機であることが判る。

日本の作家にとって、この間の文章上の問題は常に、
(1) 翻訳語も含めた語彙の選別と
(2) 文体・style・様式の確立の問題であった。

Align text to the left.						
	60	1985	日航ジャンボ機墜落事故：桜島南岳大噴火（噴煙の高さ4000mを越える年間噴火回数474回）			作家の劣化2/編集者の劣化1
	63	1988		吉行淳之介	文章読本	これはアンソロジーである。編者自身の文章論・文体論はない。
	S64/H1	1989	昭和天皇崩御・ベルリンの壁崩壊			
平成	7	1995	阪神・淡路大震災			平成の30年間は文章と生活実感の乖離した30年間であつた。これが文章読本から見た平成の30年間である。経済の面では失はれた30年。文化の面では報道記事の事実を裏切る捏造・虚報ばかりの30年であつた。
	23	2011	三陸沖地震			
令和	元年	2019				

「何故日本文学は衰退したのか3」（もぐら通信第79号）のダウンロードは：
<https://www.scribd.com/document/373250218/何故日本文学は衰退したのか3>

『何故日本文学は衰退したのか』の題の元に論じた此の論考の掲載されてゐる一連の三つの号のダウンロードは：

- (1) 第79号：<https://www.scribd.com/document/374502939/第79号-第二版>
- (2) 第81号：<https://www.scribd.com/document/556361173/第81号-第四版>
- (3) 第82号：<https://www.scribd.com/document/379717806/第82号-第二版>

11. 1988・昭和63年：吉行淳之介（64歳）昭和生

（続く）

SFで思考するための本棚

(1)

ドイツのSF文学

イリノイ州ウェスリアン大学教授
ソーニャ・フリッチェ
翻訳：岩田英哉

今回の号（第152号）より此のページを設けて、折に触れて、また私の眼に触れる限りの、内外のSFを論じまたは紹介しようといふものです。安部公房の読者はSF文学の読者と重なつてゐますので、興味深いものにしたと思つてゐます。

第一回は、アメリカのイリノイ州ウェスリアン大学教授ソーニャ・フリッチェによる論考を掲載し、拙訳してお届けします。この女性はドイツSF文学の専門家で、名前からも東欧のスラブ民族のアメリカ人ですから、その歴史的経緯からドイツ語に堪能なのだといふことが知られます。日本でSFといふとアメリカとイギリスが主流で、ドイツのSFは全く無名に等しいものですから、この論文の翻訳は貴重なものだと思つてゐます。私が1970年代後半の共産主義国家ドイツ民主主義共和国（通称「東ドイツ」）にゐた時に、本屋の棚にSF小説が意外に多くあつたのを不思議に思ひましたが、その理由も、この論文でよく理解ができます。今も数冊の東ドイツ版SF小説のペーパーバックスが私の書棚にあります。

広義にSF文学を幻想的・空想的な文学だと理解をすると広範囲に世界の国々の古代の神話から此の種の小説を書く現代の作家の作品に至るまで、実に広範囲に亘ります。しかし、ここでは、日本の狭義のSF文学、即ち先の戦争後にアメリカのSFの誕生とともに日本の国にも生まれた100年に満たない時間の中でのSF文学を時間軸にSF文学を論じます。

以下、この論文を読んで知つたことを箇条書きに列挙します。思ひがけないことでしたが、この論者のSF文学論の及ぶ国は、ドイツ一国に限らず、隣国のオーストリアおよびフランスにも及んでゐました。この論文のお蔭で、結果として「米英仏独澳日・SF比較文学年表」を作成することになり、この名前の通り、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・オーストリア・日本に亘る現代SF文学を網羅した一覧表ができました。フランスとの関係は、殊に下記の1の理由によります。「米英仏独澳日・SF比較文学年表」のダウンロードは：<https://docdro.id/8oRSPv1>

米英仏独日・SF比較文学年表

2022/01/26 shya iwata	年代	アメリカSF	イギリスSF	フランスSF	ドイツSF	オーストリアSF	日本SF
19世紀	1866-1919			ジュール・ヴェルヌ 『驚異の旅』			
	1871				クルト・ラスヴィッツ (「ドイツSFの父」) 短編小説のコレクション 発表 [『驚異の旅』 の影響を受ける]		
	1897				クルト・ラスヴィッツ 『2つの惑星にて』		
	1920						
	1921				ハンス・ドミニク『3 の持つ力』		
世界最初のSF誌創 刊	1926	『アメーシング』誌創刊					
	1930	『アウトスタンディング』誌					
	1940						
	1943				ヘルマン・ヘッセ『ガ ラス玉遊戯または師匠 ルーディ』		
	1945				ドイツ降伏(第二次世 界大戦)		
	1950						
	1951						安部公房『S・カルマ氏 の犯罪』(芥川受賞作)
	1953	クラーク(イギリス人)『幼 年期の終り』					
	1957	ハインライン『夏への扉』					星新一『セキストラ』
	1958						安部公房『第四間氷期』 筒井康隆『お助け』
ニュー・ウェーブ SF	1960						
	1961				K・H・シーアとクラー ク・ダルトン『宇宙英 雄ペリー・ローダン』		小松左京『地には平和 を』ハインライン『異星の 客』
	1961/8月				ベルリンの壁構築	ヘルベルト・W・フラン ケ『蘭の楯』『思考の 網』	
					東ドイツSF	西ドイツSF	
	1962	P.K.ディック『高い塔の男』	バラード『内宇宙への道は どれか?』				安部公房『砂の女』三島 由紀夫『美しい罫』
	1964						小松左京処女長編『日本 アパッチ族』安部公房 『他人の顔』
	1965						筒井康隆作品集『東海道 戦争』
	1967						安部公房『燃えつきた地 図』
	1968	P.K.ディック『アンドロイド は電気羊の夢をみるか?』					
	1970						筒井康隆『脱走と追跡の サンバ』荒巻義雄『大い なる正午』評論『術(ク ンスト)の小説論』
	1971						半村良『血の血脈』『戦 国自衛隊』
	1972				ヨハンナとギエン ター・ブラウン『偉大 な魔法使ひの過ち』		筒井康隆『家族八景』 『俗物密鑑』荒巻義雄 『白壁の文字は夕日に映 える』
	1973				クリスティーナ・ヴォル フ『自己実験』		小松左京『日本沈没』半 村良『産雲山秘録』安部 公房『箱男』
	1975				クリスティーナ・ヴォル フ『明るい天国からの 船妻』(性転換小説)		半村良『雨やどり』(直 木賞受賞作)
	1978						荒巻義雄『神聖代』安部 公房『密会』
	1980						
	1981				ヴォルフガング・イエ シュケ『天地創造の最 後の日』	マリヤンネ・グルーバー 『ガラスの球体』	
	1982				アンジェラとカールハ インツ・シュタイン ミュラー『アンディモ ...		
	1984	W.ギブスン『ニューロマン サー』					筒井康隆『虚構船団』安 部公房『方舟さくら丸』 半村良『虚空王の秘宝』 完結
	1988						
	1989				ベルリンの壁崩壊		
ポスト・フェミニ ズムSF	1990				アンジェラとカールハインツ・シュタインミュ ラー『夢名人』		荒巻義雄『紺碧の艦隊』 『旭日の艦隊』
	1991						安部公房『カンガルー・ ノート』
	1993						筒井康隆『断筆宣言』
	1995				アンドレアス・エシュバツハ『カーベット・メー カー』		半村良『妖精伝』完結
	1997				ヴォルフガング・イエシュケ『王と人形製作者』 ヴォルフガング・イエシュケ『Jesus Video』		
	1999						筒井康隆『私のグラン パ』
	2000						

	1984	W.ギブスン『ニューロマンサー』					筒井康隆『虚構船団』安部公房『方舟さくら丸』
	1988						半村良『虚空王の秘宝』 完結
	1989					ベルリンの壁崩壊	
ポスト・フェミニズムSF	1990					アンジェラとカールハイッツ・シュタインミュラー『夢名人』	荒巻義雄『紺碧の艦隊』 『旭日の艦隊』
	1991						安部公房『カンガルー・ノート』
	1993						筒井康隆『断筆宣言』
	1995					アンドレアス・エシュバハ『カーペット・メーカー』	半村良『妖精伝』完結
	1997					ヴォルフガング・イェシュク『王と人形製作者』 ヴォルフガング・イェシュク『Jesus Video』	
	1999						筒井康隆『私のグランバ』
	2000						
	2001						ロッテンシュタイナー『ベスト・オブ・オーストリアSF文学』 バーバラ・ニューワース『ハントレスの性格』
	2005					フランク・シェッツィング『群れ』	
	2007					ヴォルフガング・イェシュク『燃え尽きて』	
	2012						荒巻義雄詩集『骸骨半島』

以下、この表より知ったことを箇条書きに列挙します。

(以下次のページに続く)

1。現代ドイツSF文学の誕生の直接の契機は隣国フランスのSF作家ジュール・ベルヌの『驚異の旅』（『voyages extraordinaires』）といふ全15巻からなる作品群（日本でも知られてゐる「十五少年漂流記」はその内の一作）に影響されて19世紀後半に生まれた。

2。広義のドイツSF文学はこれ以前は既にドイツ・ロマン主義文学が哲学を含みSF文学の領域に作品がなるほど幾つもあることを再認識しました。例を挙げれば、あなたもご存知の筈のグリム兄弟の編纂した『グリム童話』（1812年初版第1巻）はこの一つです。<https://ja.wikipedia.org/wiki/グリム童話>

3。「米英仏独墺日・SF比較文学年表」の日本の列（カラム）には、筒井康隆・荒巻義雄・星新一・小松左京・半村良といふ私の好きな作家も単に私の好みだといふだけの理由ではなく、日本のSF文学史を振り返つても当然入れるべき作家として入れてあります。もちろん安部公房もこれらの重要作家「以前」に（ここが安部公房らしい位置です）日本SF草創期の第一人者ですから当然に名前を入れてあります。そして、安部公房についていへば、

4。安部公房の芥川受賞作『S・カルマ氏の犯罪』（1951）は、アーサー・C・クラーク（イギリス人）『幼年期の終り』（1953）およびロバート・A・ハインライン『夏への扉』（1957）といふ同じ1950年代のSF文学史に名を残すが作家たちと同期してゐるといふこと。また、

5。実に『砂の女』（1962）がニューウエーブのフィリップ・K・ディック『高い塔の男』及びJ・G・バラード『内宇宙への道はどれか？』と同年の発表で、世界的なSF文学史の視点で眺めると、ここでも丁度「外宇宙」（「アウター・スペース」）から「内宇宙」（「インナー・スペース」）への世界的なSF思潮の転換期で安部公房は此の作品を書いて同期してゐるととは、安部公房らしい。

安部公房の『S・カルマ氏の犯罪』（1951）および三島由紀夫の『美しい星』（1962）については『二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（9）：SF文学史を伝統的な日本文学史に上位接続（conjunction）する』（もぐら通信第127号）を参照下さい。

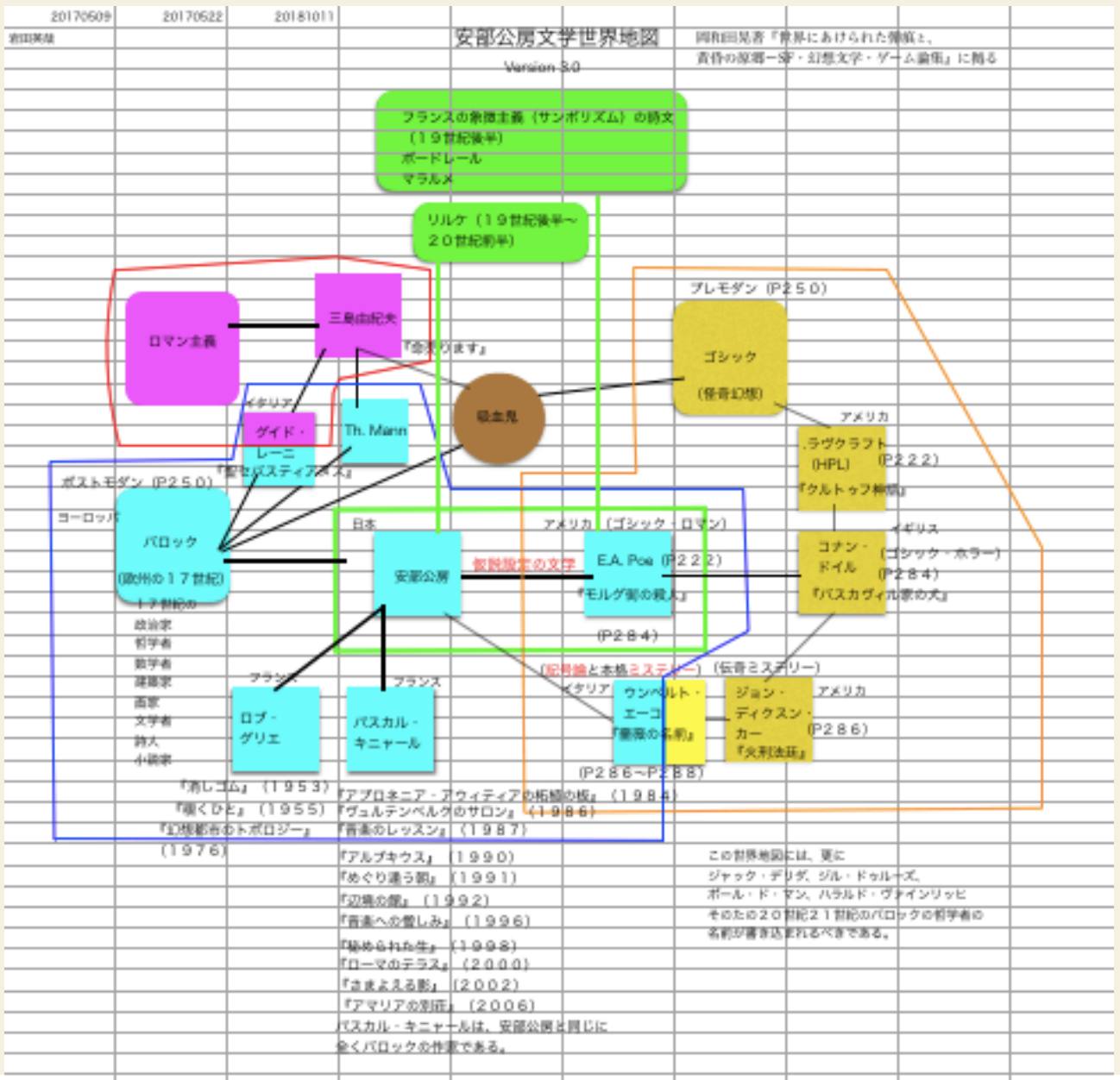
また、三島由紀夫の『美しい星』については「安部公房の読者にしか書けない『美しい星』論」（もぐら通信第101号および第102号）の「2。内宇宙と外宇宙の結合と『美しい星』の世界同時代性」、そして『二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（8）塔の文学』（もぐら通信第127号）の「8.2.1.2「安部公房の読者にしか書けない『美しい星』論」から引用して、二つの文学史の同時代性の重なるの文学的な潮流を吟味する」の章をご覧下さい。

6. 『方舟さくら丸』(1984)は、W.ギブスン『ニューロマンサー』と同じ年の発表であることから[註]、安部公房の作品と海外のSF動向は同じ思想の潮流の上にあることなど、興味深い事実が「米英仏独墺日・SF比較文学年表」を眺めると、判ります。

7. 安部公房の文学を、三島由紀夫の文学もさうですが、論じる時には、世界的思想と思潮の視点から論ずる必要があることを「米英仏独墺日・SF比較文学年表」は此処でも示してゐます。二人の世界文学史上の位置については既に

「安部公房文学世界地図 (version 1.0)」(もぐら通信第59号)と題し『私の本棚：岡和田晃著『世界にあけられた弾痕と、黄昏の原郷—SF・幻想文学・ゲーム論集』を読む』にて描いて掲示してゐますので、これをご覧下さい。あらためて『安部公房文学世界地図』(version 2.0)のダウンロードは：

<https://ja.scribd.com/document/349163377/安部公房文学世界地図-v2>



[註]

「『ニューロマンサー』(Neuromancer)は、ウィリアム・ギブスンによる長編SF小説。1984年7月1日、カナダで初版出版。日本語訳での初出は1986年の早川書房。翻訳は黒丸尚。旧装幀は奥村敦正。新装版は木山健司。映像としてはブレードランナーが既に発表、この作品は文学的なサイバーパンクの起源である。」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/ニューロマンサー>)

また、「『サイバーパンク』という単語の初出は1980年代にブルース・ベスキが発表した短編小説のタイトルであり、未成年のハッカーを描いた内容であった。1984年、新人作家ウィリアム・ギブスンが第1長編『ニューロマンサー』を発表し、ヒューゴー賞、ネビュラ賞など多くのSFを受賞した。ギブスンの友人であったブルース・スターリング、ルイス・シャイナーと作家たちも次々と新作を発表し、大きな注目を集めた[2]。こうした動きを受けて、1985年にSF誌の編集者であり評論家であったガードナー・ドゾワによって、1980年代のSF界における思想、運動、スタイルを指す新語として「サイバーパンク」が用いられ[3]、定着した。このため、従来のサイエンス・フィクションに対するカウンターとして登場した若手作家たちを指して呼ぶことが多い。」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/サイバーパンク>)

「『ブレードランナー』(原題:Blade Runner)は、1982年公開のSF映画。フィリップ・K・ディックのSF小説『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』を原作としている。」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/ブレードランナー>)

(以下このページは余白)

フリッチェ・ソーニャは、『ドイツのSF文学』（http://virtual-sf.com/?page_id=62）『SF文学への仮想的な案内』（<http://virtual-sf.com/wp-content/uploads/2012/02/Fritzsche.pdf>）の執筆者であり〔註1〕、学生や学者たちにドイツ語の原文をさらに探求するようにと鼓舞してあるので、彼らの興味が刺激になって、より多くの英語への翻訳が生まれるかもしれません。

〔註1〕ドイツ語名を括弧で囲んで、英語で最初に記載されている小説の題名は、英語に翻訳されていますが、反対にドイツ語で最初に題名が挙げられて、括弧内に英語が含まれているものは、英語版はありません。以下の和訳についても同じです。

ソーニャ・フリッチェ

ドイツのSF文学は、世界で最も古いSF文学の伝統の一つであることを誇っています。これは、プロイセン王フリードリヒ大王（1712-1786）や、ヨハン・ゴットフリート・フォン・ヘルダー（1744-1803）、そしてワイマール古典主義のヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749-1832）やフリードリヒ・シラー（1759-1805）などの作家の下での啓蒙思想の強い影響力を考えれば不思議ではありません。SF文学は、結局のところ、話者が世界の新しい要素を論理的に説明するところに従つて信じられることなる幻想的な文学の一種です。構造主義者のツヴェタン・トドロフは、幻想的な文学に関する彼の画期的な研究の中で、現実の知覚限界を破る能力について次のように述べています。トドロフは、SF文学を他のファンタジーの物語と区別するために、SF文学を「科学的に素晴らしい文学」（the scientific wonderful）のカテゴリーに分類しています。このカテゴリーで彼は、幻想的なものを非合理的な要素として提示してみ、次にそれによつてそのことを論理的に説明してみます。その結果、非合理から現実への進行は、幻想の「不確実性の瞬間」と結果として生じる「現実」との間に弁証法を生み出し、この「現実」が読者の暗黙の現実概念を不安定にするわけです。現実の既存の概念を超えるSF文学固有の可能性をより精確に分析できるやうにするのが、この幻想と「現実」の間の此の弁証法なわけです。ダルコ・スーヴィンは、その著書『SF文学の変態』（『Metamorphosis of Science Fiction』）で似たようなことを述べてみます。彼によると、SF文学は新星（novum）に基づく文学範疇であり、それが新星であるとは、〔新星の誕生は作者の側でどうにかなるものではなく、読者が初めて〕読者の側で異化と認識に至るものだからです。合理的な思考の重要性は最も重要です。19世紀から20世紀にかけて、ドイツといふ国も有名になり、自然、社会、文学を問わず、ドイツ語で云ふヴィッセンシャフテン（科学のこと）〔註2〕での偉大な業績で有名になりました。従つて、それが強力で重要なSF文学の伝統を誇っていることも驚くべきことではありません。残念ながら、ドイツ語のSF文学は英語に十分に翻訳されておらず、これまで翻訳されたものは氷山の一角にすぎません。この論考と此の論考の投稿先の「バーチャルSF文学プロジェクト」はど

ちらも英語で書かれてみますので、現在英語に翻訳されている作品に主に焦点を当てますが、この論考での引用に際しては、MLA様式（Modern Language Association Style/米国近代語学会様式）に基づく引用をなさるようお願いいたします。

[註2]

ドイツ語の一般用語であるヴィッセンシャフテン（Wissenschaften；複数形）は、科学と人文科学を区別するのではなく、単に例へば文芸学、生物学、社会学などの学術的な研究を意味してゐます。区別するためには接頭辞を追加します。例：Geistes-（文字通り精神的科学、人文科学の意味）、Sozial-（社会学）、Rechts-（法律学）、またNatur-（自然科学）。

理性の存在は、SF文学を幻想（ファンタジー）、神話、御伽話と区別するわけですが、しかし、その範疇は依然として幻想文学の範疇に属しています。その前身には、ゴシック、即ちグロテスクで怪奇な文学〔註3〕、そして異様で不思議な文学が含まれます。したがって、ドイツのロマン主義文学の中に最初のSF文学のプロトタイプ（「プロトSF文学」または「プロトSF」）の物語の一つを見つけることは驚くべきことではありません。簡単に言へば、このロマン主義運動の一つの側面は、近代・現代における人間の理性の過大評価、20世紀と21世紀のディストピアの一般的な関心と先入見に対する警告だったのです。私たちの多くは、有名な御伽話の作者としてE.T.A.ホフマン（1776-1822）を知っています。彼の中編小説『胡桃割り人形と鼠の王様』（『The Nutcracker and the Mouseking』：『（Nußknacker und Mäusekönig、1816）は、ドイツの子供たちの物語の中で今でも人気があります。さらに、彼はプロトSF文学のオートマトン・ストーリーといふべき『砂男』（『The Sandmann』：『Der Sandmann』、1816年）でもよく知られています。主人公ナサニエルは人間の女性であるクララから離れて、神秘的で機械的なオートマトン（自動機械人形）のオリンピアに夢中になります。彼女の自動化された本当の正体を見ることに失敗したために、ナサニエルは狂気と死へと至るのです。オリンピアの姿は、テクノロジーに対する男性の不安と女性に対する不安との連想の初期の例です。彼女はフリッツ・ラングの『メトロポリス』（ドイツ、1927）のロボット、マリアの先駆者であり、フィルム・ノワールの名声高きファム・ファタール（魔性の女；Huysenを参照）の先駆者です。

ドイツでは、ジュール・ヴェルヌ（1828～1905）の『驚異の旅』

（『voyages extraordinaires』）の大人気により、19世紀半ばから後半にかけて、ドイツ国民の間でSF文学に関心のある読者層が生まれました。最初に認められたドイツのSF作家、クルト・ラスヴィッツ（1848-1910）は、1871年に短

編小説のコレクションを引つ提げて登場しました。彼は、しばしば「ドイツSFの父」〔註4〕とも呼ばれます。他の国と同様に、SFの物語を趣味として、または筆名で書くことは珍しくありませんでした。ラスウィッツはフルタイムのSF作家ではありませんでしたが、ドイツの大学進学予備高校に相当する高校（ギムナジウム）で教へてみました。ラスウィッツ自身は、物理学と数学の専門家であり、ベルリン大学で博士号を取得してゐます。彼は科学の歴史に関する学術記事や本、そして素晴らしく遊び心のある短編小説も書きました。彼のSF小説は、H・G・ウェルズのように、指し示し警告することを目的としていました。彼の短編小説に加えて、彼は今日、ドイツの最高のSF文学作家に毎年授与されるクルド・ラスヴィッツ賞で、その名を知られています。

〔註3〕確かに、そのような形式の多くの要素は、特にポストモダンで「スリップ・ストリーム」の表現でSF文学に見られることが今でもあり、ジャンル自体のカテゴリが崩壊しているように見えます。

〔註4〕 Cf. たとえば、フランツ・ロッテンシュタイナーのアンソロジー『黒い鏡』（『The Black Mirror』）の裏表紙。

ラスヴィッツは、『Bis zum Nullpunkt des Seins』（『To the Absolute Zero of Existence』：A Story from 2371, 1871：和訳『存在の絶対零度』）を含む多くの短編アンソロジーを書きました。彼の最も有名な小説は間違いなく『2つの惑星にて』です（『Auf zwei Planeten』、1897）。この社会的ユートピアの叙事詩は、火星の文明と人類の間の最初の接触（「ファースト・コンタクト」）を記録しています。熱気球の遠征中に、探検家は北極でエイリアンのコロニーを発見します。コロニーは、地球のエネルギー資源を利用することを望んでいる平和な火星民によって置かれた研究ステーションであることが判明します。地球と火星の文明の間の接触が続きます、後者は地球のそれをはるかに超えた社会的および技術的なレベルに長い時間をかけて到達しました。それでも、この明らかにユートピア的な社会には亀裂が現れます。この出会いは最終的に、エイリアンの普遍的な倫理規定と矛盾する火星文明の側面を明らかにします。2つの文化の衝突は、火星民が地球の住民にヒューマニスト・モデル（人間モデル）を「強制」する方法に対する批判に結果します。2つの惑星は、19世紀末のドイツの植民地的および産業的願望に対する政治的批判として読むこともできます。

皮肉なことに、ドイツの有名なSF文学作家のもう一人が、クルト・ラスヴィッツが教えた学校に通っていました。しかし、このハンス・ドミニク（1872-1945）は、SFのスパイと冒険のスリラー小説で最もよく知られています。

1872年11月15日にツヴィッカウで生まれ、人生の大部分をベルリンで過ごしました。1895年、米国で彼は学生として、そして学生として次に電気技師として短期間過ごした後、ドイツのシーメンスのテクニカル・ライターとしての職に就きました。彼は物語も書き始めました。その多くは最初は連載されてから、その後本の形で出版されました。1924年、ドミニクはジュール・ヴェルヌ風の小説を書いて、1922年から1939年の間にドイツの出版社Scherl Verlag（シェル出版）から、ほぼ1年に1冊の小説を執筆し、出版することに専念しました。彼はドイツで最も多作なSF作家になりました。彼の出版物のいくつかには、『Die Macht der Drei』（『3の持つ力』『The Power of the Three』：1955年を舞台の小説、刊行は1921年）、『チンギスカンの足跡』（『Die Spur des Dschingis-Khan』；21世紀を舞台の小説、1923年刊）と『Der Wettflug der Nationen』（『国際飛行機レース』：『The International Airplane Race』、1933年刊）。しかし、彼のSF小説のほとんどは英語に翻訳されていません。これは彼の物語の保守的な性質によるものです。国家社会主義者ではありませんが、彼の著作は政治的に保守的で、民族主義的で、しばしば人種差別主義的でした。それは、第一次世界大戦前のドイツの帝国主義と植民地主義の野心を最初に反映し、その後ワイマール共和国の間にもっと激しくそして反動的になった型の物語の執筆活動に属してゐたのです。学者によつてドミニク文学の解釈が異なります。ある人は彼を民族至上主義的支配の将来の空想を形作ることに加担していると見ていますが、他の学者は彼を古い形のビスマルクのナショナリズム [註5] と位置づけています。[5] 確かに、長い間ハンス・ドミニクと関連して連想するより広範なドイツの人々なわけですから [引用者：典型的には第二次大戦のナチスのユダヤ人虐殺のこととが念頭にある]、このように [政治からの] 逃亡者であり政治的に妥協してゐると思はれている文学範疇に対しては一般的にドイツ人の間では或る嫌悪と反感の対象にならざるを得ないといふことになつてゐるわけです。

[註5]

例えば、ウィリアム・フィッシャーの『帝国のストライキ・アウト』とジョスト・ヘルマンの『新帝国の古い夢』を参照。

しかし、ワイマール共和国は、世界のSF文学の散文と映画製作に対して同様に影響を与へ、さらに別のSF文学の情報源を生み出しました。すべての映画館の訪問者は、有名な舞台のセット、不思議な女性ロボットの MARIA、またはロトワンの手袋をはめた手などの、『メトロポリス』に敬意を表する映画を見てきました。この表現主義の無声映画の古典は、その才能、創造性、革新的なデザインで世界をリードしたドイツの映画産業の産物でした。監督のフリッツ・ラ

ング（1890-1976）が1933年に米国に移住したとき、彼のスタイルはハリウッド映画の流れを永遠に変へたと言つて良いでせう。残念ながら、『メトロポリス』と『Frau im Mond』（『月世界の女』，ドイツ，1929年）の両方で働いてゐた彼の信じられないほど才能ある脚本家で妻のテア・フォン・ハルボウ（1888-1954）は、[夫と時代の]後方に留まり、ナチスのために映画を幾つも作りました。

『メトロポリス』はその物語だけでなく、独自の歴史でも有名です。この映画はラブ・ストーリーであり、社会批評でもあります。独裁的な実業家の息子であるフレージャーは父親に反抗し、最下層階級に何かを探し求めます。そこで彼は、労働者の間で平和的な反乱を組織しているマリアに会います。フレージャーの父親はマッド・サイエンティストのロトワンと共謀して、フレージャーのロマンチックな興味を阻止して、マリアの計画を労働者自身を崩壊に導く暴力的な反乱に変へるために、マリアの2倍邪悪なロボットを創造しました。それでも、この映画の最後のメッセージは、一つの和解であり、改革が仄めかされてゐます。「脳と筋肉の間の仲介者は心臓でなければなりません」。共産主義者と「ブラウン・シャツ」（ナチス・ドイツの党員の着た茶色のシャツ）の間のストリート・ファイト（市街戦）は、映画が作られるにつれてベルリンのUfa映画スタジオの外で実際増加したわけですが、『メトロポリス』が革命を呼びかけたわけではありませんでした。ジークフリート・クラカワーの有名で物議を醸した分析によると、それはドイツの絶対主義の文化的肯定を表しています。それでも、この驚くほど豊かな映画は、それほど簡単に総体として価値を減じて追放することはできません。それは21世紀に至るまで学術的議論の焦点であり続けています（ミンデンとバックマンを参照）。

ひよつとしたら此の映画自体と同じくらい興味深いのは、映画といふものが途切れることなく復活するといふことです。最初は長い撮影時間、最後に来る直前の予算制限、および検閲のために、フィルムは大幅にカットされました。この映像の多くは、その後の数十年で失われました。1980年代と1990年代に、『メトロポリス』の最も完全なバージョンを求めて探究が始まりました。アダム・アントとフレディ・マーキュリーを特集したサウンド・トラックを備えた1984年のジョルジオ・モロダーを含む、さまざまな修復バージョンが登場しました。そして、フリードリヒ・ムルナウ財団は、2001年のベルリン映画祭のために映画を復元したのです。そして最後に、これまでで最も信頼のおけるバージョンが2010年にリリースされ、これにはアルゼンチンとニュージーランドで見つかった16mmコピーの「新しい」映像が含まれています。

戦後の期間に話を進める前に、ノーベル賞を受賞した作家ヘルマン・ヘッセの優れたディストピア小説『The Glass Bead Game』（『ガラス玉遊戯または師匠ルーディ』『Das Glasperlenspiel oder MagisterLudi』、1943年）についても触れておきます。彼の最後の長編小説であるこの教養小説は、カスタリアの寄宿学校に通うヨゼフ・クネヒトの物語です。これは知識人の厳格な社会であり、その唯一の目的は男子校を運営し、また曖昧なガラス玉のゲームを遊戯することです。クネヒトは、師匠ルーディ、つまりゲームの師匠として其の管理者になることを目指しています。この本は、第二次世界大戦中のヘッセの経験の直接の結果として生じたと主に解釈されてきました。

第二次世界大戦後、ドイツのSF小説は東ドイツと西ドイツのSF小説に分裂しました。東ドイツの作家は、長年のロシア（トルストイ、イェフレモフ、タルコフスキー、ストルガツキー兄弟）、ポーランド（スタニスワフ・レム）、チェコ（カレル・チャペック）のSFの伝統に大きな影響を受けました。東ドイツの作家はまた、戦後もコレクションに残っているか、西側の訪問者に密輸されて民間の貸出図書館に保管されてきた多くの西側の作品にアクセスできました。非常に厳格な検閲法のために最初は出現が遅いものの、東ドイツのSF文学は1960年代後半に始まりました。1970年代には、外国の翻訳との競争はほとんどなく、人気のある文学に対する政府の支援もありましたが、多くの短編小説のアンソロジーや小説が、主に男性の幅広い作家から登場しました。これらの作家は、社会主義の美学の中で執筆し、彼らの周りの世界を批評し改善するために、[現実の共産主義的世界に対する]代替世界と代替時代を文学範疇として採用したのです。寓話および意味の意図的なアンビバレンス（不均衡）を介して、読者は「行間を読む」ことができ、国が支援するメディアや媒体にはそもそもない視点を読み取ることができました。

残念ながら、旧東ドイツの作家によるSF小説の大部分は、幾つかの短編小説を除いて、英語では読めません。これらの物語の中で最もよく知られているのは、SF作家ではなかったが、この特定のプロットのアイデアのジャンルを選んだクリスティーナ・ヴォルフ（Christa Wolf (1929-2011)）による『Self-experiment』（『自己実験』『Selbstversuch』、1973）です。この物語は、性転換といふ主題に捧げられた『Blitz aus heiterem Himmel』（『明るい天国からの稲妻』『Lightning from a Clear Sky』、1975）と呼ばれるより大きなコレクションの一部でした。ヴォルフのSF小説は、男性と女性の性は交換不可能なので社会化されることはできないといふ彼女のビジョンを明らかにしています。若い女性の科学者は、実験薬「Petersein masculinum 199」（「男性

ペーターである199」といふ薬を服用します。これにより、彼女は物理的にアンデルス（別人であるといふ意味）という名前の男性に変身します。アンデルスが彼の女性の記憶を彼の新しい男性の人生経験と調和させることができないとき、実験は最終的に失敗します。彼は、同じ肉体的および感情的な体の中に男性と女性の両方が存在することを受け入れることが不可能であると述べています。その結果、ジェンダー（文法的・呼名的性別）の混乱と自己疎外が生じます。物語自体は、個人的な物語として書かれた補足調書の形をとっています。

かつての東ドイツからは、他にも多くのSF小説があります。たとえば、児童作家のヨハンナとギュンター・ブラウン（1929 / 1928-2008）は、1970年代初頭にSF文学を書き始めました。『Der Irrtum des Großen Zauberers』（『偉大な魔法使ひの過ち』『The Great Magician's Error』, 1972）は、権威主義のパロディを別の惑星に置き換へたものです。社会主義統一党（SED）は啓蒙主義の党であると解釈しての風刺、『Unheimliche Erscheinungsformen auf Omega XI』（『オメガXIの不気味な兆候』, 1974）には、[同じ文脈で]惑星オメガXIへの救助といふ任務が含まれてゐます。小説『Conviva Ludibundus』（『パーティ遊び』, 1978）は、ブラウンの文学における遊びの理論をさらに発展させたものでした。社会主義統一党（SED）に非常に批判的だったブラウン夫妻は、最終的に1978年にドイツ作家連盟を去り、ズーアカンプ出版とともに西ドイツで独占的な出版をすることになりました。

著者のアンジェラ（1941-）とカールハインツ・シュタインミュラー（1950-）の二人は、ドイツのSF文学への理解と其の文学自体に多大な貢献をしてきました。1980年代に書き始めた他の東ドイツの作家のように、彼らは西と東からSF文学にアクセスできることから恩恵を受けました。その結果、シュタインミュラーは、冷戦時代の所謂「鉄のカーテン」の両側の知識から利益を得るといふ観点から世界構築に取り組んできました。その結果、彼らの最初の小説である『Andymon』（『アンディモン』, 1982）は、共存する政治システムの実行可能性と個人の可能性の実現への探求を表しています。この本は、より完璧なシステムを探求していますが、同時にすべての欠陥をも指摘しています。彼らのテキスト『Der Traummeister』（『夢見名人』『The Dreammaster』, 1990）は、個人の観点から見た東ドイツと人類の文明のゆっくりとした衰退の寓話です。しかし、それはその物語を通して希望の余地を残してゐます。シュタインミュラー夫妻は今日も執筆を続けており、ドイツのSF文学の未来を育むことに非常に積極的に取り組んでいます。シュタインミュラーの本にちなんで名付けられたベルリンのファンクラブ「アンディモン」のメンバーも、駆け出

しといふべき此の二人のドイツ人作家を支援し続けています。1960年代以降、ドイツには非常に活発なファン・シーン〔註：日本のSF文学界でいふところの「ファンダム」〕があり、その多くはドイツ語のSF文学の職業的な編集者や発行人としても非常に貴重な仕事をしています（Fritzsche著『東ドイツのSF文学』を参照）。

西ドイツからのSFもたくさんありましたが、東ドイツとは異なり、ドイツ語に翻訳された圧倒的な数の英米のSF出版物と西ドイツ・オーストリア市場で絶えず競争しなければなりません。私がこれまでに言及したSFのほとんどはドイツの作家によるものですが、オーストリアのヘルベルト・W・フランケ（1927-）は、西側で最も影響力のある戦後の人物です。専門の訓練を受けた物理学者である彼は、SF文学を書いただけでなく、ドイツ語の作品を宣伝し販売するドイツの「ハイネSF文学シリーズ」の編集者も務めました。より注目すべき彼の作品には、人類の進化がどこに至るかを探求し、仮想現実への言及を含む『The Orchid Cage』（『蘭の檻』『Der Orchideenkäfig』, 1961）や、機械が人間の思考を生み出す『The Mind Net』（『思考の網』『Das Gedankennetz』, 1961）があります。フランケはまた、さわやかなユーモアと機知で今日でも非常によく持ちこたへてみて読むに足る多くの短編小説を書いています。これらは、オーストリアのフランツ・ロットenschュタイナーによって英語に翻訳されたドイツSF文学の優れたアンソロジーである『The Black Mirror and Other Stories』（2008）に収録されております。

ここでもロットenschュタイナー（1942-）について言及することにします。これは、東西ドイツ、再統一されたドイツ、そして21世紀にかけて、ドイツ、オーストリア、ヨーロッパのSF文学の編集者およびプロモーターとしての影響力によるものです。この分野におけるロットenschュタイナーの幅広い知識は注目に値します。彼は約50の異なるアンソロジーを編集しており、そのほとんどはドイツ語で書かれており、幻想文学の研究を専門とする長年のドイツの学術雑誌である『Quarber Merkur』（『クアルバー・メルクール』）の発行者です。ドイツ語のSF文学に興味があつて英語を話す読者は、前述の『ブラックミラー・コレクション』（『Black Mirror collection』）や『ベスト・オブ・オーストリアSF文学』（『The Best of Austrian Science Fiction (2001)』）など、ロットenschュタイナーがまとめた複数のコレクションを検索することをお勧めします。

西ドイツのさらに別の重要な名前は、ヴォルフガング・イエシュケ（1936-）です。フランケのように、イエシュケはSF小説の著者と編集者の両方としてSF界

で機能してきました。彼は多くの小説を書いています。イエシュケの『The Last Day of Creation』（『天地創造の最後の日』『Der letzte Tag der Schöpfung』, 1981）は英語で最も広く入手可能です。核戦争の起こったのが、550万年前の地球上に設定されています。彼の短編小説『王と人形製作者』（『The King and the Doll Maker』）は、デイヴィッド・ハートウェルの『SF文学の世紀』（1997年）に登場しました。ジェシュケはまた、1973年にハイネでSF編集者としてのフランケの役割を引き継いでいます。彼は2002年までその仕事をしていました。ジェシュケは約100のアンソロジーを編集し、その一部には英語に翻訳された物語が含まれています。彼の最も有名な作品は、毎年最高のSF文学短編小説のドイツ語コレクション・シリーズ『SF文学年刊』（『Das Science Fiction Jahr』）です。

パルプ・フィクションに興味のある方は、すでに広大なスペース・オペラのサーガであるペリー・ローダンについて聞いたことがあるでしょう。K・H・シーア（1928-1991）とクラーク・ダルトン（1920-2005）は、1961年にこのシリーズを最初に開始しました。それ以来、さまざまな著者によって書かれた多くのサブシリーズにスピノフしてあります。これは、これまでに書かれた中で最も成功したSF小説シリーズであり、パルプ・フィクションの形で世界中で10億部以上を販売しています。それは今日も進化し続けています。

女性が書いたSF文学は非常に限られていますが、その一部は優れており、そして、その多くは翻訳されていません。オーストリアのフェミニスト作家バーバラ・ニューワース（1958-）は、ダーク・ファンタジーの物語を出版し、ウィーンのエミニスト・プレスであるウィナー・フラオエン出版（Wiener Frauenverlag：ウィーン婦人出版）に貢献してきました。彼女の物語『ハントレスの性格』は、フランツ・ロットンシュタイナーのアンソロジー『オーストリアのベストSF小説』（2001）に登場します。オーストリアのマリアンネ・グラーバー（1944-）は、現代都市の暗いイメージを描いた反ユートピアの『The Sphere of Glass』（『ガラスの球体』『Die Gläserne Kugel』, 1981）を書きました。もちろん、東ドイツのクリスタ・ヴォルフ、ヨハンナ・ブラウン、アンゲラ・シュタインミュラーについては既述の通りです。

21世紀初頭のドイツでは、最も著名で多作な作家はアンドレアス・エシュバッハ（1959-）です。彼のSF小説のスリラー物は非常によく売れているので、彼はフルタイムで書くことができますが、これは非常に珍しいことです。「エシュバッハの砂丘」に着想を得た物語『The Carpet Makers』（『カーペット・メーカー』『Die Haarteppichknüpfer』, 1995）は、これまでの彼の最高の出版物であり、銀河系の植民地化と選択的な記憶の魅力的な物語です。オルソ・

スコット・カードは、この本を翻訳するためにTor Books（トア・ブックス）叢書への注目を惹くのに一役買ひましたから、この関係で英訳がなされたのかも知れません。エシュバッハは他にも多くの小説を書いています、どれも翻訳されていません。これらには、考古学とタイム・トラベルの物語である『Jesus Video』（1997）や、石油の終焉の物語である『Ausgebrannt』（『燃え尽きて』『Burned Out』, 2007）が含まれます。それでも、エシュバッハは短編小説を書いているときが最高です。彼が他のすべての影響を振り払い、新鮮で、時にはユーモラスで、常に心に訴える物語を書くことができるのは此の形式であり、それはしばしば読者を完全な孤独に置き去りにする痛烈な物語であるのが常です。

結論を出す前に、英語を話す人が興味を持つであらう他のいくつかの出版物や映画について言及したいと思います。まず第一に、フランク・シュッツィング（1957-）について言及しなければなりません。彼は、ドイツの読者の間で大ヒットしたSF文学/エコスリラー『The Swarm』（『群れ』『Der Schwarm』, 2005）の責任者です。主にノルウェーとカナダのバンクーバー島を舞台に、海の生き物たちが、世界の海の生態、即ち生息地を破壊するといふ理由で人類を攻撃します。

最後に、『メトロポリス』以外の映画に興味がある人のために、英語字幕付きの他のいくつかの注目すべき映画があります。たとえば、東ドイツのSF文学映画『金星ロケット発進』（『Der schweigende Stern』Maetzig監督、GDR 1959）があります。宇宙船コスモ・クレーターの国際的な乗組員は、地球で受信された不思議な信号の源を調査するために金星に旅行します。スプートニクが打ち上げられた直後に制作されたこの映画は、1950年代のSF小説映画に対する東ドイツの貢献を表しています。それは実際に1962年にアメリカ市場向けに部分的に書き直され編集されたバージョンで、『金星への最初の宇宙船』の題名で米国市場に最初に登場しました。西ドイツでは、ドイツの映画監督ライナー・ヴェルナー・ファスビンダーが、1973年にドイツのテレビ向けに16 mmの『あやつり糸の世界』（『Welt am Draht』）を制作しました。この映画は、2010年のベルリン映画祭のためにデジタルで復元されました。視覚的には、この映画は素晴らしいものです。これは、アメリカのSF文学作家ダニエル・F・ガロウエ（1920-1976）による物語『シムラクロン-3』に基づいており、映画『13階』（独米合作 1999、ジョセフ・ラスナック監督）のインスピレーションの源泉でもありました。最後に、クロアチアの監督であるダミール・ルカセビッチによる最近のリリースである『Transfer』（ドイツ、2010）は、スペイン人のドイツ語SF作家エリア・バルセロによる素晴らしい短編小説に基づいたドイツの映画です。この映画では、アフリカにある様々な国から来た一人の男

性と一人の女性の組み合わせがみて、二人はメンザナ社を介してドイツ人の老夫婦に自分達の体を販売しています。ドイツ人の夫婦は日中は新しい若々しい姿で暮らし続けていますが、アフリカ人の方は夜に体の使用を取り戻します。多くのレベルでのグローバリゼーションへの批判、そしてドイツ人とアフリカ人は彼らの新しい状況への挑戦に苦しんでゐる。この映画は多くの映画祭で上映され、いくつかの賞を受賞しています。

結論として、私は英語に翻訳されたドイツSF文学が少量だといふことを強調したいと思います。これは、英語を話さない他の多くの国のSF小説の場合と同じです。必然的に、英語で手に入る此の少量の作品は、大きな溝を残すことになってゐます。私が今日行った提案があなたに出発点を与へ、そしてあなたがドイツ語を学び始めることができることを願つてゐます！

引用された作品

フィッシャー・B・ウィリアム著『The Empire Strikes Out』（『帝国のストライクアウト』）：クルド・ラスヴィッツ、ハンス・ドミニク及び『ドイツSF文学の発展』。ボウリング・グリーン著『ボウリング・グリーン』州立大学出版、1984年。フリッチェ・ソーニャ著『東ドイツのSF文学』。

スイス、ベルン：ピーター・ラング、2006年。テア・フォン・ハルボウ著『月世界の女』。ベルリン、Scherl出版、1930年。

ヘルマント、ジョスト著『新しい帝国の古い夢』。ブルーミントン、インディアナ大学出版、1992年。

アンドレアス・ホイセン著『妖婦と機械：フリッツ・ラングのテクノロジーとセクシュアリティ』

メトロポリス刊『”新しいドイツ批評24/25（1981/82）』：221-237ページ。

ローランド・インネルホファー著『ドイツSF大賞1870～1914年』、ウイーン、Böhlau出版、1996年。ジークフリート・カラカウアー著『カリガリからヒットラーまで：ドイツ映画の心理学の歴史』。エド・レオナルド・クアレシマ。ニュージャージー州プリンストン：プリンストン大学出版、2004年。

マイケル・ミンデン、ホルガー・バツハマン著『フリッツ・ラングの「メトロポリス」』。ロチェスター：カムデンハウス出版、2000年。

ダルコ・スーヴィン著『SF文学の変態』、ニューヘブン、エール大学出版、1979年。

ツヴェタン・トドロフ著『幻想文学：文学範疇への構造的アプローチ』。イサカ：クコーネル大学出版、1975年。

参考文献—一次テキスト

ブラウン、ヨハンナ、ギュンター著『Conviva Ludibundus』（『蘭の檻』、ベルリン：Das Neue Berlin出版、ベルリン、1980年。

『Der Irrtum des Großen Zauberers』（『偉大な魔法使ひの過ち』）。ベルリン：Neues Leben出版、1972

『Unheimliche Erscheinungsformen auf OmegaXI』（『オメガXIの不気味な兆候』。ベルリン：Das Neue Berlin出版、1974年。ハンス・ドミニク著『Macht der Drei』（『3の力』ライプツィヒ：E.カイル、1922年。

『Die Spur des Dschingis-Khan』（『ジンギスカンの足跡』）。ライプツィヒ：Scherl出版、1923年。

『Der Wettflug der Nationen』（『国際飛行機レース』）。ライプツィヒ：ケーラー&アメラング、1933年。

アンドレアス・エシュバツハ。著『Ausgebrannt』（『燃え尽きて』）：ローマン。ベルギッシュ・グラートバツハ：G.Lübbe、2007年。

『Die Haarteppichknüpfer』（『カーペット・メーカー』『The Carpet Maker』）ドリル・ジェンセン訳。ニューヨーク州ニューヨーク：Tor、2005年。

『Das Jesus Video』：ローマン。アウグスブルク：シュネークルート、1998年。ヘルベルト・W・フランケ『The Mind Net』（『思考の網』『Das Gedankennetz』）。ニューヨーク：DAW、1974年。

『The Orchid Cage』（『蘭の檻』）。ニューヨーク：DAW、1973年。

『月世界の女』。監督フリッツ・ラング。脚本テア・フォン・ハルボウ。UFA、1929年。

ダニエル・F・ガロウエ『Simulacron-3』。Rockville：Phoenix Pick、2011年。

マリアンヌ・グルーバー著『Die Gläserne Kugel』（『ガラスの球体』『The Sphere of Glass』）。Riverside：Ariadne出版、1993年。

ヘルマン・ヘッセ著『Das Glasperlenspiel oder MagisterLudi』（『ガラス玉遊戯または師匠ルーディ』）。トランス・リチャードとクララ・ウィンストン。

トロント：Bantam Books、1970 [オリジナル。『Das Glasperlenspiel』、1943]。

E.T.A・ホフマン。『Der Sandmann』（『砂男』）『ホフマン物語』。トランス。R.J.ホリンデール。ロンドン：ペンギン、1982年。

ヴォルフガング・ジェシュケ著『The King and the Doll Maker』（『王と人形製作者』）『SF文学の世紀』編集者。デビッド・G・ハートウェル。ロンドン：ロビンソン、1998年。393-434ページ。

『The Last Day of Creation』（『天地創造の最後の日』『Der letzte Tag der Schöpfung』）。ニューヨーク：セントマーチンズ、1982年。

ラスヴィッツ・クルド著『Auf zwei Planeten』（『二つの惑星にて』）。ベルリン：Verlag Das Neueベルリン、1984年。

『Bis zum Nullpunkt des Seins』（『存在の零度に至るまで』）
Traumkristalle。編集者。エッケハルト・レッドリン。ベルリン：Das Neue
Berlin出版、1982年。

『メトリポリス』。監督フリッツ・ラング。脚本テア・フォン・ハルボウ。
UFA、1927年。

ハンス・ロットンシュタイナー編『ベスト・オブ・オーストリアSF文学』
（『The Best of Austrian Science Fiction』）。Riverside：Ariadne Press、
2001年。—。『The Black Mirror and Other Stories』（『黒い鏡とその他の
物語』）。翻訳者。マイクミッチェル。Wesleyan大学出版、2008年。

『View From Another Shore』（『もう一つの海岸からの眺め』）。ニューヨー
ク：Seabury Press、1973年。

フランツ・シェッツィング。『The Swarm』（『群れ』）。翻訳者。サリー
アン・スペンサー。ニューヨーク：Harper Perennial、2006 [オリジナル。
『Der Schwarm』、2004]。

『Der Schweigende Stern』 [The Silent Star]（『沈黙する星』）。監督ク
ルト・マエツイヒ。DEFA、1960年。

アンゲラ・シュタインミュラーとカールハインツ・シュタインミュラー。アン
デイモン。ベルリン：Neues Leben出版、1982年。『Pulaster』。ベルリン：
Neues Leben出版、1986年。『Der Traummeister』（『夢名人』『The
Dream master』）。ベルリン：Neues Leben出版、1989年。

『The Thirteenth Floor』 監督 ジョセフ・ラスナック。コロンビア・トリス
ター、1999年。

『Transfer』 監督 ダミール・ルカセビッチ。シワゴ・フィルム、2010年。

クリスタ・ヴォルフ。『Self-experiment.』（『自己実験』
『Selbstversuch』）。『残っているものと他の物語』（『What Remains
and Other Stories』） ニューヨーク：Farrar、1993年。

『World on a Wire』 監督 ヴェルナー・ファスビンダー。WDR、1973年。

(以下上記「引用された作品」と「参考文献—一次テキスト」の原文をそのままに転記して残します)

Fischer, William B. *The Empire Strikes Out: Kurd Lasswitz, Hans Dominik, and the Development of German Science Fiction*. Bowling Green: Bowling Green State UP, 1984. Fritzsche, Sonja. *Science Fiction Literature in East Germany*. Bern: Peter Lang, 2006. Harbou, Thea von. *Frau im Mond*. Berlin: Scherl, 1930.

Hermand, Jost. *Old Dreams of a New Reich*. Bloomington: Indiana UP, 1992.

Huysen, Andreas. "The Vamp and the Machine: Technology and Sexuality in Fritz Lang's

Metropolis." *New German Critique* 24/25 (1981/82): 221-237.

Innerhofer, Roland. *Deutsche Science Fiction 1870–1914*. Wien: Böhlau Verlag, 1996. Krakauer, Siegfried. *From Caligari to Hitler. A Psychological History of the German Film*. Ed. Leonardo Quaresima. Princeton, NJ: Princeton

University Press, 2004.

Minden, Michael and Holger Bachmann. *Fritz Lang's Metropolis*. Rochester: Camden House,

2000.

Suvin, Darko. *Metamorphoses of Science Fiction*. New Haven: Yale UP, 1979.

Todorov, Tzvetan. *The Fantastic: A Structural Approach to a Literary Genre*. Ithaca: Cornell

UP, 1975.

Bibliography – Primary Texts

Braun, Johanna and Günter. *Conviva Ludibundus*. Berlin: Verlag Das Neue Berlin, 1980.

- . Der Irrtum des Großen Zauberers. Berlin: Verlag Neues Leben, 1972.
- . Unheimliche Erscheinungsformen auf Omega XI. Berlin: Verlag Das Neue Berlin, 1974. Dominik, Hans. Die Macht der Drei. Leipzig: E. Keil, 1922.
- . Die Spur des Dschingis-Khan. Leipzig: Scherl, 1923.
- . Der Wettflug der Nationen. Leipzig: Koehler & Amelang, 1933.
- Eschbach, Andreas. Ausgebrannt: Roman. Bergisch Gladbach: G. Lübbe, 2007.
- . The Carpet Makers. Trans. Doryl Jensen. New York, NY: Tor, 2005.
- . Das Jesus Video: Roman. Augsburg: Schneekluth, 1998. Franke, Herbert W. The Mind Net. New York: DAW, 1974. 10
- Sonja Fritzsche
- . The Orchid Cage. New York: DAW, 1973.
- Frau im Mond. Dir. Fritz Lang. Screenplay Thea von Harbou. UFA, 1929.
- Galouye, Daniel F. Simulacron-3. Rockville: Phoenix Pick, 2011.
- Gruber, Marianne. The Sphere of Glass. Riverside: Ariadne Press, 1993.
- Hesse, Hermann. Magister Ludi. Glass Bead Game. Trans. Richard and Clara Winston.
- Toronto: Bantam Books, 1970 [Orig. Das Glasperlenspiel, 1943].
- Hoffmann, E.T.A. "The Sandman." Tales of Hoffmann. Trans. R. J. Hollindale. London:
- Penguin, 1982.
- Jeschke, Wolfgang. "The King and the Doll Maker." The Science Fiction Century. Ed. David

G. Hartwell. London: Robinson, 1998. 393-434.

—. The Last Day of Creation. New York: St. Martin's, 1982.

Lasswitz, Kurd. Auf zwei Planeten. Berlin: Verlag Das Neue Berlin, 1984.

—. "Bis zum Nullpunkt des Seins." Traumkristalle. Ed. Ekkehard Redlin. Berlin: Verlag Das Neue Berlin, 1982.

Metropolis. Dir. Fritz Lang. Screenplay Thea von Harbou. UFA, 1927.

Rottensteiner, Hans, ed. The Best of Austrian Science Fiction. Riverside: Ariadne Press, 2001. —. The Black Mirror and Other Stories. Trans. Mike Mitchell. Wesleyan UP, 2008.

—. View From Another Shore. New York: Seabury Press, 1973.

Schätzing, Franz. The Swarm. Trans. Sally-Ann Spencer. New York: Harper Perennial, 2006 [Orig. Der Schwarm, 2004].

Der Schweigende Stern. [The Silent Star]. Dir. Kurt Maetzig. DEFA, 1960.

Steinmüller, Angela and Karlheinz. Andymon. Berlin: Verlag Neues Leben, 1982.

—. Pulaster. Berlin: Verlag Neues Leben, 1986.

—. Der Traummeister. Berlin: Verlag Neues Leben, 1989.

The Thirteenth Floor. Dir. Josef Rusnak. Columbia Tristar, 1999.

Transfer. Dir. Damir Lukacevic. Schiwago Film, 2010.

Wolf, Christa. "Self-experiment." What Remains and Other Stories. New York: Farrar, 1993. World on a Wire. Dir. Werner Fassbinder. WDR, 1973.

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

（5）

岩田英哉

目次

1. 前編
2. 後編
3. GAME CHANGE理論
 - （1）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
 - （2）古いゲーム・ルール2：アメリカのゲーム・ルール：一般論
 - ①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コカコーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジットカード、ディズニーランド等々）
 - ②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
 - ③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

新ゲーム・ルール

対アメリカ帝国：

- （1）新ゲーム・ルール1（アメリカ帝国向け）：一般論
- （2）新ゲーム・ルール1.1（アメリカ帝国向け）：個別論
- ①文化領域
- ②政治領域
- ③経済領域

対中華帝国：

- （3）新ゲーム・ルール2（中華帝国向け）：一般論
- ①支那とは何か中国とは何か
- ②中国の経済の構造
- ③中国の政治の構造
- （4）新ゲーム・ルール2.1（中華帝国向け）：個別論

[対ロシア帝国：

- （5）新ゲーム・ルール3（ロシア帝国むけ）：一般論
- （6）新ゲーム・ルール3.1（ロシア帝国むけ）：一般論]

[対ロシア帝国]の中
は未論考

4. GAME CHANGE理論（日本篇）

- 4.1.1 国民にとって理想の政府とは何か
- 4.1.2 現行日本国憲法無効化論
- 4.1.3 日本国家核ミサイル保有論
- 4.1.4 日本駐留米軍退散論
- 4.1.5 日本中央銀行廃止論
- 4.1.6 北朝鮮拉致被害者奪還論
- 4.1.7 尖閣諸島問題解決論
- 4.1.8 竹島及び北方領土奪還論
- 4.1.9 国体明象論（国体明徴論ではない）
- 4.1.9 国制明象論（国制明徴論ではない）

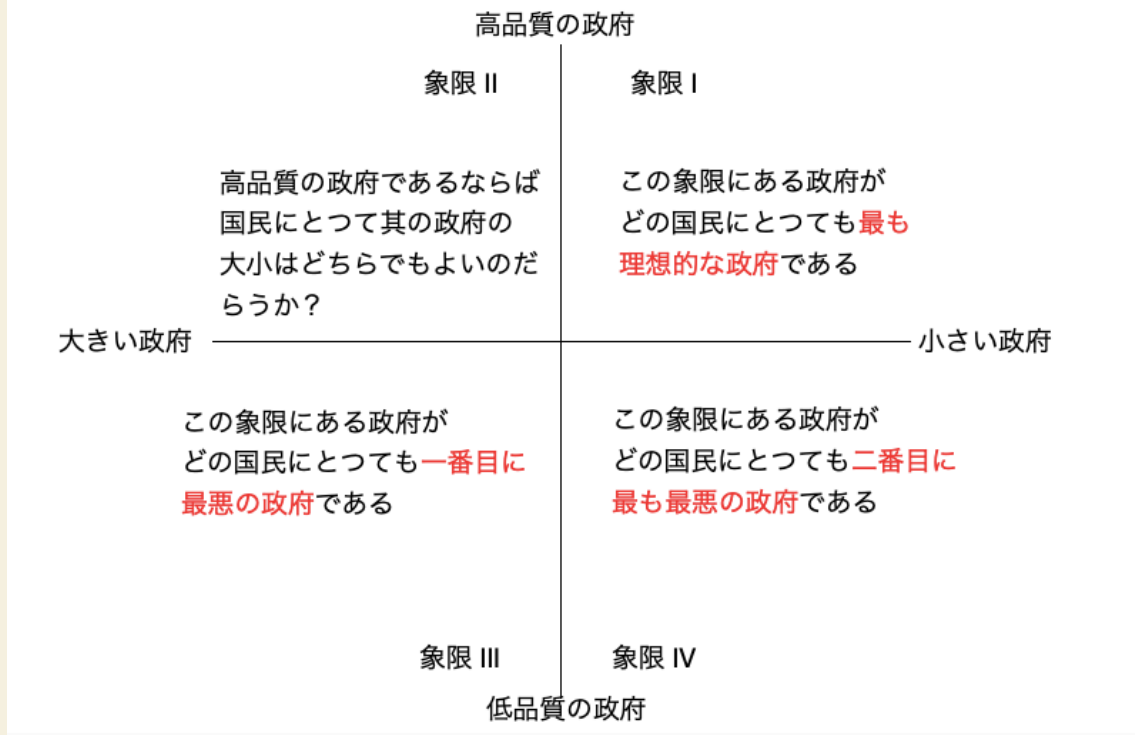
4.1.1 国民にとって理想の政府とは何か

国民にとって理想の政府とは何か？といふ問に答へたい。その上で次章以降に掲題する個別日本国内の諸問題を解決する新ゲーム・チェンジ・ルールは如何なるものであるべきかを、これに依拠して考察の中から抽出して、明らかにしたい。

考へ方そのものは非常に単純明解です。世上誰がさういふものか、二十一世紀の日本にあつて世に流行るものは大体が外国から、それも欧米からの借り物であるだらうといふ通俗的な偏見を以つてこの問に対しても間違いではないであらうといふ考へが正しいといふことは、既に私はショーペンハウアーの名著『意志と表象の世界』の中で、大きな政府と小さな政府を比較して其の優劣を論じてゐることを知つてゐるからで、とすれば此の間は18世紀からの国家と政府と国民を巡る国家経営の問題であり、何も経済学の理論のなんとか主義によつたり政治学の是もなんとか主義によるものではない、即ちイデオロギーによるものではなく、単に欧米の近代国家の国政の片方・半分である民主主義の原理である「最大多数の最大幸福」の実現といふイギリスのベンサム的主張した原則の、この議論は延長にあるわけです。何故ならば、政府が大きいか小さいかは、国民の幸福に関する政府の規模の単に量の問題であつて、国家の規模に関する何かに対して其の大小の比率が国家経営のために大き過ぎないか小さ過ぎないか、常に適度の大きさであるかといふことを事実を照らして考へる問題であるからです。とすると、国民にとって、民主主義といふ政治制度のもう片方・半分は資本主義といふ経済制度からなる近代国家の国制（国家体制）を経営する政府の大小といふ量に対して、政府の質の高低を対比的に又は二項対立として一つの軸を立てれば、この問題の形式は次のやうな座標となります。ここでいふ政府の中には中央行政府の官僚である公務員及び地方自治体の公務員も含むものとして、政府と総称して呼ぶことにします。

2022/02/18
eiya iwata

理想の政府とは何かの座標



この座標をひと目見て明らかなことに、どの国家どの国民にとつても理想の政府のあり方は、象限Iにある政府であるといふことです。あなたもこれには依存はないであります。象限一つ一つに簡単にコメントを残して、次の章に進みたい。

(1) 象限 I：この象限にある政府が国家と国民双方にとつての理想の政府である。

(2) 象限 II：この象限にある政府が国家と国民双方にとつての理想の政府である否かは、その政府の大きさといふ相対的な量が生まれる其の原因に関して国民の多数が国家経営上の合理性を認めるか、または已むを得ないとして許容する程度が国民の合意としてあるか否かにかかつてゐる。

(3) 象限 III：この象限の政府は一番最悪の政府である。これは共産主義国家の象限である。さうであれば、今の中華人民共和国が、この象限にあたる。私の経験した東ドイツ、即ちドイツ民主主義共和国は、この象限にあつた。行政官僚も地方の役人も其々の警察も軍隊も皆、国民を監視し、抑圧し、場合によつては弾圧して射殺するために、即ち共産党と其の独裁政治のためにあつた。要するに、国民を労働力として必要とするので、国家からの逃亡をさせないための権力のあり方の象限が、これである。

(4) 象限 IV：この象限の政府は二番目に最悪の政府である。この象限にある政府は国家を運営することができないであらう。江戸幕末の日本がさうであったやうに、外国列強の政治的介入を招き入れることになる象限。今の例ならば、アフガニスタンといふことになる。

考察を進めるにつれて、新しい発見があれば、この象限の解説に付け加へて行くことにします。

(以下、余白)

4.1.2 現行日本国憲法無効化論（法律）

私が世上論ぜられてみて知つてゐる範囲で挙げた上記の問題を比率で表すと次のやうになりました。これは比率の低い問題が程度の低い問題だといふのではありません。その比率の意味するところに問題の量ではなく質があるのでありますから、これらの質の高低を問題にして先に論を進めたいとおもふのです。結果は次の通りです。

5/8=64%が軍事の問題。1/8=13%が法律の問題。13%が同じく経済の問題。25%が政治の問題。といふことになる。最後の25%は文化と歴史の問題、即ち伝統の問題である。といふことは、この国家の質の問題が%の比率に拘らず、一番重要な問題であると考えることができる。何故なら、この文化の上に政治と経済が成り立つからです。整理をするとこれまた次の通りに列挙できます。

A. 軍事の問題（64%）

- (1) 日本国家核ミサイル保有論（軍事）
- (2) 北朝鮮拉致被害者奪還論（軍事）
- (3) 日本駐留米軍退散論（軍事）
- (4) 尖閣諸島問題解決論（軍事）
- (5) 竹島及び北方領土奪還論（軍事）

B. 政治の問題（25%）

- (1) 国体明象論（政治）
- (2) 国制明象論（政治）

C. 法律の問題（13%）

- (1) 現行日本国憲法無効化論（法律）

D. 経済の問題（13%）

- (1) 日本中央銀行廃止論（経済）

いふまでもなく、これらAからDの5項目はお互ひに有機的な関係があります。全てが国家の経営に関はる項目であり、この国家経営といふ目的のための手段がこれらの5項目であつて、この5項目の手段についての問題のうち64%が軍事問題であるといふことは、敗戦後歴代の政府と政権と総理大臣及び霞ヶ関の官僚は何一つ問題を解決してこなかつたといふ歴史的事実を示してゐます。さすがに、この文章を書いてゐる時点で77年も経つてゐれば、歴史的と呼ぶ

に此の事実は値するでせう。誠に怠惰な、不作為の悪意ある日本の政治家（本当は政治屋と呼びたい）であり官僚であつた。国民は？本当に心ある民草、さうアメリカ流に云へば草の根保守のgrass rootsの日本人は、さうは思はずに不本意な生き方を強ひられたといふことになります。

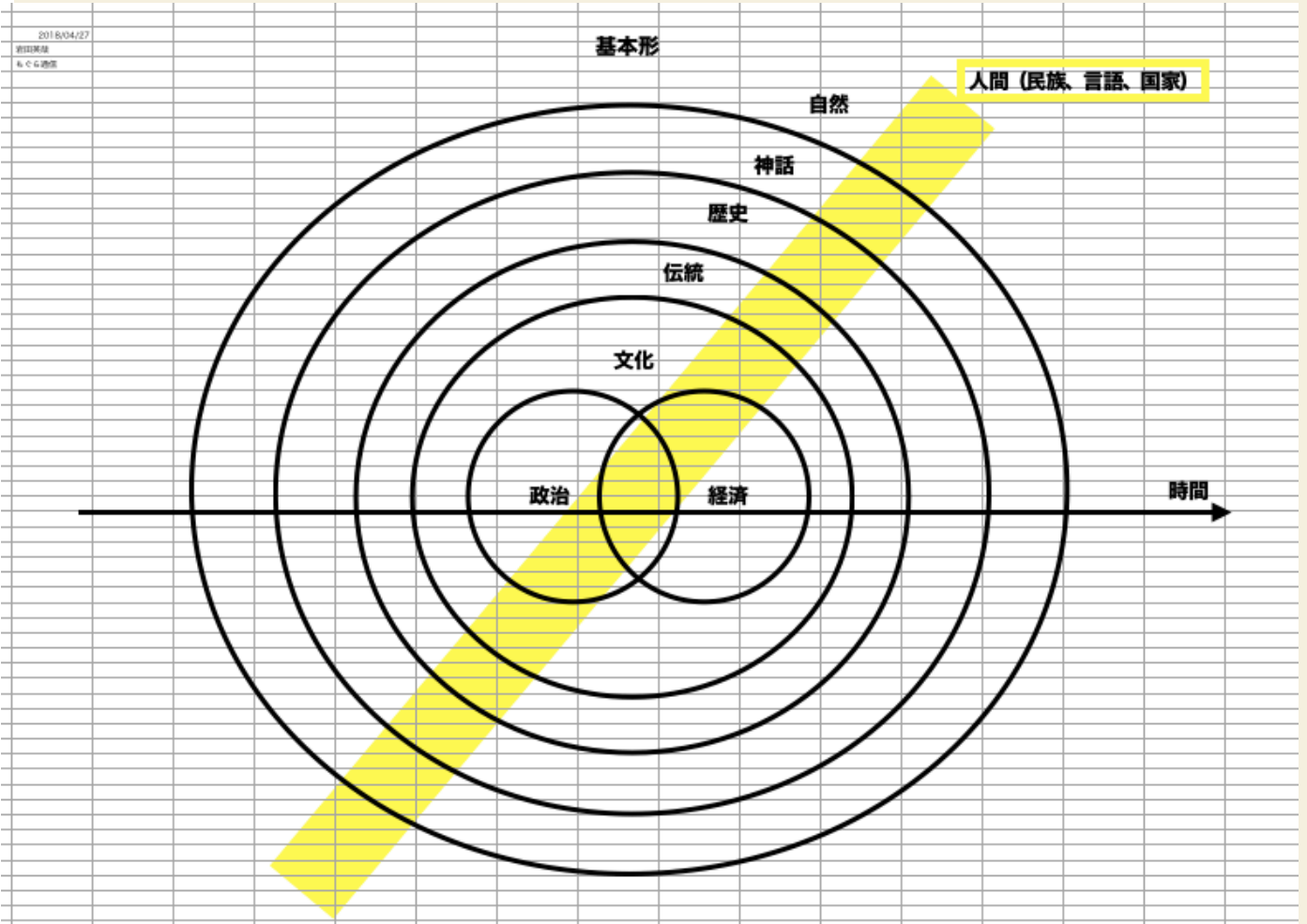
ここでは計算をする上で識別子が必要です。不作為の政治家を政治屋と呼び、不作為の官僚を糞官僚と呼び（何クソ君をここに入れる）、現在の与野党を問はず、一度でも与党であることを経験した政党及び右の親米・左の反米の、また今日では媚中の、プロパガンダに喜んで騙された国民を愚かなる国民と呼べば、草の根保守の人口数は次の式によつて求められる。公の仕事をする人間ほど不作為の罪ある人間と呼ぶことができ、私的な（私企業である法人も含む）仕事をするほど怠惰な人間と呼ぶことができるが、この公私を問はぬ不作為と怠惰の両方を併せて、国民の愚かさといふ言葉に合はせて、愚か者と通称することにします。即ち、

（不作為の罪深き公人の数＋怠惰なる私人の数）＝愚か者の数 [公人（政治屋＋糞官僚を含む全国の怠惰なる公務員（これには怠惰なる自衛隊幹部及び隊員も含まれる））＋怠惰なる私人（個人＋法人）] ……（1）

怠惰なる私人（個人＋法人）には、無責任な評論家や（筒井康隆が『俗物図鑑』で名付けた）に電波芸者と（藝者といふ矜持ある職業人には申し訳ない勿体無い言葉の使ひ方ではあるが赦して欲しい）、それから学者、左翼・保守・右翼の個人及び新聞社と地上波放送局といふマスメディアの組織と今や同類のネットメディアも含まれてゐる。さうすると、純然たる日本人の草の根保守である民草の数は次のやうな引き算の式で計算される。

草の根保守の人口数＝国民有選挙権者全数 －（1）

この「草の根保守の人口数」の実際の数、複数の統計的資料を突合すれば計算できると思へますが、ここではしません。何故なら、私のここで言いたいことは、日本といふ国家の質・qualityのことだからです。今の日本の国の礎（いしづえ）となつてゐるのが、この人口数です。この人たちがどこにゐるのか、どこで生活してゐるのかを考へるために、次の円盤図を再掲しますので、少し眺めて下さい。



この二つ、即ち国体と国制に関する明象論の上に、軍事・法律・経済が成り立つといふことである。明象論とは何かといへば、これは私が命名したもので、先の戦争に至る過程で天皇の地位に関する機能の及ぶ範囲について唱へられ、物議を国会で醸し、天皇機関説を唱へた美濃部達吉が貴族院を辞職したといふ此の事件と事態の成り行きに関する原因となつた国体明徴論の正反対の言葉として私が持ち出し命名した論のことです。明徴では、微細・微小を明らかにすることですが、この明徴といふ言葉では物事の全体を、即ち国体と国制に関する全体を考へることができませんので（瑣末な議論になる）、天皇は日本の国の象徴であるといふ現行日本国憲法にある通りに、象は全体を（例：気象、事象、現象、捨象）、徴は部分を（例：微細、微妙、微弱、微小）これらの漢語で意味しますので、象の文字を採用して、大局観の元に、明象論と名付けたものです。この語の採用は幾つかの含みがありますが、その一つは、明治維新以来の文明開花はもう終はりにしようといふ私の心があります。明治維新前後より西洋と呼び、その実はオランダ・イギリス・フランス・ドイツ（以上「西欧」とここでは総称することにします）及びアメリカであつたこれらの国の文化の輸入は、今の西欧とアメリカの社会で起きてゐる擾乱と暴動を見れば、日本といふ文明国家にとつては範とするに足る文化国家ではなかつたといふのが私の結論だからです。日本の経済は、従ひ当然政治体制としても、江戸時代の幕藩

体制は、西欧とアメリカよりも250年先行してみたといふ実証的な歴史的証明は既大阪米穀取引会所の歴史的事実として『Mole Hole Letter (68) 超越論 II (第十二回)』(もぐら通信第146号)及び『Mole Hole Letter (69) 超越論 II (第十三回)』(もぐら通信第147号)に既述の通りです。

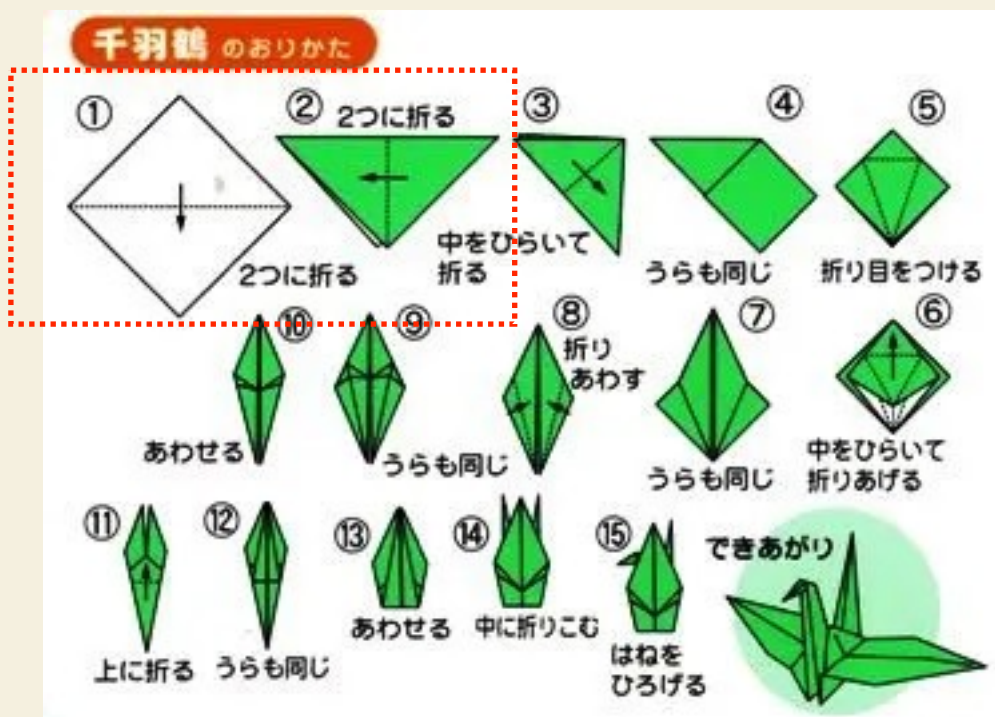
これらの国が文明国と呼ぶに値するまでには、前者の西欧は15世紀以来まだ千年を閲してゐないので後500年国家が、それこそ持続可能か、sustainableかどうかを待たねばならず、アメリカに至つては独立宣言(1776年)から数へてあと800年を待たねば、この国家の持続可能性の証明が、即ち文明と呼ばれるに値する長さの単位である千年には達しないので、まだ不明であつて、そこまで国家が保てば1000年続いた国家として、私たちはアメリカは文明国だといふことができるやうになります。西欧はともかく(何故ならキリスト教文明圏といふなら2000年の歴史があるので文明圏であります)、私の目には、アメリカはあと800年は保たないと見えるからです。従ひ、私の一言をここで追加すれば、日本の国の持続可能性・sustainability・サステナビリティを心配する暇があつたら、あんたたちEAWAC複合体の西欧・アメリカのみなさま、自分達の国の持続可能性をこそ心配しなさい、そんなことは日本の国には余計なお世話である、見よ、日本の歴史の長いこと長いこと、縄文土器の証明する1万6500年の縄文紀元の長さを!といふことです。私たち日本にとってはDavos会議なぞ時代遅れの糞食らへ、である。EAWACコンプレックスといふ古代文明の欠落に起因する劣等感と、イエス・キリストといふ開祖を裏切つて中世キリスト教を暗黒時代などと平気で嘘をついて捏造したあんたたちのいふ、大つぴらに金利をとり守銭奴となつた近代史の似非優越感の混ぜこぜになつてゐる糞は、自分達で平等に自由に博愛精神で分かちあふがよからう。Diversity? そんなこたあ、アタ棒よ、支那と共に大昔から百家争鳴といひ、多士済済といふことで何の問題も我が国にてはなく、あんたのところから文明なるものを入れて明治以来万機公論に決すべしでやつて来たのである以上、我が国には不要な標語である。時代遅れだね。一昨日(おととい)おいで。といふことで、さて、本題に入ります。

4. GAME CHANGE理論 (日本国内篇)

4.1.4 現行日本国憲法無効化論 (法律)

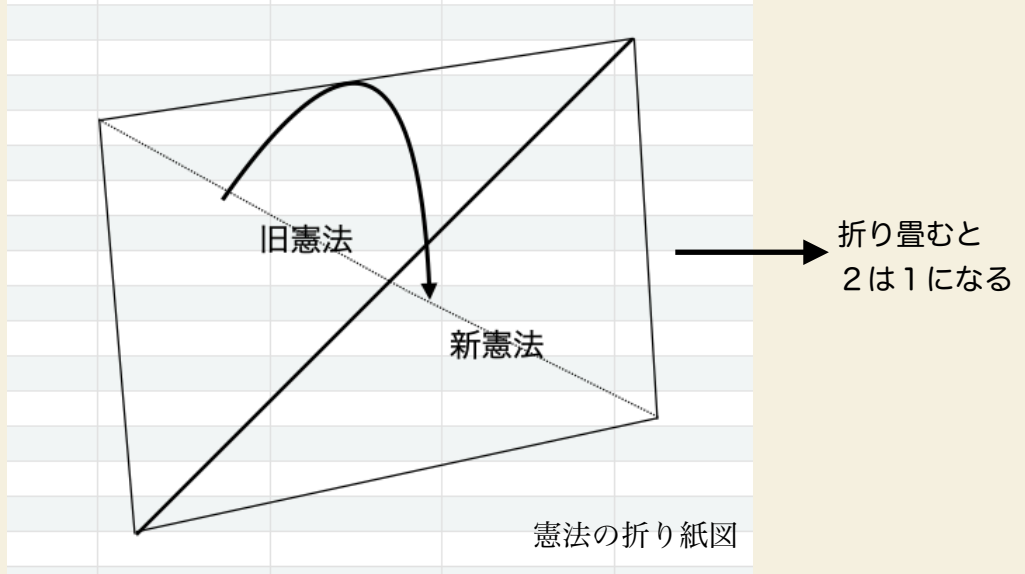
私の此の案は、現行憲法無効論ではなく、無効化論です。アメリカ軍の暴力的支配の下での現行憲法は国際法違反であるといふ主張の正当性は、その通りだとしても、具体的な政治制度の壁の打開・打破には直結しないので、次のやうな現行憲法無効化論を提案する。この考へによれば、憲法改正も国民投票も不要である。私見によれば、国民投票などといふのは愚策・愚論であつて、誰がいひ始めたか知れぬが、これでは議会制民主主義の否定である。選挙民の選んだ国会議員はそれほどに無能だといふのか。そんなことはあるまい。それとも政府はそれほど国民を軽んじ、大衆即ちマス・メディアのプロパガンダする虚像の国民にへつらひたいのか。以下、本論に入る。

日本語の本質に基づき、憲法の二重化を図る、冗長化を図る。これは古事記冒頭にある三階層の高天原のトポロジーに基づいてみるので、誰も文句はない筈である。古事記は神話だ？良いではないか。そこにある高度な私たちの祖先の数学的・哲学的・形而上学的叡智に従ふのであると反論することが容易にできるし、其のやうな無学な輩には古事記を読ませる絶好の機会である。あらゆるマイナスをプラスに転ずるのだ。転機は好機です。高天原の三階層の図を再掲します。此処にある冗長化、二重化、今風にコンピュータの世ですからわかりやすい言葉を使つて語弊を恐れずに言へば、バックアップを備へた構造の二重化した安全装置付きの憲法図を設計し、描くのです。古事記は日本民族の尽きせぬ智慧の宝庫です。『縄文紀元論』で論じ来つた通り、カミとミコトの関係の二重性がそのまま古事記と日本書紀の関係でありましたので、同じ流儀に倣ひ、日本国憲法を同様に二重化・リダンダントにすることによつて憲法問題を解決しようとするものです。即ち、今の憲法をズラすのです。ズラして、二つに、片葉・片葉に姿を齊（ととの）へる。このズラシによつて、現行憲法の穢れを大祓ひに祓うことができる。この時、今上陛下の御下命の下、全国の神社で高天原の神々に大祓を、いふまでもなく第二段を全て復元して略することなく、太古・古代からの有姿のまま奏上することが必須です。以下、現行日本国憲法を「旧憲法」、新日本国憲法を「新憲法」と呼ぶことにします。この二つの憲法の関係は、日本語の本質と此の本質に基づく「折り紙の原則」に依つてみます。まづ折り紙で鶴を折るときの図を見て下さい。



上図赤い点線で枠囲ひの二つの紙が対照的に片葉・片葉に折られてゐる。これで対称的に重なることから開始して複雑な折り鶴が完成します。この二つの憲法の関係も同様です。同様に幾何学的に思ひ描いて下さい。

日本語の原理に従って、伊勢神宮がさうであるやうに、常に冗長性を持たせて、二重化して、二十年どころか七十年もずつと過ぎてゐるのですから、憲法のいはば遷宮とはいひ過ぎですが、こんな言葉があるかどうか、遷法をしますのです。イメージを図示すると次のやうになる。



更に、「近代国家模型図」も再掲しますので、二つの憲法の近代国家上の位置を確認して下さい。ダウンロードは：<https://docdro.id/XEqFpBT>

古事記の冒頭の天地初発（あめつちをはじめてひらけしとき）は此処に存在してゐる 高天原の平面（並行四辺形に神掛付のtopology）

高天原 (SEIN (存在) の 三階層)

【神々の topology】

SEIN: ザイン (存在) の 階層

政治学と経済学の適用範囲

近代国家の適用範囲

DASEIN: ダーザイン (現存在) の 階層

文学の適用範囲

(*) 私の知る限りヨーロッパ白人キリスト教圏でsymbol 1が宗教的にではあるが、実現したのはキリスト教圏の13世紀である

貨幣 (money) 権力1 = Macht (マハト) = power

eros1 (憧れ1) = ideas1 (アイデア1) 言語 (language) 象徴 (symbol < 言語) の平面 (symbol) : 隠喩が豊穡ではなく、隠喩

通貨 (currency) 権力2 = sovereignty = supreme authority 言葉 (word) 軍隊

eros2 (憧れ2) = media (媒体) 市場 (market) 権力3 = force (勢力) = active power 法律 (law)

eros3 (憧れ3) = sex (性愛) 暴力 (Gewalt: ゲヴァルト) 超国家元首(天皇といふ存在 (SEIN: ザイン))の平面

..... 哲学(philosophia)の平面

..... topology (数学)の平面

..... 近代ヨーロッパ文明の国家元首(欧州の王室、その他各国大統領)の平面

..... 政治家と行政官僚の平面

..... 政治学と経済学の平面

..... マス・メディアの平面

..... ネット・メディアの平面A

..... 「symbol」: 隠喩が豊穡に留まつてゐる平面 = 名前が現存在の別のものを意味する平面

(例: "a visible sign of something invisible: the lion is a symbol of courage" Webster Online) : (*) これをsymbol 2と呼ぶ

..... ネット・メディアの平面B

..... 国民(people)の平面

..... 大衆(people)の平面

..... 個人(personals)の平面

..... ネット・メディアの平面B

原語の分類はWebster Onlineによる: <https://www.merriam-webster.com>
ドイツ語の分類は「木村雅典和訳辞典」(博文社)による。
日本語の分類は筆者(樹田)の分類である。

この「近代国家模型図」を見ますと、憲法問題は第二層にある問題であり、従ひ、この憲法の交代による、いはば憲法の「遷宮」は同時に、日本の国制の通貨・軍隊・[eros 2・憧れ 2 (=メディア・媒体)]・言葉 (word ; 例 : 軍法) に関しても修正を求められることを併せて考へなければなりません。国家は、いふまでもなく、有機的に、一事が万事にできてゐます。権力の視点で考察すれば、この憲法の二重化する遷移は、権力 2 とある通りに、現行憲法に明示されてゐる sovereignty・国家主権の所在、即ち supreme authority の所在に関はりますので、この議論を抜きに、憲法第 9 条第二項だけを修正するのでは視野狭窄であり、憲法の改悪といふことになつて均衡を欠き、法制上の禍根を後日に残します。その一例を挙げれば、今の与党が主張してゐるといふ「自衛隊」の語を憲法に書き加へるといふ案がありますが、定めらるべき用語には分類された然るべき、言葉の階層がありますから、これでは全く橋にも棒にも掛からぬもので、あり得る全体像を「現行日本国憲法改正のための分類」として示すと次のやうになります。この与党案といふものは伝聞情報ですので、まさか日本の国を立法府にて代表する与党の政治家が此のやうな幼稚で初歩的な誤ちをよもや犯すことはない筈です。

2022/02/18 shya iwata		現行日本国憲法改正のための分類											
権力 2	憲法	Power	軍事力・Military Power							軍法	民法	商法	刑法
	法令	Laws	軍隊・Army										
権力 3	実効性	Force	自衛隊	Air Force	空軍	陸軍	海軍						Forceとは物理的に物事を強制的に動かすpower・権力又は力のこと。映画『スター・ウォーズ』のジェダイの騎士のforceをみよ。それ故に自衛隊を憲法といふ国家の最高位にある法文に入れてはならない。入れるべき言葉は英語ならばPowerであり、日本語ならば此の場合は軍事力である。

提案 1 :

さて、憲法に関する此の高天原の三階層ネットワーク図に従ひ、私の提案する発効までの手順は、次の通り。

- (1) 現行憲法 (以下「旧憲法」と呼ぶ) は今のままに捨て置く。
- (2) 新憲法を立法の府である国会で国会議員が立法する。
- (3) 所定の法的手続きを経て、これを発効せしめる。
- (4) 新憲法を作成して、最後の条文を次のやうにする。

かうすれば、自然と旧憲法は無用となる。新憲法に次の条文を付加する。

- (1) 新憲法と旧憲法に矛盾または違ひのある場合には、新憲法の条文が優先する [この一条が私の提案の命です]。または其の上で、
- (2) 旧憲法の有効期限を三年・五年などと限る、と定めるか。
- (3) 自然に旧憲法の以後不使用・無効となる時期を総理大臣または法務大臣が見定めて、旧憲法の無効を宣言する、と定めるか。あるひは、既にある所定の手続きに従ふか。

この新憲法の制定に応じて又は同時に、新憲法下に必要な各法律を整備する。その最たるものは軍法であるので、早急にこれを立法し、制定する。その他矛盾し又は無用となつた法律の改廃を行ひ（これは法務省の事務）、必要な法律の立法を行ふ（これは政治家の仕事）。

これにより、立法府にあつて立法能力の有無が国会議員には問はれるので、立法能力のない議員は国会中継を視聴して、次の選挙で国民は落選させることである、無用なる国会議員浄化の、日本語能力審査の絶好の機会である。そこで一人一人の議員の人柄、性格、作文能力、思考能力、従ひ議員適性を判断する好機として、国民は同時に活用することができる。

提案2：

しかし、最善最短最速の方法は、天皇陛下の御名御璽を含めて新憲法をあらかじめ用意をして置き、総理大臣が旧憲法の無効を国内外に宣言して、直ちに新憲法の発効をさせることではないのか。要するに、今の国会または国会議員には憲法を起草する法的能力が無いといふことなのか。そんな馬鹿なことはないであらう。

4.1.4.1 憲法の冗長化・二重化に伴ひ新たに制定または改正すべき法律
新たに制定または改廃を要する法律は以下の通り。

- (1) 軍法
- (2) 日本銀行法
- (3) 商法
- (4) その他の法律

(続く)

ネット・モナド論（24）

グレートリセットとは何か（2）

ダボス会議の主宰者のシュバブとは如何なる人物か

掲題について語りたい。これは前回の『グレートリセットとは何か？：マイケル・レクテンウォルド博士』の論文紹介と解説の続きです。

グレート・リセットを推進しようといふ親玉が、このシュバブといふ男ですので、この男がどんな人物かを整理してお伝えし、グレート・リセットといふ言葉でダボス会議なる組織が何を目論見んでゐるのかを明らかにしたい。その後で第三回目に日本の国内で如何にダボス会議が大っぴらに暗躍してゐるかをお伝えします。

1。天才の死の意味するもの

これは私たちは三島由紀夫の昭和45年・西暦1970の死の前と後とで、即ち三島由紀夫の死「以前」と「以後」に分かれて、「以前」から「以後」へと時代が大きく変はつたのは、釈迦に説法、あなたもご存じの通り。さて、石原慎太郎の死の「以前」と「以後」とで何が変はるかを数年先まで射程に入れて思ひ描いてみました。といふのは、これと全く別個に今ダボス会議を調べてみて、シュバブといふ男が主宰者であるので、この男のwikipediaを読んでみましたが、石原氏のご逝去と併せ、また三島由紀夫の死と共に私の知ったことを述べると次の結論になります。

(1) 石原慎太郎：享年89歳

(2) Prof. シュバブ：83歳。

この男はまだ死んでゐないが、石原慎太郎氏を基準にすると、あと6年で死ぬだらう（と仮定をする。本当は殺してやりたいが）。私たちはあと5年前後を今のままダボス会議による攻撃に耐へて反撃しつつ勝機を掴む努力を続けるといふことになります。

2。シュバブとは如何なる人間か

(1) シュバブの履歴とダボス会議

シュバブは本来は機械工学を専攻したエンジニアです。その後に博士号を有してゐる。組織論の専門家です。この男の勉学で得た肩書は次の通り。

[英語]

In 1961, he graduated as a mechanical engineer from Swiss Federal Institute of Technology in Zurich,[4] which awarded him a doctorate in engineering entitled: Der längerfristige Exportkredit als betriebswirtschaftliches Problem

des Maschinenbaues (英訳：Longer-term export credit as a business problem in mechanical engineering),[5]. He was also awarded a doctorate in economics from the University of Fribourg,[4][6] and a Master of Public Administration degree from the John F. Kennedy School of Government at Harvard University.[7]

[拙訳]

1961年に、彼はチューリッヒのスイス連邦工科大学を機械エンジニアとして卒業し、工学博士号を授与されました。博士論文の題名は「機械工学におけるビジネス問題としての長期輸出信用」(Der längerfristige Exportkredit als betriebswirtschaftliches Problem des Maschinenbaues (英訳：Longer-term export credit as a business problem in mechanical engineering))と云ふものです。(訳者：エンジニアリングでありながら企業経営に関する関心を主題としてみる、それも海外への信用の輸出を主題としてみるところに今日のダボス会議の中心テーマへの遠源のあることが判ります)。彼はまた、フリブール大学から経済学の博士号を授与され、ハーバード大学のジョンF.ケネディ政府大学院から行政学の修士号を取得しました。

シュバブのふたりの息子のうち次男のOliverは中国人の妻を娶り、在北京である。もうすでにここが怪しい。中共とダボス会議の縁は切れない。これはオバマが大統領職にあつた時代に自分の腹違いの兄を北京に住まはせて中国共産党から生活の面倒を見てもらつてみたのと同じ構図である。この間オバマはアメリカの高度な科学・技術情報の合法的な(なにしろ規定を改悪させて事業を民間企業に委ねれば良い)中国共産党への開示と漏洩に手を貸した。と云ふことは、日本の政治家・行政官僚・地方自治体の首長と役人、それに大企業の経営者に同類の悪をなす人間がみる筈であるので、これらの悪人を洗いざらひにして一覧表を作成し、天下の霞ヶ関か平河町の四辻に立て札を立てて、大手新聞社は号外を発行しては如何か。あつ、大手新聞社の幹部にも社長にも悪事の罫は及ぶのか？救ひがたき日本の国である。さて、しかし、Wikipediaの記述を読んで行くと次のことがわかる (https://en.wikipedia.org/wiki/Klaus_Schwab)。

シュバブはひとを見る目がないので、このダボス会議といふ事業(これ自体金儲けのための事業体である)の後継は見つからないであらう。今も良い後継者がいるとは行間からは見えない。実際に指名した二代めはUS\$900,000の使ひ込みで逮捕されてゐる。この前後の記述を読むと、シュバブの金目当てにやつてくる輩が大勢みるに相違なく、ダボス会議は金儲け組織、国際的な金儲け団体だと考へるのが正しい。そのための看板がGreat Resetであつて、すでに前回私の翻訳したアメリカのマイケル・レクテンウォルド博士の論文で知ることのできる悪略は徹底してゐて、日

本のこの度の東京オリンピックもまんまと策略に乗せられてダボス会議に乗っ取られたことは私の既報の通り。今ここでは論じないで別途の文章としますが、今年2月12日のブリンケン・アメリカ国務長官の演説を聴くと（「Secretary Blinken Discusses Our Indo-Pacific Strategy」：<https://www.youtube.com/watch?v=OIWJVhfMgy0>）既にアメリカの民主党は折角安倍政権下で日本が立てトランプ大統領が積極的に展開したたアジア・太平洋戦略をダボス会議の支配下に置いて、これを骨抜きにし、中国を南太平洋の島々から追い払ひ、今度はまた歴史の語るが如くアメリカが金儲けのために南太平洋を支配する意志を明確にしてゐる。3分の演説フィルムですから、英語のわかる方はご視聴下さい（原文の文字起こしと和訳のダウンロードは：<https://docdro.id/g57XGJq>）。この重要な筈のスピーチには日本といふ言葉は一言も出てこない。代わりに出てくるのはフィジー島と云ふ言葉です。このアメリカの急変に、日本政府は官僚も含み、ついて行けないであらう。なにしろブリンケンは「本日、米国はインド太平洋戦略を完全に発表します」と宣言してゐるのであるから、これについての日米の共有する理解がなければならぬ筈である。この戦略の歪曲に関する説明は事前に日本にあつたのか？この短い演説の解析は演説中にある「エンゲージメントの5つのコア要素」を解析することで、アメリカの此の軍事戦略を経済戦略に歪曲しようといふ悪意の意図と実現手段を知ることができるので、従ひ、日本はもはや今のアメリカの政権とは然るべき距離を置いて、その意図の進行を邪魔しながら時間稼ぎをしつつ、次のトランプ大統領と共和党政権の発足までの間は、耐えるべきものは福沢諭吉ではないが痩せ我慢してでも耐えて、対応する以外にはない。

さて、本題に戻り、このWikipediaを読むとdigital inclusionといふダボス会議制定用語があります。即刻やめよ岸田何某のデジタル庁（発足は菅政権故、この総理大臣も同罪である）と田園都市構想などといふものは中止し、廃棄すべきです。明らかにダボス会議に国家の利益を垂れ流すことになる売国政策だからだ。Inclusionといふ東京オリンピックの閉会式の標語diversity and inclusionの此の后者の片割れは日本をダボス会議の計画の中に取り入れる、取り込まれるといふ意味の積極的な国際表明であつたことは誠に恥ずべきことである。Great Resetに対抗しダボス会議とGreat Resetを殲滅する日本の標語はGreat Replayです。これは機会を別にして論じます。Great Resetに対抗する日本のGreat Replay戦略です。目には目を、歯には歯を、Great ResetにはGreat Replayを。Great Replayとは、伊勢神宮の20年ごとの遷宮を思つて下されば、日本人のあなたには十分です。この遷宮は、三島由紀夫の『文化防衛論』を俟つまでもなく、紀元前の、神武「以前」から、日本語と日本文化の本質です。

（2）シュバブの出自

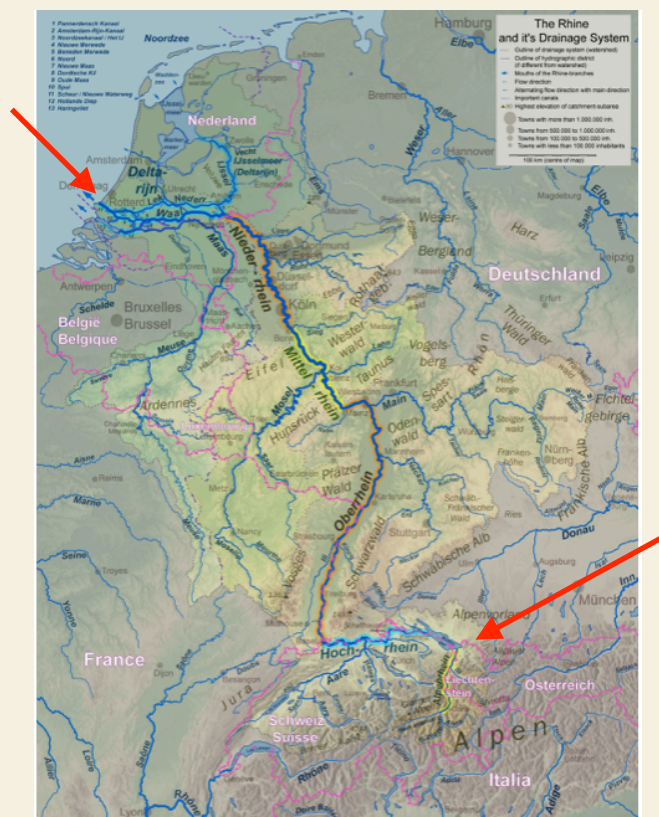
ダボス市とシュバブの中は犬猿の中といふべきほどに悪い。その原因は、シュバブの出自にある。ドイツ人としてのユダヤ人であるが、他方スイスに祖先がゐて、奇

妙なことにthree grand parents（三人の祖父）があるとあるので、これが本当だと、多重国籍者で、例によつて例のごとくパスポートも複数あるとしたら、この男は多国籍的スパイであるといふことになる。さうではなくとも、この男とスイスとの関係が誠に不審である。

ここで話はシュバブの住む地方に縁の深いロスチャイルドの話になります。この話をしてから、また本題に戻ります。

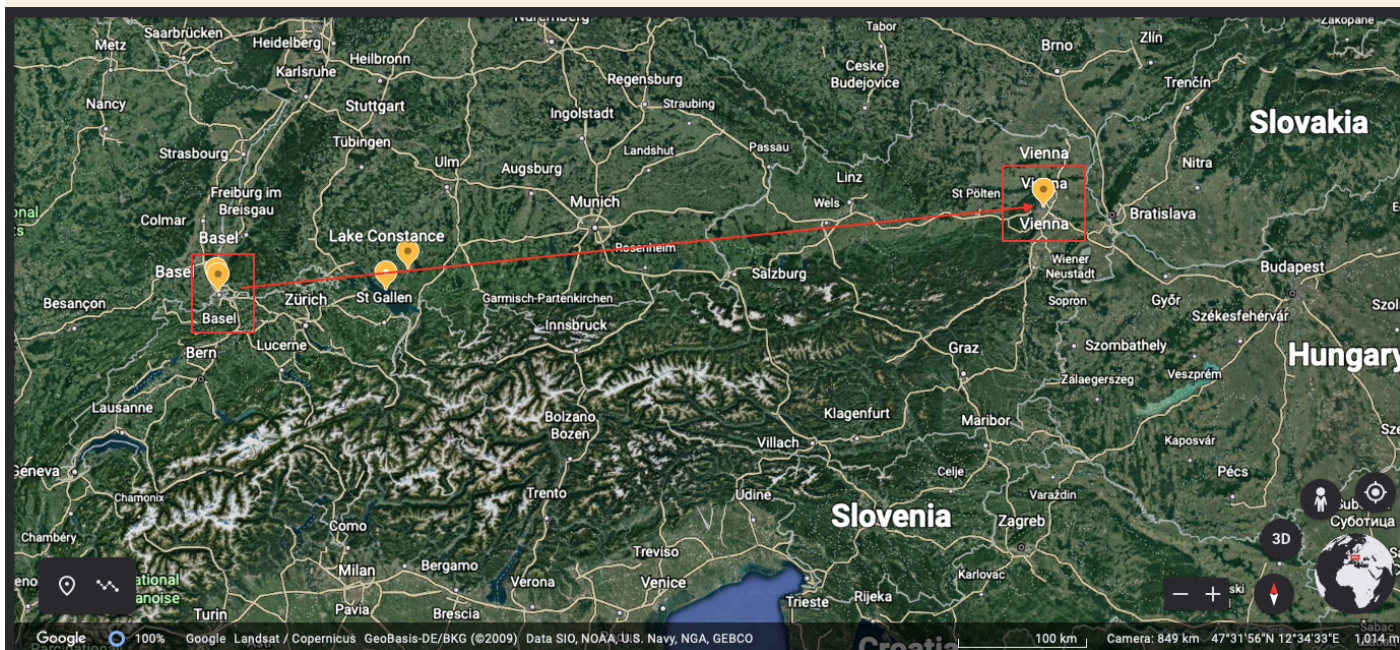
(3) ロスチャイルド

ロスチャイルドの今日の財を成した最初の祖先の名前はアムシェル・ロスチャイルドですが、ロスチャイルド家の祖先の地はスイスのバーゼルです。以下にこの地域の地図を掲げて説明を続け、如何にロスチャイルドが此の地域に縁の深い土地であるかを、自然の地勢を地図で眺めて、父祖の地スイス・バーゼルから、スイス・アルプスの雪解け水が川流れに流れて、ある湖をなし、其処から更に溢れて河下つてドイツでライン河となり、更に河口を目指して、ベルギーの隣のオランダで北海に流れ入るかをみてほしい。



バーゼルにはBIS（国際決済銀行）があり〔註●〕、ライン河の河口に位置するベルギーのブリュッセルにはEUの本部があり、またいふまでもなく、スイスには機密保持の堅い銀行が複数あることはご存知でせう。この地図に見る地勢が、そのままロスチャイルドのヨーロッパに於ける経済的な天下の地政の中央である。さうして、アムシェル・ロスチャイルドは、オーストリア帝国ハプスブルク家の金融と資産

管理に関する専門の臣下でありましたから、尺を当てると、バーゼルからウィーンは直線で650キロメートル、山道の曲線沿ひに測つても750キロで、私のヨーロッパに関する距離感覚では、近い、あるいは遠くはない。



[註●]

日本銀行のウェブサイトには次の説明がある (<https://www.boj.or.jp/announcements/education/oshiete/intl/g05.htm/>)。

「BIS (国際決済銀行) とは何ですか? 教えて! にちぎん

回答

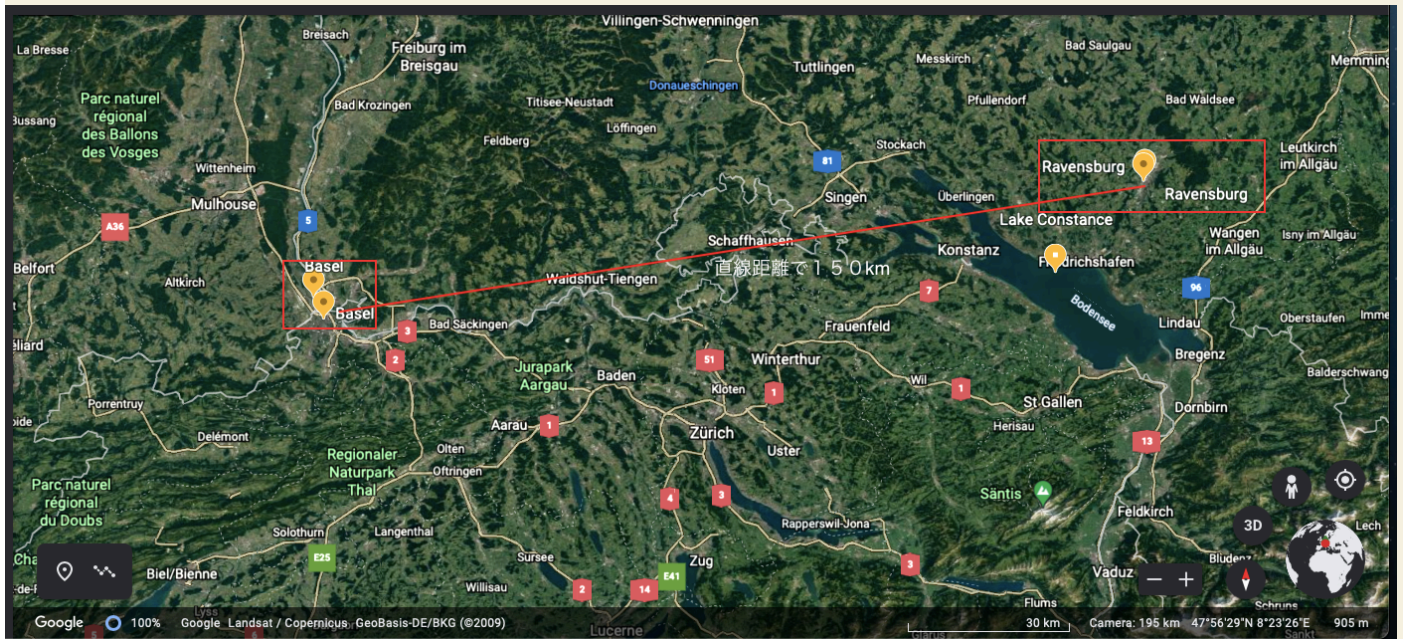
BIS (Bank for International Settlements、国際決済銀行) は、1930年に設立された中央銀行をメンバーとする組織で、スイスのバーゼルに本部があります。ドイツの第1次大戦賠償支払に関する事務を取り扱っていたことが行名の由来ですが、それ以外にも、当初から、中央銀行間の協力促進のための場を提供しているほか、中央銀行からの預金の受入れ等の銀行業務も行っています。

BISには、2021年(令和3年)6月末時点で、わが国を含め63か国・地域の中央銀行が加盟しています。

日本銀行は、1994年(平成6年)9月以降、理事会のメンバーとなっています。」

これを読むと、「日本銀行は、1994年(平成6年)9月以降、理事会のメンバーとなっています。」とあるので、日本が本格的にダボス会議にinclusionされ取り込まれたのは1994年(平成6年)からです。今からでも遅くは全然ないので、ここからも脱退して、日銀法の改正をすべきだといふ私の主張は、現行日本国憲法改正案と相俟つてなされるべき日本国家大修理計画の一部です。これは別途『日本一極国家論』にて提示したい。

さうして、このシュバブの生まれ育つたドイツのRavensburg・ラーフェンスブルクの位置は、ボーデンゼーと云ふ有名なスイスとドイツの共有する湖を挟んで、バーゼルと真向かひにあります。直線距離で150キロです。



このバーゼルから流れ出る河の一連の地勢を読めば、この読みがこのまま、ロスチャイルドの地勢学・地政学的位置のもつスイス国内での権力は、ライン河の上流下流と左面右面に広がってある四通八達してある道路の拡がりに応じて、勢威があるので、ロスチャイルドを介して各国各地の銀行ともつながりがあると考えることは自然です。かういふ時には文学、それもヨーロッパのドイツ文学を学んだ甲斐があると実感します。ひょつとしたら神聖ローマ帝国はEUと名前を変へただけで今も存在してあるのではないか？ 背後に並行してバチカンの法王庁がみながらにして。マルクス主義と同じだ。新しい名前が出てあるわけです。

(4) さて、この出自の怪しいがためにダボス市はシュバブに市民権を、裁判で同氏が係争したにもかかわらず日本でいふ最高裁に当たる裁判所は市民権の付与を否定してある。

(5) しかし、この市民権の付与の否定を受けて、シュバブがダボス市に対してダボスを出てゆく可能性を40から70%と発言してあるので、これは恫喝であると考へられるから、市に対する税金も相当納めてみて、力も行使できる位置にこの会議があると考へられる。次の(6)に関して、スイスのジャーナリストにダボス会議の会計の不明を厳しく批判されてある記事のことがジャーナリストの名前と共にある。尚、シンガポール市場の外国為替市場は、既に東京市場を抜いて大きい規模なので、シュバブがシンガポールに移住するぞと恫喝する根拠はあるのです。シンガポールに居を移すと云ふことは、東京市場の支配を含み、中国共産党とも手を組んで、アジア支配を強化すると云ふ目的のためであることは自明です。これを阻止しなければ、私たちは、なりません。

(6) ダボス会議は事業体だと上で述べたが、会計が不明朗であることが指摘され

てゐる。出支の明細を財務諸表の上に明示してゐない。多分PL（損益計算書）も、といふことは、同類であらうと思はれる。

（7）このダボス会議を創設する以前からも二度ほど団体を設立してゐて、どれも金がかかる設立趣旨に見えるが、出資者が不明である。相当な金蔓を掴んでゐると見える。本人の個人の経歴を読んでも、父母も別に特別な大金持ちではないので、これは第三者の外部の金の提供者がゐると推理できる。本人は頭のいい優秀な（まあ學者ならさうだが、要するに）學者です。

（8）とここまで来れば、ランプのおかげでわかるのは、このシュバブもまたNYCの国際金融資本家左派のユダヤ人の資金提供を受けてゐるのは、ジョージ・ソロスと同類と知られることです。

（9）何故（8）の蓋然性が高いかといへば、このシュバブの一家はユダヤ人で、ナチスの迫害を逃れてドイツを出国した経緯があるからです。そこで、スイスに逃れて住んだとて、上記（3）のことがあるので、市民権の付与はない。といふのが奇妙だ。亡命した文学者たちには市民権は与へられてゐると思ふが（本件未調査。普通に考へてナチスをのがれてきて住んだらさうなるだらう）、さうならないし、何かの折にRavensburgといふ生まれた町に帰つて住むことを一時期にせよ複数回してゐるので、この男に何かユダヤ人としても此の故郷の町に関係する事情があるのではないかと察せられる。

（10）シュバブが何かの賞金で大金を手にしたときに（これは、まあ合法的な出来レースだつたかもしれないが）設立した団体の選んだ若手20代から30代の経営者を選別してこれをshapersと名付けて教育したことが、実にユダヤ人らしい方舟思想であり、選民思想である。私はこのshapers・シェーパーズと云ふ名前から、映画『ブレード・ランナー』に出てくるreplicant・レプリカントをおもひ出しました。まあ、原作はSF小説ですが。それが現実になつた感じがする。体がmoneyと云ふ山吹色の肉で組成されてゐるロボットです。shaperの含意は、安部公房の世界でいふならば、人間そつくりとふ意味です。アメリカ製の連続SF TVドラマで、この異次元から来る侵略者shapersと云ふ名前の贗人間の話がありました。この命名は、英語の世界では、現実感があるのです。日本のshapersは、いふまでもなく、パソナ平蔵以下、財務官僚・経産省官僚・文部省官僚と中央には国民の敵だらけである。極左・共産主義政党と成り果てた自由と民主を標榜してゐる羊頭狗肉政党の与党および野党の政治家についてはいふまでもない。これらshapersといふ偽日本人を如何に追放するかが国民にとつての大問題です。70年以上前の追放劇の丁度正反対の追放撃をこれから開始しなければ、私たちは、なりません。

シェーパーズには、団体と個人と二種類がゐます。個人の例はパソナ平蔵（更に軽蔑する時には蔑称として、鬼平といふ尊称に対して「パソ平」と呼ぶことにする）一つで大体どんな卑しい人間であり公私混同も甚だしいかがお判りでせうから、以下、なかなか実体の掴みにくい団体のシェーパーの例と其処に巢食ふシェーパーズの例を挙げて次章で解説を続けます。

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く（31）

- 5.2.5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？
- 5.2.6 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？
- 5.2.7 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてみているのか

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところどこで何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてみるか
- 5.19 クラとは何か
- 5.22 「日本列島位相史」の最新版を
- 5.23 神武天皇のやまとことばの意味は何か
- 5.24 世界史の中の神武天皇
- 5.2.5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？
- 5.2.7 カミとは何か？：何故カミはカミと呼ばれるのか？
- 5.2.8 鹿島神宮とは何か
- 5.2.9 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか
- 5.2.10 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲
- 5.2.11 日高見国と播磨国の関係：ダイドラボッチ

5.2.5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか（1）：コト・タマ論：理論篇

カミとは何かといふことについては既に十分に話を致しました。そこでは、カミはヒトであり、何故ヒトはカミであり、カミになつたヒトが時間の中でミコトと呼ばれ、天津の世界のカミのミコト（御言）を拝命して担ふヒトが此処で（國津の世界と呼んでも良い）ミコト・モチと呼ばれるのか、即ち神社に参拝して御祓ひを受ければあなたはミコト・持ちであり、（その印にお守りをあなたは社務所で買ふのですし、そのお守りをあなたが身につけてゐる限りあなたはミコト・モチであるといふ）この原理上の構造が其のまま古事記と日本書紀の関係であるといふこと、即ち前者は日本人の形而上学であり、後者は日本人の歴史書の、それぞれが民族の原典であるといふことと其の論理的根拠もまた解説を致しました。このうち、何故古事記が私たちの形而上学であるかといふ理由も、日本語の観点から、その文法的際立つた特徴によつて、即ち私たちの言語である日本語によつてさうであるのだといふことは後述致します。一言でへば、西の伊勢神宮の20年毎の遷宮と、ある時まで行はれて行はれてゐた東の鹿島神宮の20年毎の遷宮の此の一对が何を意味するのかといふことの解説になります。これが日本語の言語構造そのものであること、これをユダヤ人の優れた言語学者、安部公房の高く評価した生成変形文法を打ち立てたチョムスキーによつて、日本語に固有の冗長性・redundancy・リダンダンシーとして明確に指摘されてゐることは、既に『安部公房とチョムスキー（6）』（もぐら通信第78号）の「4.1 チョムスキーの疑問に回答する：日本語の持つ冗長性とは何か」にて既述の通りです〔註1〕。

勿論、チョムスキーは英語の民として当然に、私には理解ができないと率直に語つてゐます。何故なら、チョムスキーは英語といふ主語と述語（正確には目的語）の等価交換の言語ではなく、時間の中で思考するといつても二項対立でものを考へて（これ自体が誤りなのではない）、いずれか一方の極端を選択する世界で、これを否定して生成変形文法といふ語格を変形自在にマゲたりズラしたりす

る文法を創造した当人ですから論理として理解はしても、それが生理的な感覚につながらないとふことなのです。私はこれほど正確に日本語の本質であるトポロジーと呼ぶならトポロジーの論理に、また等価交換のお祓ひの原理に言及した言語学者を知りません。スイスの言語学者ソシュールも優れた言語学者ですが、あの主観・客観の枠組みの中で、シニファン・シニフィエといふ固定した二項対立概念での説明だけでは、日本語の本質を理解し解説することはできません。この対立する二項の価値を概念の内部と外部で等価交換したらどうなるかに想到したら、チョムスキーの言語論に変形します。

[註1]

チョムスキーの日本語の本質である冗長性に関する議論は次の通りです：

「(4) 「例えば入れ子構造が処理にそれほど負荷をかけるならば、なぜ人間言語は入れ子構造を到るところで作り出すのだろうか。日本語の文の埋め込みなどは、入れ子構造であるのみならず(文の内に文を埋め込むのであるから自己埋め込み構造であり、従ってその処理には大きな負荷がかかるが、それならばなぜ日本語の統辞法はそのような処理上不効率きわまりない構造の生成をその中核部分において許し続けているのだろうか。」(同書訳者解説：203ページ)といふ

問ひに対する答へを示さうとするのが、生成文法だといふことなのです。(傍線は原文傍点)

以上の箇所の論点を抜き出すと、次の二つです。

(1) 言語の生成機能とは再帰性のことであるといふ言語の本質にある認識がチョムスキーの言語論の核心にあるといふこと (2) この言語の再帰性はいつも入籠構造を取るといふこと(例へば『カンガルー・ノート』の「存在の存在の存在」といふ3階層の入籠構造のやうに)

この二つのことを踏まへた上で、再度次の疑問を読みますと、

「例えば入れ子構造が処理にそれほど負荷をかけるならば、なぜ人間言語は入れ子構造を到るところで作り出すのだろうか。日本語の文の埋め込みなどは、入れ子構造であるのみならず(文の内に文を埋め込むのであるから自己埋め込み構造であり、従ってその処理には大きな負荷がかかるが、それならばなぜ日本語の統辞法はそのような処理上不効率きわまりない構造の生成をその中核部分において許し続けているのだろうか。」

といふ箇所にあるチョムスキーの疑問は、箇条書きにすると次のやうになります。

(1) 一般

入籠構造が処理にそれほど負荷をかけるならば、なぜ人間言語は入れ子構造を到るところで作り出すのだろうか？

(2) 個別

なぜ日本語の統辞法はそのような処理上不効率きわまりない構造の生成をその中核部分において許し続けているのだろうか？

チョムスキーの疑問は、最初に一般的な問ひを立て、といふことは自分の言語である英語も入籠

構造であるとよく知った上で、次に個別の具体的な、それもチョムスキーの関心を強く惹く例として日本語の例を挙げてみるといふことがわかります。」

以下重要なチョムスキーの発言に関する分析が続きますが、ここでは省略します。

さて、そこで、これまで論ずるといつて未だ論ぜぬままの掲題について回答を、私たちの縄文原理に従ひ解説をして、私たちの此の礼儀作法の基本中の基本を原理的に、即ち古事記と大祓へに語られてゐる宇宙原理に従つて、お話ししたいとおもひます。この場合、古事記と大祓へに語られてゐる宇宙原理とは、いふまでもなく、前者にあつても後者にあつても次の二つです。

- (1) 世界は差異である
- (2) 価値は等価で遍在する

これに加へて、言葉即ちコトのハに関するコト・タマ理論によつても同じことを文法的に解説したい。

問：私たちの神社の御ヤ・シロの前で何故二礼二拍手一礼するのか？

答：上記(1)の縄文原理はトポロジカル(位相幾何学的)な等価交換による富の創出をなすお祓ひの論理と行為でありますから、これを平俗なやまとことばに変換すれば、

(1) 世界、即ちヨ・ゴトは、トキ(時)ならばズレであり、ト(門・空間)またはソラ(空)ならばスキ・マまたはズレである。さうであれば、(1)は、

ヨ・ゴトはズレである

と一言で言ひ切る(定義する)ことができる。

上記(2)を同様に変形すれば、

(2) 等価交換、即ちアタイのヒトシキ取り替へである御ハラヒによつて、マ・コトのアタイが世界にアラハれる、またはアラハになる。

といふことになるでせう。即ち、

御ハラヒとは、アタイのヒトシキ取り替へである

と一言で言ひ切る（定義する）ことができる。

上記（２）を同様に変形すれば、

（２）等価交換、即ちアタイのヒトシキ取り替へである御ハラヒによつて、マ・コトのアタイが世界にアラハれる、またはアラハになる。

といふことになるでせう。即ち、

御ハラヒとは、アタイのヒトシキ取り替へである

といふ訳ですから、「アタイのヒトシキ取り替へである」を御ハラヒ一語に籠めれば、この定義は、次のやうになつて、一言で言ひ切ることができる。

御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨ（世）にアラハれる、またはアラハになる。

以上のことから、やまとことばによる縄文原理の二つの項は次の通りとなる。

（１）ヨ・ゴトはズレである

（２）ヨ・ゴトとは、御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨにアラハれる、またはアラハになるコトである

上記第一項及び第二項は、ご覧の通りに、宇宙とはコトなのであることがよく判ります。このコトにヒトの認識論（見サマ・観サマ）との関係でミれば、ヨ・ゴトと呼ばれることもまた判ります。ヒトのヨのコトです。このコトは人間をも含み、森羅万象（モノ・ゴト）である宇宙を指しますから、コトの有りサマを考へるコトが、ヒトを含めた有りサマ、即ち存在論といふことになります。如何。これが、私たち日本民族の最低1万6500年前からの哲学であり形而上学です。如何。といふことであれば、ヒトといふ言葉を取り除いて、もつと西欧近代哲学の用語でいふ客観性を持たせて言ひ換へれば、

（１）なべてコトはズレである

（２）コトとは、御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨにアラハれる、またはアラハになるコトである

上記（２）の最初のコトと二つ目の最後のコトとは意味が異なる（コト・成る）

ことは既述の通りですが、ここでかく見れば、事実二つのコトの意味はコト（異）なるので、自然なやまところばの此の用法と用例からも、コトが差異であること（これは漢意）、ズレ（これはやまところ）であることが自づと明らかです。ズレは、ユガミ（連続量）とスキ・マ（非連続量）の二つを含みます。

私は私である

といふ文の二つの私を、ヨーロッパの文法学と論理学ではアリストテレス以来、主語を絶対化して述語を支配するといふ理解ですから、二つの文字の意味は同じ意味、同じアタイと決めつけてみるのは、日本語から見れば誤りであつて（ソシュールの文字・意味論、即ちシニフィエ・シニファン論の限界が此れです）、私たちはこれを、

言葉の本質は再帰性にある とか

言葉は再帰性を備へる とか

言語は再帰的である とか

コト・タマは戻つて来る とか

色々についてみるわけです。

再帰的といふことは、自己に戻るといふ意味であり、私ならば私は私に戻つて来る、樹木は樹木に戻つて来る、木霊は木霊に（木霊として）最初の発声されたコト・タマであるコト・タマのハである木霊に谷の向かうから戻つて来る、コト・タマがかくあれば、ヒトのタマもまた毎年お盆にヒトのタマに（タマシヒ）に戻つて来る。私たち日本の国も其の下位に位置する様々な社会もみな、このやうに再帰的にできてゐる。私たちの意識が此のカタ・チ（チはイノチのチ）でできてゐる。言葉を換へますと、私たちのカタ・チはメビウスの環なのであり（二次元）、クラインの壺なのです（三次元）。勿論、私たちが望めば何次元にでも次元を上げてN次元までの世界を創造することができる。これが、お祓ひの世界、ヨ・ゴトの世界、コト・タマの世界、私たちのタマシヒの世界です。漢語を使ふと自づからやまところを表すには限界がありますが、それでもあへて言へば、不生、不死の世界です。古事記の開巻第一行にある通りに、モノ・ゴトに始まりなく終はりなく、そもそも、アメ・ツチの間（スキマ）に全ては最初から存在してゐる。

このやうに考へを巡らせれば、何故、その次にカミが次々と立ち現れて、自づから二重性を備へた、冗長性を豊かにもつた、折り紙を最初に三角にしてから開くと其処に現れる高天原の四辺形のネットワーク構造の立ち現れるかを、あなたは目の当たりに、カミガミの名前とともにするわけです。カミとは何かは既に上述の通り、カミにまつはる用語と概念についても上述の通り、用語同士・概念同士の関係についても上述の通りです。高天原の第一層と第二層のカミガミが何を意味するかにつ

いては、これも既述の通りです。

これらのことの総体を、本居宣長ならば、その文法用語であり且つ論理学用語である、英語のsense、ドイツ語のSinn・ジンにあたるやまと言葉を、然（しか）ある本の意と呼んでみますので、きつと、然ある本の道、自づからの道と呼ぶことを否定しないでありませう。英語のmeaning、ドイツ語のBedeutung・ベドイトゥングを、宣長は、用ひたる意と呼んでみますが、senseは全てのmeaningsを含み、全ての用例は本然の意に含まれますので、これらのことを一言で、自づからの道と呼ぶのではないでせうか。私は本居宣長全集の全てのページに目を通して見るわけではありませんので、あるひは実際にさう呼んでみるかも知れませんが、自づから然（しか）あるミ・チ（ミは美称、チはイノチのチ）といふことから、自然の道、自然道といふ漢語は外（と）つ国の人々には理解され易い、その意味では良い名前であると思ひます。その心は、天地の間に自づから然（しか）あるミ・チが、私たち日本人の命の道であり、命のあり方（存在論）であるといふ心です（魂論）。このやうに理屈を立てることを精神論といふのでありませう。なんとなれば、精神とは批評する力のことだからです。その最たる力は、上述の如く、再帰的な自己批評であり、自己批判です。そうして、私たちは日々誰にいふでもなく、この心の働きを自づから、それ故に無意識に、働かせながら生きてゐる。

5.2.6 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか（2）：：実践篇

(1) ヨ・ゴトはズレである

(2) ヨ・ゴトとは、御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨにアラハれる、またはアラハになるコトである

この縄文原理に基づいて考へてみませう。

社殿での御参りの式次第は次の通りです。

(1) 二礼

(2) 二拍手

(3) 一礼

上記縄文原理の「(1) ヨ・ゴトはズレである」といふ第一項に従つて、参拝の形式が定まつてゐることが判ります。何故なら、

(1) 二礼

二礼とは、身体を前傾させて首（かうべ）を上げることで、初めと終はりをつく

り、その間に隙間といふズレを生み出す行為です。

前掲の角度は普通私たちが日常生活でおこなつてゐるやうに、30度・45度・90度の三つがあつて、もし最後の90度を以て二礼をすれば、垂直方向→水平方向→垂直方向といふ身体の動きのあることにより、これはアメ・ツチの差異を設けることになります。如何。この所作によつて一人のヒト、個人が天地（あめつち）の差異の創造をしてゐる。古事記を神話だといふならいふが良い、いはせてをくが良い、日本の国では一人のヒトが古事記の最初の第一行の所作をなんといふことなくおこなふのです。さうして、カミの御前にて図らずも天地が開闢してゐる。

これを空間のことですから、空間の本質である差異の創造と呼ぶことにします。

（2）二拍手

柏手を打つ時に、一度両手を合はせてから、少しズラします。ズラして余白をつくつてから両手を打つ。柏手と呼ぶのは、手の形が柏の葉っぱに似てゐるからでせうし、この柏の葉は端午の節句の柏餅につかはれますので、何か生命力の旺盛なる樹木のあるコトのハといふことでもあるのでありませう。

ズレた柏の手またはコトの葉の差異を設け、最後にズレを元に戻して、その間に、従ひ、二度音になるのは其の柏手同士のズレの差異の間であり、更に二度打つことによつて一度目と二度目の間・隙間が生まれる、ズレが生まれる。即ち、柏手を打つ「以前」にズレを生み、それ「以後」に二度音を立てて音のズレを生み出す。さうして、最後に柏手といふ片葉のズレを元に戻す。

これは時間のことですから、時間の本質である差異を創造と呼ぶことにします。

（3）一礼

以上（2）と（3）の所作により、参詣者は御祓ひをみづから行ひ、また神前であるが故にカミより御祓ひを受けることにより、即ち「（2）ヨ・ゴトとは、御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨにアラハれる、またはアラハになるコトである」といふ宇宙原理の第二項によつて、あなたの「マ・コトのアタイがヨにアラハれる、またはアラハになる」。即ち、穢れが祓はれて、あなたもヨ・ゴトも清浄になるコトになるのです。如何。従ひ、此処であなたは美・コトになり、御コトになり、ヒトの姿のままイノチである命（みこと）になる。時間あるにも拘らず、あなたは時間の中で、御祓ひによつて穢れを祓ひ、ヒトであり且つミコトである存在、即ちカミになるのです。いつの間にか（超越論）、たれ気づくこともなく（超越論）。これが、御参りー御祓ーヒトーミコトーカミの関係です。

さうして何故一礼かといへば、1といふ数字は全体であり、一つのまとまりであ

り、二つではないからであり、近代西洋哲学の難しい言葉を使へば、このやうにして、あなたは存在になるから1なのであり、それをカミと了解する数字が此の一なのであり、それを身体で示して、再び自己に戻る（再帰する）、即ち水平面の時間の中にヒトにそのまま神的存在となつたまま帰つて来るといふことが体を今度は上記（1）と（2）の所作に続いて天地を開くのではなく反対に、一礼によつて収める・締める・1にするといふ意味、否、しかし此れによつてやはり天地は開かれる。とすれば、二項対立の開閉ではなく、縄文形而上学の超越論による第三の道の創造、これが一礼の意味です。如何。即ち、あなたが一礼して面（をもて）を上げるや、あなたは現存在として時間の中で、時間あるにも拘らず、全体を失ふことなく其のまま存在となつてゐる、ニュートラルになつてゐる、即ちあなたは高天原第一層にゐる「いつの間にか」（超越論）カミである。あるひは、穢れを祓はれて、時間の中では其のままの姿でミコト持ちである。

もし上記の存在とか現存在とかといふ言葉に馴染みがなければ忘れて下さい。骨子は、これらの言葉を取り除いても伝はることと思ひます。私が敢へて此処でこれらの言葉を入れたのは、この150余年、余りに西欧哲学用語に私たちは振り廻されて来たので、こんな無用のことはもはやこれきりにして終はりにしませうといふことです。それ以上のことを実践を以て、彼らのやうに理屈の上だけのことではなく、神社に参拝してゐて、参拝するといふことがそれ以上のことの実現だといふことがいひたいからなのです。これを私たちは昔々の大昔、遅くとも1万6500年前から習合の姿形でおこなつてきたことは縄文土器が示してゐます。これにて、「近代の超克」はいよいよ終りにしたい。「近代的自我」なるものは、虚構の自我であること、何故さうならざるを得なかつたのかは既に『二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック Part I 塔の文学（10）』（もぐら通信第128号）の「7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？」にて論じ、証明した通りです。

5.2.7 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか

さて、かうして、結局ここに来て私たちは最初に戻ることにになります。即ち、一体カミとは何か。ここで「天地初發時の語彙の分類」表（『縄文紀元論 Topologyで日本人を読み解く（4）』（もぐら通信第111号の「4. 日本人の言語宇宙」）に掲載の同表をご覧下さい。

この論の最初のところで、カミといふ概念を、海の民と地（つち）の民の最初の習合のこととして、カは海の民の言葉で夜空の太陽・月・恒星・惑星・その他の星々すべての総称であり、ミは地の民の言葉で命を意味するミ・実・身・御であるといふ仮説を述べ、その後の文脈では、二つ目に、文法的な説明として動詞の囃むの名詞形がカミであるといふ説明をしましたが、ここで再々度、三つ目の仮説を申し述べたい。この仮説は、以上のコト・タマ論に基づく仮説です。即ち、高天原の三階層に基づく、カミ概念の説明です。

高天原の言語規則の一つを此処で思ひ出してほしい。

時間の存在する国津の世界、即ち私たちの普通の世界では、海彦・山彦と呼ばれる男（をのこ）の名前が、天津の世界、即ち高天原にあつては、彦海・彦山と呼ばれるのでした。今ここで思へば、彦海も彦山もともに、海と山であり、これは自然の名前ですから、高天原とは自然の中にあるといふことを此の名前の等価交換は示してゐます。思へば、お相撲さんの四股名または醜名の何々山・何々海・何々川といふ力士のふるさとの自然の名前をつけて呼ぶことが、そのまま高天原の第一層の、すまひするヒトはカミであるといふことを意味してゐることになることが判りますし、その最高の両力士の姿が土俵の中央での俗にいふがつぷり四つの不動の均衡点の出現であり、私たちは相反する力の示す其の不動の美に感動するのです。さうすると、この土俵は注連縄を張り巡らされてゐますので、磐座ではないものの、やはり土を打ち固めたクラであることは其の姿と注連縄の関係をみれば自明です。このやうに四股名と土俵の形象の関係から、力士は高天原の第一層のカミでなければ、第二層のカミだと（土俵の上では）みなすことができます。この具体例を以て海彦・山彦の等価交換がお祓ひなのであり、ヒトはカミになり、カミはヒトであるといふ事実も良くお判りでせう。この事実はまたカミは噛む・カムといふ動詞の名詞形であるといふ私のカミの名前の由来に関する二つ目の仮説の身体性・生理的実感性にも合致してゐる。さて話を戻して、何故この等価交換を知ることができたかといふ理由は、高天原の第一層に其の下層の混沌といふべき状態から、仏教ならば泥の沼の中から蓮の花が垂直に伸びて来るといふ譬喩（ひゆ）を云ふところですが、美まし葦牙ひこぢのカミといふカミが第一層の中心点に伸びて来て接続し、この第一層を二重化し冗長化しredundantにして、この形而上学的世界を確かな揺るぎないものにする働きを働く其の名前の彦遅が、さうだからで、さうであれば、地に海彦・山彦があるのなら、もしこのカミが地に天降ることあれば、名前が変じて等価交換されて、遅彦と呼ばれ、命の男といふ意味の名前にならうといふ解釈から、この言語規則を得たのでした。このカミは、高天原第一層に下から上位接続して、この第一層を二重化し冗長化して、高天原の第一層の安全保障を確かなものにして、命を此の階層に吹き込む働きをしてゐる。さて、さうであれば、次のことがいへないか。

天津の世界：カミ：カ御

国津の世界：ミカ：御カ

国津の世界でのミカの例を挙げれば、たとへば、鹿島神宮の主祭神である、

タケ・ミカ・ツチのカミ

このカミの名前の構成要素のうちのミカが、このカミの由来が、カミであれば高天原由来の、ミカであれば国津のカミの意味ではないのでせうか。それでは、タケとは何かといふことですが、漢字では、武甕槌神と当ててゐますが、私たちは外来の漢字の意味をズラして使ひますので、これはいふまでもなく上述の通りで御祓をするためですし、御祓ひとはズラすこと、差異を設けて（ノリ・ト（門）のト（門）の隙間をみ

よ) 高天原に奏上する大祓へでありますから、漢語の表記はみな先づは当て字だと思ふ位に漢字をいなしてをくのが良いとは以前に述べた通りです。さて、さうだとして、

5.2.8 鹿島神宮とは何か

さて、さうだとして、タケの意味は、猛々しいといふ此のタケもあり、また、武張つたといふ意味の武士の武のタケでも良いでせうし、なにしろ御祓ひとはズラすことありますから、いづれも掛け言葉で多義的な意味をタケの音に持たせることはできる日本語なのです。さうして、しかし、鹿島神宮に実際に足を運んでお参り致しますと、本殿が次のような位置に立つてみて、これが、表参道に対して突き当たりにあるのではなく、その横にあつて、普通の社殿の本殿の配置とは異なるのです。

主祭神はタケ・ミカ・ツチのカミ。そして、拝殿の向かうには一本の巨きな杉の木が立ち、



社殿の前からは見えませんが、その杉の後に鏡石と呼ばれる磐座が置かれてみて、更に其の向かうには鹿島灘の海が広がる此の景色を眺めれば、この社殿が今の表参道に垂直に結果として向きを置かれて其処にゐましますタケ・ミカ・ツチのカミとは、海の民である言葉通りに最初のハツクニ・シラス・スメラ・ミコトが記紀万葉に名前を今に残して伝える有力氏族を率いる大船団をなして鹿島灘の砂浜に上陸した其の場所と其の向かうの海を背景にして、地（つち）の民の此れは間違ひなく神木であらう杉の巨木を一本真ん中に磐座とともに配置した広い場所に向かつて立つ此の本殿にゐましまして、明らかに、海の民と地の民の最初の習合の姿をアラハしてゐます。このアラハレに関し、再度今も生きてゐる縄文字宙原理の二項を見て下さい。殊に第二項を。第一項は、神宮といふ社格であれば、いふまでもなく大祓へによつてコトはズラされ、豊かな余白と余剰といふ豊饒のトヨのト（門）一差異・ズレ・スキマーが生まれる（豊・トヨについては「5.2.8.2 タケ・[ミカ・ツチ]のカミの造語法」にて後述）。この磐座は今ある通俗的な案内書には有りませんが、本来は注連縄が張られてゐた筈であり、張られてゐる筈です。

(1) なべてコトはズレである [コトの差異性]

(2) コトとは、御ハラヒによつて、マ・コトのアタイがヨにアラハれるコト、またはアラハになるコトである [コトの再帰性]

上記（1）の原理第一項のズレとは、歪み（連続量）および隙間（非連続量）の二つのズレを含んでゐることはいふまでもありません。

海の民と地の民の差異性を御祓ひによつて一つに習合することによつて上位の接続を果たし、一つ上の次元が生まれ〔コトの再帰性〕が生まれてゐる。と、理屈を立てて言語化すれば、このやうになるでせう。これが、タケ・ミカ・ツチのカミであるならば、タケ・ミカ・ツチのカミとは、

タケ・〔ミカ・ツチ〕のカミ

といふ意味なのであり、〔ミカ・ツチ〕とは、このやうにミカであるツチ（地）が、または地のカミが、トヨ・葦原瑞穂の国のトヨと等しく、タケといふ冠称を冠して高天原のカミガミのすまふ第二階層のカミとなつたといふことを意味するのが、高天原の言語規則によつて、この名前であると考へられます。従ひ、〔ミカ・ツチ〕とは漢字で書けば、神の土地といふ意味です。さうして実際に、このカミが大神、即ちオホ・カミと呼ばれてゐることから、このカミは西の伊勢神宮の天照大御神のオホ・ミカミと、また豊受大神（実は天照大御神の異称）と同格である、大祓ひを受けた海の民の天津の国の第二層に帰属するカミであることを意味してゐます。さて、それでは、タケとは何かと問へば、やはり、このやうな鹿島灘を本殿の背後にカミとして奉るのであれば、やはり南太平洋諸島に植生する竹の木であると思ふ次第です。勿論、この竹で弓矢を製作したことも十分考へられますので、猛や武の漢字を当てても良いわけですが、その心は竹ではないでせうか。それかあらぬか、鹿嶋の地には竹細工の伝統が残つてゐます。これは箱根と同じです。私事ながら、同じタケ・ミカ・ツチのカミをお祭りする松尾神社といふ神社が福島県の会津にあります。この地にも竹が豊かにあつて、日常生活の中に竹細工が生きてゐるのを知るのは、私事ながら、私の父方の祖父が会津の出で、実に巧みに竹で鳥籠を製作し（売れば商売ができたでせうに）、子供の私には虫籠を竹で作つてくれたことを覚えてゐるからです。あんな丸く細い竹籤（たけひご）を一体どうやつて何百本も作つたものか。竹取物語の竹取の翁といふ名称は、やはり竹をとることを職業としてゐるといふ意味ですから、この物語からも竹と海の民の縁は深いものと思はれます。さうして、かくや姫が月の世界へと、天之御中主カミのゐる高天原の第一層のふるさと、即ち月の世界に帰るといふ物語の結末は、やはり事実であつたのではないでせうか。さうして、その帰船に矢を射掛けて、返せ戻せと叫ぶ、地（つち）の民たちといふ対比の構図の中で。

さて、以上のことから、最後に伊勢神宮と鹿島神宮の大きな違ひ述べますと、次のやうになります。

伊勢神宮は古事記の国産み「以後」を物象化し現実化したヤ・シロであるのに対して、ハツクニ・シラス・スメラ・ミコトの上陸した鹿島灘を前にした鹿島神宮は古事記の国産み「以前」の最初の海（アマ）と地（ツチ）の習合を物象化し現実化したヤ・シロである。

5.2.8.1 日本人の最古の本当のふるさとは何処にあるか？

このやうに考へて来ますと、

- (1) 日本人の最古の本当のふるさとには竹が群れてゐる其のやうな島々であるといふことになります。そして、
- (2) 素潜りで潜つて至ることのできる海底には伊勢神宮の内宮・外宮それぞれの外部にある月読社の境内に敷かれてあるやうな白い玉砂利が自然のままに敷かれてゐる。
- (3) 其処は火山帯にあつて土器を製作してゐる。
- (4) 近隣にカルデラの穴凹がある。
- (5) 海辺には海亀の産卵にやつて来る海辺がある（鹿嶋の海辺は確かにさう）。
- (6) 少し遠くへ船で乗り出せば、潮の八の字に交差する豊かな漁場が（多分あちこちに）ある。
- (7) 島と島を往来するのに竹で作つたか他のものと組み合わせたかして製作したアマ（海）の浮橋がある。ネットで検索できる南洋諸島の民の浮橋は本当に海の上に浮いてゐる。アマの浮橋です。これを垂直方向に立てるとアメの浮橋。
- (8) 漁具の網にタマ状の木の实か何かを網の周りに付けて網を浮かせて漁をする民のゐるところである（今の日本の海の民はガラス玉を使つてゐる）。これらのことに加へて、
- (9) 次の章に述べる名詞の造語法を話す言語を有する海の民である。さうして、
- (10) この海の民の住まひする位置は、日本列島に来るためには北極星が見えなければならず、南太平洋の赤道0度の緯度以北にあつて、天之常立神、即ち北極星の見える位置にある島々でなければならない。更に、
- (11) 遺伝子の上での共通があれば、いふことがないでせう。特に「Y染色体のDNAによる分類をすると、日本人と地中海の人々が、何と同じDE系統になる、という」エーゲ海の民と同じ染色体を持つ南太平洋の海の民の住む場所（「5.16.4 八の音義は何を意味するか（4） G 日本書紀にある「神武天皇より数へて」「今に一百七十九万二千四百七十余歳」とある皇統の長さは何を意味するか（2）」（もぐら通信第131号、32ページ）を参照のこと）

(12) もし伊勢神宮の遷宮といふ形式の冗長性・二重性を備へた神聖なる建物の複製と反復をする海の民の住む島があれば其処

5.2.8.2 タケ・[ミカ・ツチ]のカミの造語法

タケ・[ミカ・ツチ]のカミ に話を戻しますと、このタケといひ、トヨといふ語を、私は以前の章でアングロサクソン語族の文法用語を借りて暫定的に前綴り・prefixとしましたが、彼らの言葉のprefixには此の働きはありませんので、やはり、此処では上のやうに冠称と呼びましたので(また冠辞では賀茂真淵の『冠辞考』の用語と混乱を来たしますので)、これもまた適切な言葉が思ひつきませんので、これも暫定で冠称と呼んで措きます。冠と私が選んだ心は、その冠称の後に続く名前と事物を荘厳する働きをする(仏教)からであり、褒め称へ寿(ことほ)ぐ働きをする(自然道・神道)からです。さうして、その国津の世界にある其れを高天原の第二層に引き上げる力を発揮する。この辞をなんといふべきか。このやうに考へてくると、褒辞とか、寿辞とでもいふことにならうか。仮に、この名称で論を進めます。

私が此処で連想するのは、日本の民謡の歌ひ出しです。こんな民謡の出だしはないと思ひますが、たとへば、トヨーとか、タケーとかいふとともに始まる、一種の自然に対する掛け言葉のことです。江差追分ならば、カモメであり、つまりカモメ・メーと出る。このカモメといふ調子で出たら、鷗といふ鳥は、天津鳥船の水先案内人である天津鳥になるのではあるまいかといふ着想です。国津の鷗が、この声調とともに鷗は高天原の第二層のあの、国之常立神の立つ駿河湾を望む美しい景色の中、豊かな雲の下を飛ぶ《カモメ》に変位し、天津鳥に変形する、transformするといふことです。ドイツ語の音楽の世界ならば、Auftakt・アウフタクトといふところでは、本曲の開始の直前の一呼吸です。同じ呼吸が、この一瞬の沈黙と余白が、トヨやタケの出だしにもあると私は感じる。如何。あるひは、単に呼吸であるハアーといふ出だしでも良いのです。コト挙げ前の御祓ひの掛け声です。

江差追分の出だしを聞いて下さい：<https://www.youtube.com/watch?v=ZDjRQnHBMgk>

また、鹿島神宮前駅の観光案内の「祭頭祭」と題したパンフレットには次のやうな「鹿嶋神宮祭頭歌」といふ民謡の歌が掲載されてゐます。この歌から判ることは引用の後に箇条書きに整理します。

いやーほえ かしま とよたけとほよと ほしいやー
 「弥発声鹿島の豊竹豊穂良豊穂弥
 いやーとほよとや おしやらくとほよとほしいやーほえ
 礼豊穂善豊弥アアヤレンソラ御社楽豊穂良穂弥発生

イヤーホエ鹿島の豊竹トホヨトヤ
 イヤートホヨトヤア>ヤレンソラ
 御社楽目出度いイヤーホエ
 イヤーホエ若者揃ふたよトホヨトヤ
 イヤートホヨトヤア>ヤレンソラ
 太鼓に合わせてイヤーホエ

 イヤーホエ宮山参りはトホヨトヤ
 イヤートホヨトヤア>ヤレンソラ
 氏子の喜びイヤーホエ
 イヤーホエ田作り人等はトホヨトヤ
 イヤートホヨトヤア>ヤレンソラ
みくに いしづえ
 御国の礎イヤーホエ
おおみよ ゆた
 イヤーホエ大御代豊かにトホヨトヤ
 イヤートホヨトヤア>ヤレンソラ
 五穀は豊穰だイヤーホエ 」

(1) 最初の漢字の多い二行が掛け声になつてゐる。二行目の「アアヤレンソラ」はソーラン節の出だしと同じですから、これは太古・古代からの海といふ自然への呼びかけなのだと思います。縄文語とは日本語のことです。

(2) この「アアヤレンソラ」の両側にある「イヤートホヨトヤ」とは「イヤー」が地（つち）の民の自然への掛け声または自然のカミへの呼び出しの声です。

「トホヨトヤ」とは、豊かな稲穂のことですから、かうやつて、私たちは歌謡を通じて自然に呼びかけ、カミを呼び出して、実りある稲穂のあらむことを祈つたことになります。これに対して、

(3) この歌の第一行は、海の民の言葉であると考へられる「鹿島の豊竹」が「イヤー」といふ掛け声とともに、この豊・トヨといふ寿辞の前言葉とともに歌はれてゐて、竹の豊かな土地であることが判ります。足を運び、散策しますと、鹿島は実際竹の多い地であり、竹細工の伝統が今も生きてゐます。

(4) このやうに読んで参りますと、段々と掛け声の意味が解るやうになつて来て、「イヤーホエ」の「イヤー」は上記の呼び出し、次に呼び出される自然のカミがホ・穂であつて、この穂・ホのカミは「エ」即ち良いといふ意味でありませう。続ければ、「それは「エエ」と今でも普段使つてゐる言葉です。

(5) 土地の人に聞いたところでは、鹿島の浜に住む人の言葉は理解ができないさうですから、この浜言葉が海を航海して大阪あたりに上陸して関西に広がつたのかも知れません。江戸の佃島の住人は、大阪の漁民でしたから、この港の東西の交流を考へますと、この推論は当たつてゐるのではないでせうか。そして鹿島の浜言葉を民俗学的に研究すれば、一層の縄文語の復元もできませう。さて、

(6) 「ア>ヤレンソラ」とは何かといへば、さうすると最初の「ア>」はカミ

の呼び出しの声、声調を下に下げて「アゝ」といへば、否定的な溜息の声になりますが、江差追分の出だしのやうに調子を上げて発声すれば、海のカミを呼び出すために空充（み）つ大海原にむかつて声を張り上げる其のやうな「アゝ」になります。さうであれば、その後の「ヤレンソラ」は、ソーラン節の「ヤーレンソーラン」といふ繰り返しの文句をみると、これは「やれ、ソラ」といふ短音の言葉の長音版で、これは今でも私たちの口にする、相手に何かをするやうに唆（そそのか）す言葉であり、掛け声です。人間を相手でもよく、闘鶏でも闘犬でも、その他蛙合戦でもなんでも、どんな勝負事でも合戦でもよい。これが鹿嶋神宮の祭頭祭の歌詞から知られるソーラン節の「ヤーレンソーラン」の意味だといふことになります。さうして、この掛け声が海の民の掛け声だとするならば、二つの船の間に渡した網を双方で曳（ひ）きながら「ヤーレンソーラン」といふ掛け声を掛け合ひ、助け合ひ、綱の曳き具合を競ひながら、漁（すなど）りをしたといふことになります。この、豊漁の魚の跳ね飛ぶ網の縁（へり）には、今はガラス玉ですが当時は何を軽い海に浮かぶタマとしたのか、いづれにせよ漁（すなど）りのためのコト・タマが結衣付けられてみて、網を海に容易に浮かべて、海の民の収穫を助けてゐる其のための掛け声が「ヤーレンソーラン」である。

さて、海（あま）より天（あめ）に目を転ずれば、高天原の第一層に下から上位接続するカミであるウマシ・アシカビ・ヒコヂのカミの御名のウマシもまた同じ言挙げ前のお祓ひの美称といふことになり、これが其のまま呼び出しの声となります。そのほか、第一層のアメのミナカ・ヌシのカミ、カミ・ムスビのカミ、アメのトコタチのカミの、それぞれのアメの一、カミ一もまた民謡のやうに発声すれば、同様と考へますが、如何。これは天津神の例ですが、他方国津神の世界にあつても、大祓へにあるやうな、たとへばハヤ・アキツ・ヒメのハヤ（速い）もまた同様ですし、そのたのみコトの御名もまた、この例にあたるのであれば、此処まで来れば同様と考へます。

かくして、結論をいへば、タケ・[ミカ・ツチ]のカミのタケとは竹であり、同時に漢字の武によつて表されてゐるただけしいの猛・タケであり、何故なら竹の木は短い時間の間に急成長する生命力の旺盛な海の民の木であるからです。これに対して地（つち）の民の木は杉の木であつて、これは成長すれば見上げる山のやうな高さの木であることもさることながら、やはり其の名前の由来が直（す）ぐ木であつて、その五十音表上での規則的な縮約がス・木（スギ）である此の天（アメ）に垂直に伸びて立つ杉の木の姿を地の民は愛でたのだといふことです。そして、この木の伸びやかな垂直性は、海の民のアメ（天）とアマ（海）の天地の間の垂直の差異に地の上で其のまま重なつて御神体となることができた。

タケ・[ミカ・ツチ]のカミを御祭神とする本殿を巡る考察は、境内に足を踏み入れて知った次の事実の説明をして、この章を終はりにします。

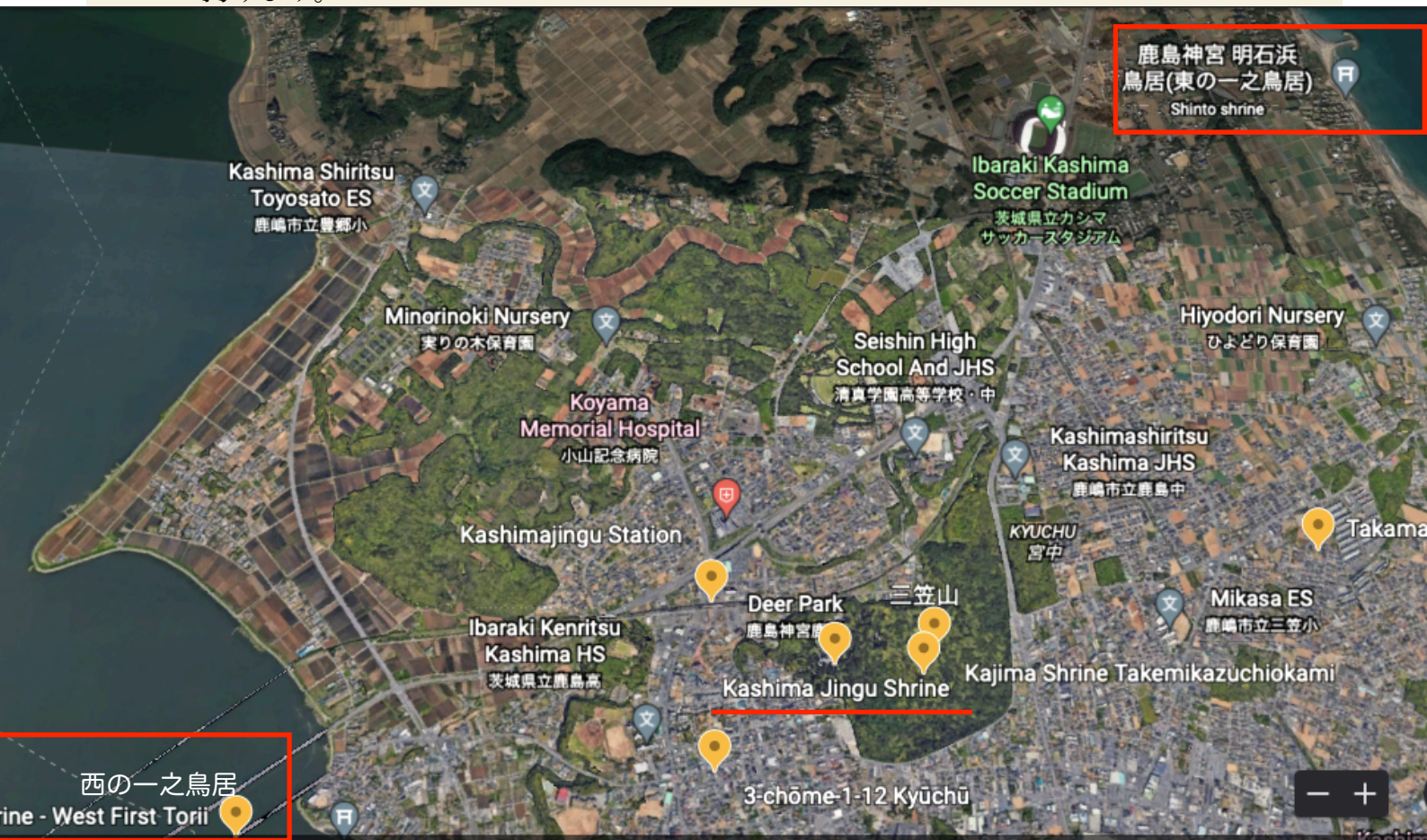
本殿への参道あり、奥の院または奥宮への参道あり、本殿前で交差してゐることに習合の意あり。八の意義、即ち《ヤ》の音義の物象化、現実化の交差点です。しかし、奥の院または奥宮と呼ばれる建物は江戸時代の創建、元来奥宮の本殿だけのある境内であつた。と考へられます。さう考へると、鳥居をくぐつて杉林の奥に至る一本道は此れを行けば、誠に神韻縹渺たるものがある。このやうに考へて、案内の絵図を見れば、奥の院の向かう、鹿島灘との間の此の小高い山の上に要石と呼ばれる石が置いてあつて、これが最初の海の民と地(つち)の民の習合のシルシ・標・印でありませう。この構図の意味するところは、新旧どちらを本殿としても変はりません。案内書の類であつたか、鹿島神宮のウェブ・サイトの記述でありましたか、元々あつた鹿島神宮の二十年ごとの遷宮が、この江戸時代の新しい今本殿と呼ばれてゐる社殿の寄進と共に途絶えたとありますので、この二十一世紀に此の遷宮をやはり復活させて、奥の院を本殿に戻し、このヤ・シロの遷宮を再び二十年ごとに再帰さすべきであると私は思ひます。伊勢神宮の遷宮も、この鹿島神宮の遷宮があつての、遷宮でありませうから、同じ遷宮であれば其の式の次第と要領は伊勢神宮より持つて来て遷宮再興が可能です。これで、日本の東西の神宮の均衡が蘇生し、長い眠りから何かが覚醒することとせう。私が此のヤ・シロを尋ねた今は、奥の院は其の楼門も含めて補修中であつて、直接目にするこのできないのは残念でした。

神武元年、西暦紀元前660年の創建でありますから、このヤ・シロの創建を此処カ・シマ(神の島といふ意味)の地に命じた神武天皇といふヤマト朝廷の始祖であるハツクニ・シラス・スメラ・ミコトは、国産み「以前」の、本当に最初の、大倭日高見国を建国したハツクニ・シラス・スメラ・ミコトが鹿島の海から上陸したことを知つてゐたといふことを意味してゐます。これら幾代ものスメラ・ミコトの総体を体現した象徴の名前がスメラ・ミコトであり(このことについては最後の章の「日本語言語論:コト・タマとは何か」の章で論じます)、奈良の地でヤマ・ト(山門)が海亀歴から四季歴に変はつて一般名詞から固有名詞になつて以来常に漢意で呼ぶ天皇です。それ故に、日本民族の三大原典の一つといふべき歴史書『日本書紀』の巻三の冒頭「神日本磐余彦天皇(かむやまといはれひこのすめらみこと)神武天皇」の条の出だしによつて、「すめら・ミコトである海の民の統(す)めるミコト持ちとして(御言持ち且つ御事持ちとして)国を建てて即位された其の90万年前の「天祖(あまつみおや)の降跡(ふりくだ)りましてより」とある歴史的事実にある「天祖(あまつみおや)」以来のスメラ・ミコトの歴史と其の高度に高度なる象徴性を、神武天皇は知つてゐたといふことが判ります(「G日本書紀にある「神武天皇より数へて」「今に一百七十九万二千四百七十余歳」とある皇統の長さは何を意味するか(2)」もぐら通信第131号、35ページ)。

5.2.6 鹿島神宮とは何か：鹿島神宮の位置と東西の鳥居の関係について

西と東に、それぞれの一の鳥居が海の中に立つてゐるといふことは、鹿島神宮は二つのト（門）の間に、隙間に存在してゐるヤ・シロであるといふことになります。西の一の鳥居は、今北浦と呼ばれる湖（うみ）に立ち、東の一の鳥居は、神宮の東の明石浜の前の海の中に立つてゐる。どうも、これが本来の鳥居の立ち位置であつて、このやうな様式の鳥居は広島の大島神社だけが有名ですが、普通に本来は鳥居は海の中、浜辺の前に立つて陸地へと、内陸のヤ・シロへと続く起点になるものとみえます。

空中からの平面図をGoogle Earthで見ますと、さうして私が実地に鹿島神宮の境内に足を入れて境内を拝見しましたころ、表参道は西の一の鳥居からやつて来て、今も表参道である道を真つ直ぐ神宮の最初の鳥居に至り、境内に入つて此の道は更に奥深く、その鬱蒼たる杉の林の中を奥の院のある奥の方へと至る神韻縹渺たる此の道が、西の一の鳥居と本殿（奥の院）の関係または接続であるといふことが、この平面の地図でわかります。此れに対して、東の海に立つ一の鳥居は、さうではなく、鳥居の前の浜に海から上がつて神宮に向かふとしても、この道路の在り方を見ますと、西の鳥居からの道のやうに明確な道が残つてゐるわけではなく、とはいへ鳥居があつて神宮に至らないわけはありませんから其の目で地図を読みますと、今のサッカー競技場の鹿島スタジアムの東横を通つて、道は曲線を描いて、西の方面とは逆に、東の方面から直かに奥の院の至近の杉の森の入口に至ることが看取できます。以上の説明をお読みになつた上で、この地図を掲げます。



実は私は此の章を鹿嶋の地で書いてみますが、面白いのは高天原といふ地名のあることで、このGoogle Earthだと高天・が・原と呼んでみますが、これが土地の人の呼び名ならば、これが地（つち）の方の高天原に違ひない。既に松の枝と松が枝の、ノとガの違ひについては大祓ひのメビウスの環であることを説明した箇所でも説明したところですが、それを思ひ出してもらへば、松の枝よりも松が枝の方が、松を思ふヒトに松は近く（内部）、さうであれば、高天が原は、高天の原よりもヒトに日常的に親しく近いといふ感じがあります。といふことは、東の一の鳥居を東に置いて、太陽の登り照る海の向かうは遙か彼方の南太平洋諸島の日本人のふるさとまでが高・天の原（鹿嶋の地に対して外部）、他方、この鳥居のこちら側の陸地の、二つの東西の鳥居の間・隙間・余白にある土地は高・天が原といふ海と二重写しになつてゐる、太古・古代の私たちの、まあ、あへて此の言葉を用ひれば其のやうな、分類になつてゐることが判ります。これが、高天の原と高天が原の違ひです。天はアマですので海のことです。私は「いつの間にか」（超越論）高天が原に住んでゐるのでした。

私は鹿嶋神宮から間違つたバスに乗つて、さうは思はずに昨日この高天が原を通りましたが、なんとまあ、第二高天原住宅といふバス停があるのでした。地元の不動産屋が高天が原を宅地開拓して、ガス管・水道管・電気の線を引き、家を建てて住宅街を造成して売り出したものに違ひない。第二とあるからには最初の分譲は好調な売れ行きで、ここにバス停ができるほどの第二住宅が高天が原に生まれた。確かに古事記には、高天が原に不動産屋が住宅を建ててはならぬとは書いてゐないが、少しばかり複雑な気持ちがないでもありません。せめて、高天原の上には何も置かず、高天が原第二住宅位にして置いて欲しかつた。

何がいひたいかといへば、この地に立つと、確かにここは高天が原であるといふことが自然に、文字通りに自然に実感されるからです。少し内側に入るとはいへ、東の空を見れば、それは高天の原の海原の海の上の雲だと知れる。これが夜ならば、天の原で、そこには天の河が美しく流れてゐる。海の上の夜景である。天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出し月かも。といふ藤原仲麻呂の歌は、月の形を見て其の潮の干満から出帆の日を決め、出発の日にか其の前には春日大社にお参りをして船旅の一路平安を祈り、難波津を離れる時は夜であつて、「天の原ふりさけ見」た時の同じ三笠山の月を海の上から眺めた時の感慨を歌つたものだと知ることができます（「天の原ふりさけ見」とは船に廻した注連縄を切つて解き放つことによる御祓ひをすることだ—天照大御神の天の岩戸の逸話をみよ—といふ私の海亀の産卵の時の船を出しての大祓ひの仮説は既述の通り）。上に掲げた地図の鹿嶋神宮の森の中に三笠山がありますが、これは奈良の春日大社の三笠山に正確に照応してゐるものでありませう。さて、そして「天の原」はアメではなく、アマの原ですから、これは海（アマ）に違ひなく、さうであれば、アマ照らす大御神は確かに太平洋の海原を昼間に照らす大きなカミであることが、この地に立ちますと、理屈抜きに実感されます。大神（おほカミ）と

いふ名前は、確かにこれまで述べてきたやうに大祓ひをしてカミになられたヒトであるといふこともありませうが、この鹿嶋の海原の自然の前に立つと、これが確かにオホ・カミであり大神である、海と空に立つ大御神であるといふ実感を抱き、この実感が自然そのものであることに気づきます。自然はカミである。これが太古・古代からの、古来の、私たち日本人の世界です。都会に長くみると野生を失ひ、気品も失ふ。社交術によつて生まれるヒトとしての気品もありませうが、あなたには一度鹿嶋の浜辺に立つて潮風に吹かれながら太平洋の大海原を見ることをおすすめします。レヴィ・ストロースではありませんが、私の野生のすゝめ、野生の思考のすゝめです。何がほしいかといひますと、要するに、

古事記に書いてあることはみな事実であつて、天照大御神は確かに此処に住まひしてゐたといふことであり、ここは気候温暖にして地味豊かな土地であり、今と変はらぬ田畑があつて米や大根その他の野菜がつくられてゐて、古事記にある素戔鳴のミコトが乱暴狼藉をして畦（あぜ）を壊したとあれば其処には既に水田があつたことを意味してゐます。確かに武甕槌大神も此処にゐたといふことであり、今も鹿嶋神宮に鎮座ましますといふことです。

話の順序が逆になりますが、かうしてみると民謡といふ民の歌謡にあるやうに、タカ・天原のタカとは、トヨ・葦原瑞穂の国のトヨと同じく、その後にある名詞（かうしてみるとほとんどが自然の事物であり、従ひカミです）の格を太平洋の南の諸島のふるさとの海の天の原に高く上げ、褒め称へ、仏教用語ならば荘厳して、語弊を恐れずに此れも卑俗ないひ方をしてあなたに伝えれば縁起を担いで、言挙げする言葉だといふことが、一層実感としてよく判ります。ですから、鹿嶋神宮のウェブサイトにある「鹿嶋神宮の御祭神「武甕槌大神」は、神代の昔、天照大御神の命を受けて香取神宮の御祭神である経津主大神と共に出雲の国に天降り、大国主命と話し合つて国譲りの交渉を成就し、日本の建国に挺身されました。」とあるのは、これは事実でありませう。確かに事実として天照大御神は武甕槌大神と経津主大神を出雲国に派遣して、大国主のミコトと会ふやう命じたに違ひないのです。どのやうに二神は出雲国至つたかといへば、それは日本海側から船に乗つたか、鹿嶋の港からやはり船に乗つて太平洋岸添ひに大阪に至つて船を降りて徒歩か馬で行つたのではないかと推測します。今の群馬県に県名の通りに馬の牧場があつたので、その馬を船に載せたでせうか。それとも、鹿嶋の鹿が陸路で奈良に引きつられて行つたやうに、陸路を馬でいつたものか。いや、やはり、鹿嶋から船で難波津か今の岡山県のどこかの港にゆき、其処から歩いたと考へるのが一番良いと私は思ふ。如何。

5.2.7 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか

何事も初心に立ち帰り、その出生（神道）と由緒を、縁起（仏教）と由来を尋ねるのが良い。

イエスは荒野に入って（或いは都市から出て）ひとり全く絶対的な孤独の時間と空間（次元）を経験した。マホメットも、同様である。マホメットは「定期的にヒラという名の山の洞窟に身を潜め、数日間の祈りの夜を過ごした。」（<https://ja.wikipedia.org/wiki/ムハンマド・イブン=アブドゥッラーフ>）。釈迦は少し異なるが、ガヤー村の菩提樹の下に一人になり、座禅を組んで、孤独の、孤絶した世界に一定の期間求めて入った。

これらの孤絶と孤独を求める行為は、宗教の生まれるための素地であった。宗教とはそのような孤独の人間から生まれた。或いは、社会と一旦は隔絶して、私たちの仏教的な言ひ方をすれば縁を切つて、宇宙の真理を求めた人間から生まれた。

しかし、日本の神道には全くそのようなことがないので、開祖もみなければ、従ひ、経典も聖典もない。上のような人間から生まれた教を宗教、religionというのであれば、神道は宗教では全くないと、私たちは、安心して、考へることができる。

さて、宗教に対して、哲学は汎神論的な世界の、多神教の世界の、都市の学問である。ソクラテスがデルフォイの神の神託を受けてアテネに暮らして知と無知を探究したように。以後、今日に至るまでPhilosophie・フィロゾフィーは、そうである。しかし、これに対して日本の哲学は都市の学問ではない。それは、自然の学問である。前者に都市の学問といふ意味が都市で生まれた学問、即ち都市に住まふ人間同士の意思疎通の会話または対話の中から生まれたとしたら、後者の自然の学問といふ意味は同様に自然の中から、自然と人間の会話または対話の中から生まれたということに大きな違ひが、同じユーラシア大陸の極西と極東の島々から、半島から、岬から、港のある土地から生まれたといつても、そこが異なる。これが、古代ギリシャ哲学と古代日本哲学の相違である（『サンチョ・パンサを求めて（14）：ソクラテスは何故哲学者か』（もぐら通信第139号）及び『サンチョ・パンサを求めて（15）：ソクラテスは何故哲学者か（2）II ソクラテスの対話の様式』（もぐら通信第140号）を参照）。後者については、既にその形象論の観点からも縄文土器を観察すれば（『縄文紀元論』）、1万6500年前からの自然学であるが故に、古代のといふよりは、古代の時代の始まりが文字で記録を残し始めたことを起算点にすれば7世紀からの、記紀万葉の生まれてからの話であつて、実際には7世紀「以前」の遙か昔の太古に生まれた自然の哲学、即ち自然学と呼ばれ得る太古からの体系的な科学であつた。体系的な語彙の体系を備へてゐるのであるから、科学・scienceと呼んでも一向に差

し支へがないと私は考へる。例によつて例のごとく、我が愛用せるWebster onlineによる科学の定義は下記のものであり〔註1〕、私たちの自然学、または道徳や徳目といふ観点からは、同じ自然学といふ学問を自然道と呼ぶことは些かの問題もないと思はれる。何故なら私たちは自然に神意を読み、神慮を知るからである。さう、片葉・片葉のコトの葉の道があれば、自づからの自然の道もあるといふことです。如何。そして、もしあなたがさう呼びたければ、この自然道を縄文科学と呼ぶことができます。更にこの『縄文紀元論』を思ひ出せば、この縄文科学は国学I及び国学IIの二つの国学より成り立ち、前者は本居宣長の打ち立てたモノ学びの学であるのに対して、後者は私たちが明治維新以来苦勞を重ねて苦心惨憺、大勢の命を失つたことに報いんとその果てに遂に至つたコト学びの学であり、私たちの太古・古代の心を遙かに思ひ出して成つたミコト持ちに関する学である。この学問と近代西欧諸科学との対応関係は既に一覧表を以て示した通りです（『縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（12）』（もぐら通信第129号）の「F 国学とLiberal Artsの統一と普遍学〔universal science〕としての日本学

〔Japanology〕の成立」）。さう、あなたはミコト持ちなのです。かくして、私たちの自然の道は、ヒトをその一部として含み、太古・古代・中世・近世・近代と呼びたければ呼ぶが良い、どんな時代区分をしようが無関係に一つの道が途絶えることなく通じてゐる。全国八万余社を数へるヤ・シロの数がこのことを実証的にも歴史的にも証明をしてゐます。

以上のことから、かくして、神道とは自然哲学であり、自然道であり、後者の自然道を道徳と徳目の観点から観れば、宗教的なものであり、開祖も経典も聖典もないが故に最も一神教のいふ宗教に似たものに、後者即ち自然道といふミチの道徳と徳目の面に於いて、神道は、さうなつてゐる。宇宙を創造した唯一絶対神を存在しないにも拘らず。私たちは創造神を必要としないので、この点に於いて神道は西欧・米の云ふ宗教では全然ない。何故なら、古事記の開巻第一行によれば、私たちは自然の一部として、天地の間にはじめもなく終はりもなく「そもそも、最初から、既にして」（以上超越論）、従ひ生死の別なく存在してゐるからである。

〔註1〕

Essential Meaning of **science** [科学とは何か]

1: **knowledge about or study of the natural world based on facts learned through experiments and observation** [この英語の定義のどこに中臣の大祓と古事記を否定する要素があらうか]

modern science

the laws of science

See More Examples

2: a particular area of scientific study (such as biology, physics, or chemistry) : a particular branch of science

Students are required to take two sciences.

students majoring in a science

3: a subject that is formally studied in a college, university, etc.

the science of linguistics

Full Definition of **science** [科学の総合的な定義]

1: the state of knowing : knowledge as distinguished from ignorance or misunderstanding
misunderstanding

2 a: **a department of systematized knowledge as an object of study** [これは大学で教へる神道学に相当する一同一では決してない一学問のことではないのか]

the science of theology

b: something (such as a sport or technique) that may be studied or learned like
systematized knowledge

have it down to a science

3 a: knowledge or a system of knowledge covering general truths or the operation of
general laws especially as obtained and tested through scientific method

b: **such knowledge or such a system of knowledge concerned with the physical world and
its phenomena : NATURAL SCIENCE** [これは神社でのお祓ひのことを英語で言つてゐるだけな
のではないのか]

4: **a system or method reconciling practical ends with scientific laws**
cooking is both a science and an art [これは精進料理の定義ではないのか]

5 capitalized : CHRISTIAN SCIENCE

Synonyms for science

Synonyms

knowledge, lore, wisdom

First Known Use of science

14th century, in the meaning defined at sense 1 [scienceの歴史上の文字の初出が14世紀と云ふことは、十三世紀がキリスト教の成熟期でありますから、やはり科学はキリスト教の成熟から生まれたといふことを此の記述は示してゐる]

【Google翻訳】

科学の本質的な意味

1: 実験や観察を通じて学んだ事実に基づく自然界に関する知識や研究

現代科学

科学の法則

2: 科学研究の特定の分野 (生物学、物理学、化学など) : 科学の特定の分野

学生は2つの科学をとる必要があります。

科学を専攻する学生

3: 大学などで正式に勉強している科目。

言語学の科学

科学の完全な定義

1: 知識の状態: 無知や誤解と区別される知識

2 a: 研究対象としての体系化された知識の部門

神学の科学

b: 体系化された知識のように研究または学習される可能性のあるもの (スポーツやテクニクなど)

科学に合はせてそれを持っている

3

a：特に科学的方法によって取得およびテストされた、一般的な真実または一般的な法律の運用をカバーする知識または知識のシステム

b：そのような知識または物理的な世界とその現象に関係するそのような知識のシステム：自然科学

4：実用的な目的と科学法則を調和させるシステムまたは方法

料理は科学であり芸術でもあります

5 大文字：クリスチャンサイエンス

科学の同義語

同義語

知識、伝承、知恵

科学の最初の既知の使用の時期

14世紀、[上記「科学の完全な定義」の] 1で定義された意味で最初に使用された

最後に、これまで揭示を忘れてゐたかも知れないので、国学Iの成し遂げた日本語に関する言語学と言語理論が一体どのやうに、そしてどのやうな西欧近代の言語学または言語理論と対応してゐるのかを一覧表として掲げます。18世紀に既に国学が此の成果を達成してゐて、西欧近代諸国に比べてここでも250年我が国の学問が、文明論の水準で先行してゐることは明らかです。同時代の18世紀の江戸時代に大阪の米穀先物信・用指数取引の仕組みが完成してゐたことは別途『Mole Hole Letter (69)：超越論II(第十三回)』（もぐら通信第147号）にてお伝えした通りです。経済体制が此のやうに250年の先進的な状態であれば、政治体制も然りであり、さうであれば其の基礎を成す文化に於いて本居宣長の学問の十八世紀が西欧の学問の250年に先行してゐないことがあろうか、とあれば、同時代の儒家たちの学問もまた然り、絵画に於いても浮世絵も同様であつて、これが「文明開化」をせずとも其れ「以前に」この版画絵が西欧の画家たちに大きな影響を与へた理由なのだと考へることに何の問題があろうか。即ち、

明治維新以来の我が国の歴史は劣化の歴史を防ぐための此の150年余であつたのであり、それ故に一方的に受け身の歴史であつたが故に、愚かしい平成の三十年の御世といふどん底の時代を経て今更に一層の文明と文化の劣化の度合ひが激しい状態であり、国が危殆に貧してゐることは誠に憂慮すべきことですが、この150年を差し引いても、私たちはまだ100年西欧及びアメリカの諸国には文明論上も文化論上もお釣りがきてゐて（一寸卑俗すぎる譬喩（ひゆ）ですが私は守銭奴ではない）まだ十分に時間はあることを思ひ出してほしい。焦る必要はないので、ここが正念場です。あなたには、じっくり腰を据ゑて、日々の生活の中で生活を大切にして、熟慮を重ねてほしい。さうして、最低の時間の尺度でも百年の国家の計を立ててほしい。

(続く)

編集後記

●巻頭詩（37）：〈鯨〉：北川冬衛：これは、私の好きな詩の一つです。大きなものは悪である。といふ言葉は、今のIT大手企業の傍若無人を見れば誠に実感します。●安部公房の遺骨は川上霊園にはない：これも行って見て喫驚のレポートでした。言葉がありません。一体誰が何をどうしたのか。●『都市への回路』論（7）：（5）『密会』の持つ神話性：安部公房の思考の柔軟性と奥行きと適用範囲の広さは、今世紀になつて益々生き生きとしてゐることに驚く。いつれユダヤ人問題を論ずるに至るでせう。そこで今の国際世論を論じてみたい。●『文章読本』論（11）：井上ひさし（2）：これでほぼ昭和の時代にしか書かれなかつた文章読本論の実質上の最後の章です。どの作家も素晴らしい文章論でした。高村薫氏の日本文学衰退論と文体創造と身体性を重んじた執筆活動論もまた、私は執筆の正道であると、改めて読み返へして思ひました。●SFで思考するための本棚（1）：ドイツのSF文学：イリノイ州ウェスリアン大学教授ソーニャ・フリッチェ：これは本邦初のドイツのSF論です。お役に立つことを願ふ。●日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（5）日本国内篇：4.1.1 現行日本国憲法無効化論：一般法学及び一般憲法学上の批判を専門家にはお願いをしたい。

差出人：

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町
「閉ざされた無限」

●ネット・モナト論（24）：グレートリセットとは何か（2）：ダボス会議の主宰者のシュバブとは如何なる人物か：敵を知り己を知らば百戦危ふからず。そのためにまづシュバブなる男を知らうといふのです。これに加へて、中華帝国の超限戦が日本列島で戦はれてゐるといふのですから、これをただ傍観して来た政府と官僚は何をかいほむや。

●縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（31）：5.2.5 何故私たちは神前で二礼・二拍手・一礼をするのか？：5.2.6 カミとは何か2：何故カミはカミと呼ばれるのか？：5.2.7 神道と宗教と哲学の関係は如何なるものか：ご覧の通り。いよいよ終局に至ります。

安部公房の広場

連絡先：eiya.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。